

令和7年度

主要施策の成果



目

次

○ 一般会計

議会事務局、監査委員事務局	3	産業振興課	57
総務課	6	観光交流課	72
企画財政課	16	地域整備課	76
町民課	22	教育総務課	82
福祉課	28	生涯学習課	97
健康推進課	39	中央公民館	107
環境エネルギー課	48	図書館	111
農業委員会	54		

○ 特別会計・企業会計

国民健康保険事業特別会計	114	後期高齢者医療事業特別会計	124
介護保険事業特別会計	116	水道事業会計	125
栄財産区特別会計	121	下水道事業会計	127
大栄歴史文化学習館特別会計	122	風力発電事業会計	129

○ 資料編

令和7年度各会計別決算状況	132
令和7年度一般会計決算状況	133
令和7年度普通会計決算状況	135
財政状況・財政指標の推移	138
健全化判断比率等の状況	143
健全化判断比率等の推移	150

款	1 議会費	項	1 議会費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 議会費	98,968千円	97,735千円

①議員経費事業 2,702千円

(1) 本会議の開催状況

区 分		R7年						R8年			
		第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第1回	第2回	第3回
		臨時会	定例会	臨時会	定例会	臨時会	臨時会	定例会	臨時会	臨時会	定例会
招集日		5/9	6/3	8/12	9/1	10/23	11/7	12/2	1/20	2/9	3/3
会 期		1日	16日	1日	17日	1日	1日	17日	1日	1日	22日
会議日数		1日	6日	1日	6日	1日	1日	6日	1日	1日	6日
議 案	町長提出	3件	13件	6件	24件	9件	0件	11件	9件	7件	27件
	委員会提出	0件	4件	0件	3件	0件	0件	3件	2件	0件	1件
	議員提出	0件	1件	0件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	0件
一般質問		-	12人	-	7人	-	-	10人	-	-	10人
		-	17問	-	14問	-	-	18問	-	-	16問
傍聴者数		2人	16人	1人	13人	1人	2人	20人	0人	0人	13人

(2) 委員会、全員協議会の開催状況

区 分	全員 協議会	議会運営 委員会	広報広聴 常任委員会	総務教育 常任委員会	民生経済 常任委員会	予算決算 常任委員会
会議日数	15日	16日	17日	7日	5日	7日

区 分	特別委員会		
	道の駅整備	ふるさと館再整備	風車譲渡
会議日数	1日	5日	7日

(3) 請願・陳情状況

区 分	受理件数	審査件数	その他
請 願	3件	3件	0件
陳 情	9件	12件	1件

(4) 意見書提出状況

提出件数 10件

(5) 議員研修

- ・北栄町議会議員研修（大栄農村環境改善センター）【全議員】
関係人口とともにつくる『にぎやかな過疎』
- ・町村議会議長・副議長研修会（東京都）【議長・副議長】
- ・鳥取県町村議会女性議員研修会（三朝町）【議員2人】
- ・鳥取県町村議会広報研修会（三朝町）【広報委員5人】
- ・町村議会議長全国大会（東京都）【議長】
- ・中部町村議会議員研修（湯梨浜町）【全議員】
- ・鳥取県町村議会議員研修会（三朝町）【全議員】
- ・市町村議会議員研修（滋賀県大津市）【議員5人】



議会出前座談会（北条島自治会）

(6) 議会報告会等の開催状況

議会出前座談会1回（北条島）

- (7) 議長交際費 172千円
議長または議会が行政執行上必要な外部との交際に要した経費
慶弔費等 15件
- (8) 議会だより発行业 1,899千円
発行回数 年4回 発行部数 5,400部
- (9) 高校生議会
鳥取中央育英高等学校生徒による高校生議会
13人の高校生が参加し、一般質問(12問)を実施
高校生議長(1人)・高校生議員(12人)



県町村議会広報コンクールで
優秀賞を受賞した「議会だより」74号

【成果】 改選後の10月23日以降は、議員定数を2人減じ、13人で始まった。議員研修会に参加することで、各位が議員としての責務を果たすべく、またより効率的で効果的な運営ができるよう、自己研鑽に励み、資質向上に努めた。研修会への積極的な参加を通じて、政策理解を深め、町民の皆様へより良い提案ができるよう努力をした。

新たな取り組みとして、広報広聴常任委員会を議長を除く全議員で構成し、議会報告会、出前座談会、意見交換会のあり方を検討した。令和8年度からは、議会からの一方的な説明ではなく、グループワークを取り入れた「対話型」の意見交換会を行う予定とした。

そのほか、議会だよりを発行し、情報の公開、発信を積極的に行うことができた。また、高校生議会を開催し、若い世代に町政への関心を持ってもらうことができた。

②事務局経費事業 4,933千円

- ・会議録調製並びに検索システム委託 4,065千円
定例会・臨時会の会議録を調製し、ホームページで公開した。

【成果】 議会の情報公開、情報発信を広く行うことができた。
(議長交際費の公開、会議結果の公表等)

③議会関係負担金事業 2,368千円

- ・県議長会負担金 2,261千円
- ・中部議長会負担金 107千円



高校生議会

款	2 総務費	項	6 監査委員費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 監査委員費	1,415千円	1,321千円

①監査委員事業 1,321千円

- (1) 監査委員 2人
- ・ 識見監査委員（代表監査委員）
 - ・ 議会選出監査委員

(2) 活動状況

○検査

- ・ 例月出納検査 12回（毎月1回）
- ・ 現金及び現金等価物実査 （年1回）



定期監査報告

○監査

- ・ 定期監査 （年2回）

5月

- ・ 委託状況 について
- ・ 遊具安全点検
- ・ 現地視察



現地視察

11月

- ・ 補助金状況について
- ・ 町有財産取得・処分・貸付状況について
- ・ 現地視察



町長への監査報告

○審査

- ・ 決算審査 （10会計）
- ・ 基金の運用状況審査 （16件）
- ・ 普通会計の財政健全化審査 （4件）
- ・ 公営企業会計の経営健全化審査 （5件）

○各種研修会

- ・ 鳥取県町村監査委員研修会：2回（湯梨浜町）
- ・ 町村監査委員全国研修会（東京都 渋谷公会堂）
- ・ 市町村議員研修「自治体財政の見方」：1名参加（滋賀県大津市）

【成果】 年間監査計画を作成し、公正で合理的かつ能率的な町の行政運営の確保を行うことができた。その他計画的に監査を実施し監査結果は講評や町長報告によりフィードバックしたほか、告示、ホームページ、町報により町民に向けて公表した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 一般管理費	1,500,313千円	1,458,992千円
①一般管理事業 176,920 千円					
・ 職員研修関係 2,285 千円					
団体等が実施する各種研修に参加させたほか、町単独でハラスメント防止研修や生成AI研修等を実施した。					
(研修参加の状況)					
		年度	R5年度	R6年度	R7年度
中央研修			8人	4人	0人
県自治研修			80人	104人	75人
町単独研修			778人	631人	785人
・ 町長交際費 1,008 千円					
(交際費の支出件数)					
		年度	R5年度	R6年度	R7年度
支出件数			84件	97件	93件
・ 電話、郵便代等通信運搬費 18,161 千円					
・ 職員健康診断経費（ドック含む） 4,205 千円					
・ 公共施設廃棄物収集委託料 3,068 千円					
・ 北条支所窓口、庶務業務委託料 26,741 千円					
【成果】 職員を各種の研修に参加させ、職員の資質の向上及び能力開発を行った。また、民間で可能なことは民間に委託し、定型業務の効率化を図った。					
②電算処理委託事業 191,779 千円					
公会計、住基、税務、給与、農業行政、保育料、選挙、町営住宅などの業務処理に係る経費を支出。					
・ 電算システム運用業務委託料 67,050 千円					
・ 標準化に伴う業務委託料 88,523 千円					
・ ガバメントクラウド利用料 7,609 千円					
・ 庁内サーバー設置委託料 13,412 千円（繰越事業）					
【成果】 各業務の電算処理委託によって、事務の効率化を図った。また、標準化に向けた移行業務を行い、戸籍及び介護認定以外の対象システムの標準化を完了した。					
③一般管理関係負担金事業 3,249 千円					
・ 県、中部町村会負担金 3,228 千円					
・ 行政不服審査会共同設置負担金 21 千円					
④事務用品一括購入事業 2,546 千円					
・ 事務用品等消耗品費 2,546 千円					
⑤鳥取県中部ふるさと広域連合負担金事業 25,755 千円					
・ 管理費（一般管理費、議会費、監査委員費等） 21,075 千円					
・ 休日急患診療所及び病院輪番制病院運営費 4,680 千円					
⑥北栄町町制施行20周年記念式典事業 2,161 千円					
町制施行20周年を迎え、令和7年9月28日、記念式典を開催した。町政の発展に寄与された方々の表彰を行うとともに、前町長の松本昭夫氏に、名誉町民の称号を贈呈した。					
アトラクションでは、「いいね！北栄町体操！」を園児と町長が元気いっぱいに披露した。					
【成果】 町民及び町に関わりのある方々と町制施行20年の歴史を再認識するとともに、未来に向けた北栄町の活力を広く発信することができた。					

款	2	総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																												
			目	3 会計管理費	4,572千円	4,351千円																												
<div>①会計管理事業4,351 千円</div> <div>銀行オンラインシステム基本手数料等335 千円</div> <div>口座振込手数料4,016 千円</div> <div>【成果】 銀行オンラインシステムを利用した公金の口座振込等により、迅速確実に公金支払を行うことができた。</div>																																		
款	2	総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																												
			目	4 財産管理費	318,463千円	301,340千円																												
<div>①町有財産管理事業13,739 千円</div> <div>・町有建物災害共済保険料7,340 千円</div> <div>・町有施設電気設備保安委託料4,694 千円</div> <div>②大栄庁舎管理事業91,286 千円</div> <div>大栄庁舎の維持管理をするとともに、施設の老朽化に伴う修繕などを行った。</div> <div>・光熱水費10,433 千円（大栄改善センターの電気料金含む）</div> <div>・修繕費7,335 千円（施設修繕）</div> <div>・委託料7,176 千円（清掃、冷暖房機保守、植木管理など）</div> <div>・委託料4,180 千円（外壁改修設計監理業務）（繰越事業）</div> <div>・工事請負費59,300 千円（外壁改修工事、非常用発電機更新）（繰越事業）</div> <div>・備品購入費1,159 千円（事務イスなど）</div> <div>③公用車管理事業14,115 千円</div> <div>・公用車燃料費1,212 千円</div> <div>・自動車損害共済保険料1,352 千円</div> <div>・電気自動車充電設備設置工事1,870 千円</div> <div>・公用車購入費7,424 千円（普通自動車1台、軽自動車2台）</div> <div>（大栄庁舎集中管理車両）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td><td>R7年度</td></tr><tr><td>普通乗用自動車</td><td>3台</td><td>3台</td><td>4台</td></tr><tr><td>軽自動車</td><td>11台</td><td>9台</td><td>11台</td></tr></table> <div>④防災行政無線維持管理事業5,010 千円</div> <div>・防災行政無線保守点検業務委託料2,780 千円</div> <div>・備品購入費（戸別受信機 30台）1,079 千円</div> <div>（戸別受信機の設置状況）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>R5年度末</td><td>R6年度末</td><td>R7年度末</td></tr><tr><td>一般家庭</td><td>5,056台</td><td>5,064台</td><td>5,032台</td></tr><tr><td>企業等</td><td>58台</td><td>59台</td><td>59台</td></tr><tr><td>自治会・公共施設</td><td>136台</td><td>136台</td><td>136台</td></tr></table> <div>⑤天神いこいの広場管理事業581 千円</div> <div>・光熱水費106 千円</div> <div>・維持管理委託料469 千円（植木管理、トイレ清掃）</div> <div>⑥天神桜づつみ管理事業370 千円</div> <div>・維持管理委託料370 千円（植木管理）</div>							区 分	R5年度	R6年度	R7年度	普通乗用自動車	3台	3台	4台	軽自動車	11台	9台	11台	区 分	R5年度末	R6年度末	R7年度末	一般家庭	5,056台	5,064台	5,032台	企業等	58台	59台	59台	自治会・公共施設	136台	136台	136台
区 分	R5年度	R6年度	R7年度																															
普通乗用自動車	3台	3台	4台																															
軽自動車	11台	9台	11台																															
区 分	R5年度末	R6年度末	R7年度末																															
一般家庭	5,056台	5,064台	5,032台																															
企業等	58台	59台	59台																															
自治会・公共施設	136台	136台	136台																															

⑦北条多目的広場管理事業 1,264 千円

- ・光熱水費 95 千円
- ・施設管理委託料 983 千円（芝生管理、植木管理、トイレ清掃）

【成果】 芝生広場として地域に定着。茶臼山桜まつりのメイン会場に使用したほか、町民等がグラウンドゴルフなど定期的に利用した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 北条庁舎管理費	8,934千円	7,839千円

①北条庁舎管理事業 7,839 千円

- ・光熱水費 5,613 千円
- ・施設管理委託料 2,130 千円（警備、清掃、消防設備等）

（鳥取中部ふるさと広域連合からの事務所経費負担の状況）

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
金 額	5,223千円	5,305千円	5,274千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 北条支所管理費	11,707千円	10,681千円

①北条支所管理事業 5,889 千円

北条支所の総合窓口業務と北条健康福祉センターの維持管理を行った。

- ・光熱水費 1,471 千円
- ・修繕費（建物・設備） 2,193 千円（高圧受電設備更新）
- ・施設管理委託料 743 千円（警備、消防設備、清掃等）

（窓口取扱件数の状況）

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
窓口取扱数	19,776件	19,444件	17,281件
うち現金取扱数	5,540件	4,067件	3,784件

（北条健康福祉センターの利用状況）

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
回 数	218回	106回	123回
利用者	4,745人	1,993人	3,718人

②北条地区振興事業 3,151 千円

あつまらいや北条を中心に住民有志が集い、北条地区振興の活動を実施した。

- ・印刷製本費（広報紙・ポスター） 284 千円
- ・北条地区振興活動補助金 500 千円
- ・集落支援員配置 2,317 千円

【成果】 北条ふるさとまつりを始め、様々な事業により、北条地区に住民交流の場を提供した。



賑わった第8回北条ふるさとまつり

③公用車管理事業 1,641 千円

（北条庁舎集中管理車両等）

区分	R5年度	R6年度	R7年度
軽自動車	1台	1台	1台
マイクロバス	2台	2台	2台
バス団体等利用件数	672件	654件	568件

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 北条改善センター費	4,199千円	3,955千円

①北条改善センター管理事業 3,955 千円

- ・光熱水費 2,647 千円
- ・施設修繕費 234 千円（消防設備修繕ほか）
- ・施設管理委託料 899 千円（警備、消防設備、清掃等）

(センターの利用状況)

年度	R5年度	R6年度	R7年度
回 数	183回	149回	120回
利用者	9,143人	10,397人	6,313人

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 大栄改善センター費	2,121千円	2,006千円

①大栄改善センター管理事業 2,006 千円

- ・光熱水費 1,489 千円（ガス、上下水道）
- ・修繕費 134 千円（水漏れ、排水管修繕など）
- ・委託料 312 千円（舞台吊物装置等保守委託料）

(センターの利用状況)

年度	R5年度	R6年度	R7年度
回 数	952回	867回	793回
利用者	14,554人	16,164人	14,543人

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	129,926千円	128,977千円

①コミュニティ助成事業 4,800 千円

一般財団法人自治総合センターが実施する事業を活用し、自治会の設備等を整備した。

(補助金活用の状況)

R5年度	R6年度	R7年度
由良宿5区、米里、駅前	瀬戸、別所、江北浜	茶ヤ条、国坂東

【成果】 助成制度の活用により、自治会活動に必要な備品等の整備が進み、自治会の財政的な負担軽減とコミュニティ活動の充実・強化を図ることができた。

※写真は整備した設備の一部



エアコンの整備(茶ヤ条)



プリンタ、空気清浄機の整備(国坂東)

②自治体DX推進事業 4,274 千円

副町長を最高変革責任者（Cx0）とし、民間のデジタル専門人材をCx0補佐官とする体制で、北栄町DX推進計画に基づき、DXを推進した。

- ・デジタル人材（Cx0補佐官）支援業務委託料 637 千円
- ・情報配信アプリ保守・運用委託料 1,969 千円
- ・音声合成、文字起こし等利用料 1,668 千円

年度	R7年度
情報配信アプリの登録者数	1,786人

【成果】 情報配信アプリを活用した情報発信を行い、情報発信の多重化を図った。また、文字起こしツールにより、議事録作成のための時間を削減するなど業務の効率化を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	10 自治会活動促進費	16,280千円	14,960千円

①自治会総合交付金事業 13,573 千円

- (1) 自治会運営交付金 12,026 千円
自治組織の活性化を図るため、全自治会に事務費等の補助を行った。
- (2) 防犯灯維持管理交付金 987 千円
60自治会に対し、自治会が設置した防犯灯の電気料金の3分の1の補助を行った。
- (3) 再生可能エネルギー交付金 560 千円
全自治会に対し、自治会が設置した太陽光発電設備などに対して補助を行った。

②自治会集会施設整備費補助金事業 1,387 千円

- (1) 自治会集会施設整備費補助金 519 千円
自治会が行った集会施設のバリアフリー化等整備に対し助成を行った。

（自治会補助の状況）

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
自治会数	8自治会	4自治会	3自治会

- (2) 自治会集会施設修繕等補助金 868 千円
自治会が行った集会施設の修繕等に対し助成を行った。

（自治会補助の状況）

年 度	R7年度
自治会数	3自治会

(R7年度創設事業)

【成果】 町と地域（自治会）との連携を強化するとともに、自治活動の推進を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	11 交通安全対策費	5,638千円	5,317千円

①交通安全対策事業 2,268 千円

交通指導員を配置し、交通安全パトロール、イベント等で交通指導を行った。

- ・交通安全指導員出動手当 783 千円

（交通指導員等の状況）

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
交通指導員数（定員22名）	20人	21人	21人
活動延人数			
研修長時間指導	10人	21人	19人
啓発パトロール等	223人	333人	335人

(本町で発生した交通死亡事故等の状況) ……県警資料

年	R5年	R6年	R7年
交通事故死亡者数	1人	1人	0人
人身事故件数	25件	29件	15件

【成果】 全国交通安全運動期間の取組を中心に、交通事故の犠牲が多い子どもや高齢者への交通安全啓発を実施し、交通安全意識の向上を図った。

②交通安全施設整備事業 2,344 千円

カーブミラーの修繕を行った。

(カーブミラー整備等の状況)

年度	R5年度	R6年度	R7年度
カーブミラー新設	2基	1基	0基
カーブミラー修繕	30基	21基	22基

設置累計 1,249 基

③交通安全負担金事業／交通安全補助金事業 705 千円

- ・倉吉地区交通安全指導員連絡協議会負担金 22 千円
- ・交通安全協会倉吉地区協会負担金 6 千円
- ・ルートナイン交通安全対策協議会負担金 20 千円
- ・交通災害共済加入促進交付金 468 千円
- ・交通安全協会北栄支部活動費補助金 189 千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	12 光ファイバーネットワーク施設管理費	81,427千円	80,604千円

①光ファイバーネットワーク施設管理事業 80,604 千円

各種情報の提供、地域住民のコミュニティの醸成を図るための光ファイバーネットワーク施設の管理を行った。

- ・光ファイバー施設修繕費 1,284 千円
- ・光ファイバーネットワーク施設保守 58,861 千円
- ・電柱共架料、自営柱用地借上料 6,896 千円
- ・伝送路ケーブル新設・移設・撤去工事 7,774 千円
- ・備品購入費 5,720 千円 (ONU 80台)

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	13 情報処理費	31,286千円	31,111千円

①情報処理事業 31,111 千円

機器及び各庁舎及び出先施設を結ぶネットワークの維持管理等を行った。

- ・行政情報システム保守委託 9,240 千円
- ・LGMAN機器等更新業務 1,375 千円
- ・Sgate導入・保守料 3,027 千円
- ・パソコン等備品購入費 6,729 千円 (パソコン 49台)
- ・自治体ICT共同化推進等県負担金 2,654 千円

【成果】 庁内ネットワークの維持管理に努め、業務の効率化を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	14 防犯対策費	8,493千円	7,894千円
①防犯対策事業 7,894 千円 ※風のまちづくり基金活用事業					
・町設置防犯灯、カメラ電気料金 1,680 千円					
・LED化対策工事請負費 3,330 千円					
・環境にやさしいLED防犯灯整備補助金 983 千円					
・防犯機器購入補助金 1,645 千円					
(防犯灯整備等の状況)					
		年度	R5年度	R6年度	R7年度
		公設防犯灯整備	23灯	7灯	1 灯
		自治会整備補助	11自治会	18自治会	17自治会
公設設置累計 370 基					
【成果】 町内の防犯、環境にやさしいまちづくりを推進した。					
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	15 諸費	38千円	30千円
①自衛官募集事業 30 千円					
自衛隊鳥取地方本部倉吉地域事務所及び北栄町自衛隊友の会と連携し、自衛官募集にかかる広報、啓発活動を実施した。					
(新入隊の状況)					
		年度	R5年度	R6年度	R7年度
		北栄町内	1人	1人	1人
款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 選挙管理委員会費	327千円	161千円
①選挙管理委員会事業 161 千円					
選挙管理委員会の開催 6 回開催					
・委員会の主な内容					
各種選挙人名簿登録、裁判員候補者予定者の選定、検察審査員候補者の選定					
住民投票資格者名簿の作成、投票機会の確保対策と実施					
款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 選挙啓発費	76千円	31千円
①選挙啓発事業 31 千円 (県明るい選挙推進協議会負担金含む)					
北栄町明るい選挙推進協議会の開催 令和8年3月17日開催					
主権者教育に関する授業(選挙出前講座)の実施 令和8年2月24日開催					
明るい選挙啓発ポスター募集事業 令和7年5月～9月募集					
鳥取県明るい選挙推進協議会連合会負担金 4 千円					
【成果】 町内の学校で主権者教育に関する授業(選挙出前講座)を実施し、明るい選挙の推進を行い、政治や選挙に対する関心と理解を深めることができた。					

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額																							
		目	3 衆議院議員選挙費	13,245千円	10,105千円																							
①衆議院議員選挙事業 10,105 千円 公示日 令和8年1月27日 投票日 令和8年2月8日 投票率 衆議院議員総選挙 55.58%（小選挙区）																												
款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額																							
		目	4 町長町議会議員選挙費	8,308千円	7,677千円																							
①町長町議会議員選挙事業 7,677 千円 告示日 令和7年9月30日 町長、町議会議員選挙とも無投票																												
款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額																							
		目	6 参議院議員通常選挙費	15,513千円	15,223千円																							
①参議院議員通常選挙事業 15,223 千円 公示日 令和7年7月3日 投票日 令和7年7月20日 投票率 参議院議員通常選挙 61.80%（選挙区）																												
款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額																							
		目	1 常備消防費	229,134千円	225,502千円																							
①鳥取中部ふるさと広域連合負担金（消防）事業 225,502 千円 常備消防として整備している鳥取中部ふるさと広域連合消防局への負担金支出。 (火災発生件数等) <table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td><td>R7年度</td></tr><tr><td rowspan="2">火災発生</td><td>北栄町内</td><td>8件</td><td>5件</td><td>5件</td></tr><tr><td>広域連合内</td><td>30件</td><td>27件</td><td>25件</td></tr><tr><td rowspan="2">救急出動</td><td>北栄町内</td><td>680件</td><td>732件</td><td>686件</td></tr><tr><td>広域連合内</td><td>5,423件</td><td>5,469件</td><td>5,301件</td></tr></table>						区 分		R5年度	R6年度	R7年度	火災発生	北栄町内	8件	5件	5件	広域連合内	30件	27件	25件	救急出動	北栄町内	680件	732件	686件	広域連合内	5,423件	5,469件	5,301件
区 分		R5年度	R6年度	R7年度																								
火災発生	北栄町内	8件	5件	5件																								
	広域連合内	30件	27件	25件																								
救急出動	北栄町内	680件	732件	686件																								
	広域連合内	5,423件	5,469件	5,301件																								
款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額																							
		目	2 非常備消防費	12,877千円	12,716千円																							
①消防団活動事業 9,302 千円 町消防団の消防活動における出動経費などの支弁を行うとともに、必要な消防ホースなどの消防器具や団員装備の整備を実施。 (町消防団の状況) <table><tr><td>年 度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td><td>R7年度</td></tr><tr><td>体制</td><td>1本部・5分団</td><td>1本部・5分団</td><td>1本部・5分団</td></tr><tr><td>実数／定員</td><td>89人／110人</td><td>83人／110人</td><td>87人／110人</td></tr><tr><td>うち女性団員数</td><td>9人</td><td>9人</td><td>9人</td></tr></table> (人数は年度末)						年 度	R5年度	R6年度	R7年度	体制	1本部・5分団	1本部・5分団	1本部・5分団	実数／定員	89人／110人	83人／110人	87人／110人	うち女性団員数	9人	9人	9人							
年 度	R5年度	R6年度	R7年度																									
体制	1本部・5分団	1本部・5分団	1本部・5分団																									
実数／定員	89人／110人	83人／110人	87人／110人																									
うち女性団員数	9人	9人	9人																									

(町消防団の出動等の状況)

区分		R5年度		R6年度		R7年度	
		件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
出動	火 災	2件	44人	5件	69人	3件	95人
	非火災	1件	18人	1件	2人	1件	5人
	捜 索	0件	0人	1件	15人	0件	0人
	警 戒	2件	35人	1件	28人	1件	35人
操法水防訓練等		52件	699人	18件	412人	31件	434人
会議・研修等		38件	170人	30件	157人	29件	142人
火災予防広報等		60件	532人	57件	502人	61件	551人

(消防ポンプ操法大会の状況)

大会名等		R5年度		R6年度	R7年度
町操法大会	優勝	4分団		4分団	4分団
	2位	3分団		3分団	5分団
	3位	5分団		5分団	1分団
郡操法大会	出場	4分団	3分団	4分団	4分団
	順位	5位	8位	4位	3位
県操法大会	出場	出場なし		出場なし	出場なし
	順位				

【成果】 火災出動や警報発令時における警戒出動を行ったほか、操法訓練・水防訓練活動や、消防団員による防火啓発活動を行い、災害対応能力を強めた。

消防団員の減少が課題であり、自治会長会等で勧誘を行い、数名の入団につながった。今後も町報でのPRや各種会議で勧誘を行っていく。

②消防関係負担事業 3,413 千円

- ・ 県、郡消防協会負担金 530 千円
- ・ 鳥取県町村消防災害補償組合負担金 443 千円
- ・ 消防団員退職報奨金掛金負担金 2,112 千円

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 消防施設費	14,292千円	9,662千円

①消防施設設置事業 9,662 千円

- ・ 消火栓工事負担金 5,798 千円 (水道会計へ)
- ・ 消火栓維持管理負担金 620 千円 (")

(消火栓修繕等の状況)

区分	R5年度	R6年度	R7年度
消火栓修繕	2か所	5か所	5か所
消火栓新設	-	1か所	1か所
防火水槽	標識更新5	標識更新2、蓋取替1	-

消火栓累計
892 基
防火水槽累計
109 基

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 災害対策費	24,772千円	23,673千円

①災害対策事業 4,818 千円

- ・ 備蓄品購入費 881 千円 (ベッド、テント)
- ・ 災害対策費用保険掛金 904 千円
- ・ 感震ブレーカー設置補助金 243 千円

(防災訓練等の状況)

区分		R5年度	R6年度	R7年度
防災会議	開催日	R6.3.22	R7.3.25	R8.3.25
	内 容	計画の見直し等	計画の見直し等	計画の見直し等
防災訓練	開催日	R5.9.3	R6.9.1	R7.9.7
	主会場	北条改善センター	大栄改善センター	北条改善センター
	想 定	水害	地震	避難所運営
防災士資格 取得(累計)	町職員	2人	2人	1人(累計20人)
	一 般	4人	5人	5人(累計51人)
他市町村災害への 職員応援派遣		能登半島地震6人	能登半島地震1人	島根県東部地震2人

(町の警戒等体制の配備状況) ※大雨等=大雨警報、洪水警報 大雪等=大雪警報、暴風雪警報

区分	R5年度	R6年度	R7年度
警戒体制配備	大雨等2、大雪1	大雨1、大雪1	地震1、大雪1
非常体制配備	-	-	-
避難所開設	-	-	-
避難指示	-	-	-

②自主防災組織育成事業 4,699 千円

自主防災組織、自衛消防団の運営や訓練、資機材購入に対して、交付金等を支給した。

(自主防災組織等の状況)

区 分	R5年度	R6年度	R7年度
自主防災組織数	48組織	48組織	48組織
自衛消防団(隊)数	50団、4隊	50団、4隊	50団、4隊
資機材整備組織数	34組織	37組織	38組織
訓練活動実施組織数	38組織	38組織	41組織

③緊急防災・減災事業 7,337 千円

・Jアラート新型受信機更新業務委託料

【成果】 防災気象情報体系の見直しに対応した情報伝達手段の整備に取り組んだ。

④空家等対策事業 3,873 千円

・助言等の実施件数 助言指導 47件、勧告 0件、命令 0件

(空家除却費助成等の状況)

区 分	R5年度	R6年度	R7年度
老朽危険空家 除却費助成	件数 4件	3件	4件
	金額 4,396千円	1,832千円	3,763千円
空家把握数(年度末)	276件	275件	276件

【成果】 危険空家の除却を促し、地域住民の安心・安全に寄与した。

⑤自治会除雪活動支援事業 1,332 千円

(除雪等補助の状況)・・・1/2補助

区 分	R5年度	R6年度	R7年度
除雪費用	846千円/34自治会	64千円/4自治会	1,332千円/33自治会
除雪機購入	750千円/3自治会	なし	なし

⑥被災者住宅再建支援基金積立事業 1,275 千円

指定自然災害における被害世帯へ給付金を支給するための基金拠出(H30年～10年間)

・被災者住宅再建支援負担金 1,275 千円

⑦災害対応人件費事業 339 千円

・警戒体制配備による職員給与費 339 千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 一般管理費	1,500,313千円	1,458,992千円

①ふるさと北栄基金事業 784,051千円

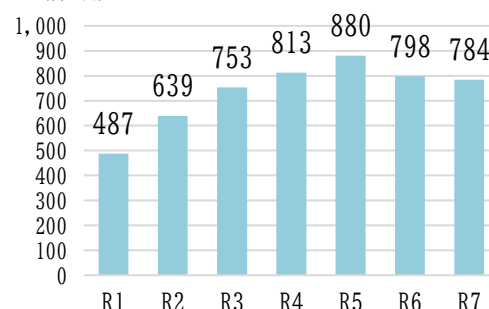
ふるさと納税制度を活用して受け入れた寄附金を財源として、返礼品送料やふるさと納税業務委託料などの返礼品に係る経費のほか、基金へ積立を行った。

《ふるさと納税に係る主な経費》

・ 返礼品の調達	235,053 千円
・ 受発注業務委託料等の事務	112,687 千円
・ 返礼品の送付	47,712 千円
・ ふるさと北栄基金への積立	365,631 千円

【寄附額の推移】

(百万円)



【成果】 町の貴重な財源を確保することができた。取組を進めた一方で、令和7年度のふるさと納税寄附額は7億8,400万円と減少傾向にあり、今後は、拡充した返礼品を実際の寄附額増加に結びつけるための、より戦略的なプロモーションが課題である。

②一般管理事業（企画） 1,264千円

・ 財務書類作成支援業務	603 千円
・ 入札参加資格審査申請共同システム	396 千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 広報費	22,732千円	22,730千円

①広報事業 19,045千円

・ 町報印刷	4,028 千円
--------	----------

「広報 ほくえい」発行

区 分	R5年度	R6年度	R7年度
ページ数（延べ）	196ページ	212ページ	222ページ
発行部数（部/月）	5,600	5,600	5,400

・ ホームページリニューアル業務	13,635 千円
・ ホームページ保守業務	772 千円
・ 外部広報誌仕分け作業	151 千円

【成果】 町報が全国広報コンクールで入選し、町の情報発信の質が全国レベルにあることを証明できた。またホームページのリニューアルやSNS運用により多様な発信体制を強化できた。



広報ほくえい 2025年12月号

②町勢要覧作成事業 3,685千円

町制施行20周年を記念し、これまでの歩みを「人」の視点で伝える冊子を制作・全戸配布した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 財産管理費	318,463千円	301,340千円

①財政調整基金積立金事業 5,898千円

財政運営の安定のため、町の「貯金」にあたる財政調整基金を積み立てた。

(単位：千円)

	R5年度	R6年度	R7年度
基金残高	2,080,139	2,137,737	2,115,233

②減債基金積立金事業 115,885千円

将来の公債償負担の財源とするため減債基金を積み立てた。

(単位：千円)

	R5年度	R6年度	R7年度
基金残高	204,688	333,799	449,684

③普通財産管理事業 2,192千円

町有地の維持管理及び貸付、また、財産の売却を行った。

(単位：千円)

区分	R5年度	R6年度	R7年度
町有地貸付収入	4,015	3,901	4,453
財産売却収入	1,550	10,092	29,319

- ・町有地管理 843 千円
- ・旧中央保育所改修工事（給水管敷設等） 773 千円
- ・由良藩倉跡樹木伐採工事 440 千円

【成果】 旧中央保育所について給水管やトイレの改修を実施し、新たに貸付を行った。
未利用町有地の貸付と旧六尾北団地及び山陰道整備にかかる町有地の売却により、自主財源を確保することができた。

④風のまちづくり基金積立金事業 51,000千円

北条風力発電所の収益の一部を環境施策や子どもの育成支援に活用するため、基金に積み立てた。

《風のまちづくり基金を活用した取組》基金繰入額 50,000千円

・防犯灯のLED化対策、再生可能エネルギー等導入事業、省エネルギーの普及啓発、創エネ設備等設置に対する補助金、省エネ住宅リフォーム補助金、再生資源の収集委託、小中学校教育振興事業ほか

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	129,926千円	128,977千円

①企画事業 10,910千円

- ・倉吉未来中心管理運営負担金 1,504 千円
- ・みんなでまちづくりプログラム 7,000 千円
- ・まちづくりビジョン検討委員会開催 1回 ・地方創生推進会議開催 2回

【成果】 まちづくりビジョン等の点検を通じて、町の取組の方向性の確認や事業成果の振り返りができた。

みんなでまちづくりプログラムでは、役場職員、町内の一般参加者が集まり、参加者個々が描く、ありたい町の姿を共有し、実現に向けた下地となるチーム作りに取り組むことができた。

②女性団体連絡協議会補助金事業 263千円

町内10団体で組織する女性団体連絡協議会の活動を支援した。

- 12/1 女性と町長と語る会
- 11/24 男女共同参画フォーラム
【テーマ】若者に選んでもらえる北栄町
【内 容】
足羽鳥取県教育長による講演、往年の
高校野球バッテリー対談（鳥取県教育
長×北栄町長）など



女性と町長と語る会

【成果】 男女共同参画フォーラムは高い男性参加率を記録し、多角的な視点から男女共同参画の重要性を啓発する場となった。また、「女性と町長と語る会」での直接的な対話から得られた提言を、具体的な町政運営へと反映させた。

③地域の自立活性化活動支援交付金事業 500千円

地域の活性化・自立に向けて積極的な活動を行おうとするコミュニティに対し、活動に必要な交付金を交付した。

	R5年度	R6年度	R7年度
交付団体数	2団体	2団体	1団体

団体名	事業名・内容
つながるがっこう実行委員会	つながるがっこう（だかし屋出店、じげの料理教室、ワークショップ）

【成果】 意欲ある団体の自主的な活動を支援し、由良宿を舞台に世代を超えた地域交流を促進することができた。



だかし屋出店



じげの料理教室



クラフトワークショップ

④交通対策事業 23,958千円

輸送人員の減少による利用者の減少で維持が困難なバス路線に対し、路線維持に必要な経費を補助した。

・路線維持費補助金

（単位：千円）

事業者	路 線	R5年度	R6年度	R7年度
日交	北条線（西倉吉～倉吉駅～江北～由良駅）	6,109	7,753	5,881
日ノ丸	赤碕線（倉吉駅～由良駅入口～赤碕駅）	6,278	7,574	10,055
	栄線（倉吉駅～西亀谷）	636	719	778
合 計		13,023	16,046	16,714

・乗りあいタクシー運行支援事業費補助金

区 分	R5年度	R6年度	R7年度
利用者数 (延べ)	237人	207人	365人
補助金額	522千円	488千円	839千円

・鳥取砂丘コナン空港連絡バス運行支援事業補助金

区 分	R5年度	R6年度	R7年度
利用者数 (延べ)	2,544人	2,877人	3,699人
補助金額	0円	0円	0円

※利用者の増加により利用料が事業費を上回ったため補助なし

- ・路線バスキャッシュレス化推進協議会負担金 3,654 千円
- ・共助交通運行支援事業補助金 198 千円
- ・由良駅周辺の維持管理 1,734 千円
- ・女子トイレ目隠しパネル設置工事 535 千円

【成果】 「乗りのりクラブ」が2団体での運行を開始したことで共助交通の取組が広がったほか、路線バスの運行維持とあわせ、県内の路線バスでキャッシュレス決済サービス開始に対して整備費用を負担し、住民の移動手段を確保と利便性の向上を図った。また、利用者が増加している由良駅周辺の環境整備を図った。

⑤地域再生プロジェクト支援補助金事業 1,000千円

町の課題解決に取り組むまちづくり団体に対し、活動に必要な補助金を交付した。

団体名	事業名・内容
鳥取中央育英高校を応援する会	鳥取中央育英高校魅力化応援事業（卒業生によるイベント開催、Webサイトの開設）

【成果】 クラウドファンディング型ふるさと納税を活用してまちづくりを行う団体を支援する仕組みを整備することができた。

⑥しあわせ♡創生事業 1,100千円

若い男女が安心して結婚できるような環境づくり、新婚生活を応援する取組を行った。

出合いのイベント（鳥取中部ふるさと広域連合へ委託）

区 分	R5年度	R6年度	R7年度
（出合いの）イベント開催	6回	5回	5回
イベント参加者	160人	164人	109人
カップル成立数	17組	22組	15組
（うち町民を含む組数）	（4組）	（6組）	（4組）

結婚新生活支援事業補助金

区 分	R5年度	R6年度	R7年度
補助金額	1,500千円	600千円	900千円
件 数	4件	1件	2件

えんトリ登録料支援（R7～登録無料）

区 分	R5年度	R6年度	R7年度
新規加入	3人	5人	
更 新	0人	6人	



【成果】 参加しやすい工夫をしながら結婚に向けた出合いの場を提供できたが、イベントにおける女性の参加率が低いこと、および成立したカップルの交際継続率の低さが明確な課題となっている。

⑦鳥取中央育英高校魅力化事業 49,861千円

鳥取中央育英高校の入学者数増に向けた取組を行った。

・高校魅力化専門員、高校魅力化サポーター（6/23～）の配置	199 千円
・魅力発見チケット贈呈	2,200 千円
・学生寮整備	36,399 千円
・若者モチベーション向上イベント（stasta、講演会）	8,551 千円
・若者活躍支援地域活動補助金	2,300 千円

- 4/27 EI!Fes
- 12/11 ナイトウォーク&ワークショップ
- 12/21 ミライの教育の創り方講演会
- 1/25 stasta（スタスタ）Tokyo Meetup

【成果】 「EI!Fes」の開催や魅力発見チケットの贈呈など「見えるカタチ」での情報発信により、メディアにも取り上げられ学校の認知度を維持できた。新たに学生寮も整備し、令和8年度の入学者数は92人（定員120人の3分の2超）と増加に転じた。



魅力発見チケット（ほくえい商品券）を贈呈



EI!Fesを開催



「ミスター駅伝」を高校魅力化サポーターに任命

⑧地域力創造事業 15,426千円

外部人材（地域力創造アドバイザーや地域活性化起業人）の知見やネットワークを活かし、町の課題解決などに取り組んだ。

・地域力創造アドバイザー（1人）	5,900 千円
・地域活性化起業人（2人）	7,726 千円
・北栄町ふるさと納税返礼品開発等支援補助金（3件）	800 千円
・地域共創拠点整備（旧中央保育所活用準備）	1,000 千円

【成果】 官民連携による協定締結（5社）や、旧中央保育所を活用した若者活躍拠点の創出につなげることができた。



官民連携職員向けセミナー



改修された旧中央保育所の活用

款	2 総務費	項	5 統計調査費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 統計費	6,449千円	6,446千円
①統計調査事業 6,446千円					
主な調査 国勢調査、人口移動調査、学校基本調査、経済センサス					
●令和7年国勢調査による人口・世帯数（速報値） 人口：13,473人 世帯数：4,998世帯					
款	10 公債費	項	1 公債費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 元金	713,913千円	713,913千円
①町債償還元金事業 648,913千円					
②繰上償還事業 65,000千円					
後年度における公債費の平準化と起債残高の縮小のため一部繰上償還を行った。					
【成果】 前年度の剰余金を活用し、過去の利率が比較的高い地方債の一部繰上償還を実施し、将来の利息負担額を約5,000千円縮小することができた。					
款	10 公債費	項	1 公債費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 利子	52,357千円	51,200千円
①町債償還利子事業 51,200千円					
(単位：千円)					
		R5年度	R6年度	R7年度	
起債残高		7,225,868	8,183,289	8,746,476	

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																																																							
		目	1 一般管理費	1,500,313千円	1,458,992千円																																																							
①一般管理事業（企画） 1, 2 6 4 千円 ・窓口キャッシュレス決済用機器使用料等 265 千円																																																												
【成果】 由良こども園で一時保育利用料のキャッシュレス決済を開始し、保護者の利便性向上につなげることができた。また、町立こども園全園に拡大する準備ができた。																																																												
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																																																							
		目	9 企画費	129,926千円	128,977千円																																																							
①消費者行政推進事業 1, 3 9 4 千円 中部ふるさと広域連合負担金 1,306 千円 啓発物資等消耗品費 88 千円 消費生活相談窓口（町民課内）及び中部消費生活センター（専門相談員設置）にて消費者相談の受付・対応を行った。																																																												
<table><tr><td>年 度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td><td>R7年度</td></tr><tr><td>相談受付件数</td><td>36件</td><td>47件</td><td>64件</td></tr></table>						年 度	R5年度	R6年度	R7年度	相談受付件数	36件	47件	64件																																															
年 度	R5年度	R6年度	R7年度																																																									
相談受付件数	36件	47件	64件																																																									
町報やチラシなどを通じ、消費者トラブルについて注意喚起を行ったほか、中部消費生活センター相談員と連携し、出前講座など地域住民への啓発活動を実施した。 ・出前講座（シニアクラブ・いきいきサロン） 3回 ・小学生金銭講座 1回 ・チラシ、パンフレット配布等での啓発活動 3回 ・高齢者等への「自動通話録音装置」の貸出 34台（貸出）/60台（保有）※年度末現在																																																												
【成果】 専門相談員を置く中部消費生活センターとの連携により、相談体制が充実した。地域住民への各種啓発活動（消費者講座等）により、特殊詐欺などの情報提供を行い、消費者被害の予防に努め、『くらしの安心・安全』につなげることができた。																																																												
款	2 総務費	項	2 徴税费	予 算 現 額	決 算 額																																																							
		目	1 税務総務費	100,371千円	98,686千円																																																							
①税務総務事業 1 1, 0 9 6 千円 コンビニ収納手数料 1,055 千円 土地管理システム使用料 2,043 千円 標準宅地鑑定委託料 5,870 千円 など																																																												
②税務総務関係負担金事業 2, 3 0 1 千円 軽自動車関係負担金 860 千円 地方税共同機構負担金 1,384 千円 など																																																												
③中部ふるさと広域連合負担金事業 3, 6 2 4 千円 ※一般会計分のみ (単位：千円)																																																												
<table><tr><td>滞納徴収分</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td><td>R7年度</td><td></td></tr><tr><td>広域連合負担金</td><td>7,898</td><td>5,776</td><td>6,027</td><td>※国保会計分を含む</td></tr><tr><td>広域連合徴収額</td><td>4,037</td><td>1,641</td><td>2,223</td><td>※延滞金含む</td></tr></table> (単位：千円)						滞納徴収分	R5年度	R6年度	R7年度		広域連合負担金	7,898	5,776	6,027	※国保会計分を含む	広域連合徴収額	4,037	1,641	2,223	※延滞金含む																																								
滞納徴収分	R5年度	R6年度	R7年度																																																									
広域連合負担金	7,898	5,776	6,027	※国保会計分を含む																																																								
広域連合徴収額	4,037	1,641	2,223	※延滞金含む																																																								
<table><tr><td></td><td colspan="4">徴収状況</td><td colspan="5">処理状況</td></tr><tr><td rowspan="2">年度</td><td rowspan="2">委託金額 (A)</td><td colspan="2">徴収額</td><td rowspan="2">徴収率 (B)/(A)</td><td rowspan="2">受託 人数</td><td colspan="3">処理人数</td><td rowspan="2">処理率</td></tr><tr><td>本税 (B)</td><td>延滞金</td><td>完結</td><td>執行停止</td><td>取消</td></tr><tr><td>R5</td><td>2,871</td><td>2,648</td><td>1,390</td><td>92.2%</td><td>24</td><td>18</td><td>2</td><td>0</td><td>83.3%</td></tr><tr><td>R6</td><td>1,916</td><td>1,168</td><td>473</td><td>61.0%</td><td>28</td><td>18</td><td>0</td><td>3</td><td>75.0%</td></tr><tr><td>R7</td><td>3,287</td><td>1,732</td><td>491</td><td>52.7%</td><td>31</td><td>20</td><td>3</td><td>0</td><td>74.2%</td></tr></table>							徴収状況				処理状況					年度	委託金額 (A)	徴収額		徴収率 (B)/(A)	受託 人数	処理人数			処理率	本税 (B)	延滞金	完結	執行停止	取消	R5	2,871	2,648	1,390	92.2%	24	18	2	0	83.3%	R6	1,916	1,168	473	61.0%	28	18	0	3	75.0%	R7	3,287	1,732	491	52.7%	31	20	3	0	74.2%
	徴収状況				処理状況																																																							
年度	委託金額 (A)	徴収額		徴収率 (B)/(A)	受託 人数	処理人数			処理率																																																			
		本税 (B)	延滞金			完結	執行停止	取消																																																				
R5	2,871	2,648	1,390	92.2%	24	18	2	0	83.3%																																																			
R6	1,916	1,168	473	61.0%	28	18	0	3	75.0%																																																			
R7	3,287	1,732	491	52.7%	31	20	3	0	74.2%																																																			
【成果】 滞納者への継続的な納付折衝や滞納処分を実施し、滞納案件の整理及び徴収の確保を着実に進めた。																																																												

款	2 総務費	項	2 徴税費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 賦課徴収費	9,891千円	9,046千円

①賦課徴収事務事業 9,046千円

納付書等印刷費 1,150千円

過誤納還付金 7,756千円 など

【成果】 きめ細やかな催告や調査を実施し、高い徴収率を維持することができた。

・徴収率の状況

(単位：千円・%)

区 分	徴収率 $b/(a-c)$			R7年度の収納状況		
	R5年度	R6年度	R7年度	調定額a	収入額b	不納欠損c
町民税（個人＋法人）	99.8	99.9	99.7	637,378	635,551	162
現年課税分	99.8	99.9	99.8	636,053	634,653	0
滞納繰越分	67.0	72.6	80.0	1,325	898	162
固定資産税	99.8	99.6	99.3	691,521	686,851	110
現年課税分	99.9	99.7	99.6	688,889	685,766	55
滞納繰越分	86.2	42.4	43.3	2,632	1,085	55
軽自動車税	100.0	99.9	99.9	76,204	76,115	0
現年課税分	100.0	99.9	99.9	76,113	76,041	0
滞納繰越分	100.0	79.2	80.5	91	73	0
町たばこ税	100.0	100.0	100.0	97,460	97,460	0
現年課税分	100.0	100.0	100.0	97,460	97,460	0
小 計（税合計）	99.8	99.8	99.6	1,502,563	1,495,977	272
現年課税分	99.8	99.8	99.7	1,498,514	1,493,920	55
滞納繰越分	83.5	57.6	56.2	4,049	2,057	217
国民健康保険税	99.4	98.9	98.7	379,150	374,008	34
現年課税分	99.5	99.1	99.1	374,985	371,440	6
滞納繰越分	72.0	57.4	62.3	4,165	2,568	28
介護保険料	99.9	99.9	99.9	372,626	372,202	0
現年課税分	99.9	99.9	99.9	372,320	372,119	0
滞納繰越分	100.0	63.5	27.3	306	84	0
後期高齢者医療保険料	99.6	99.9	99.8	215,178	214,709	0
現年課税分	99.6	100.0	99.8	215,076	214,706	0
滞納繰越分	100.0	92.7	3.1	103	3	0
小 計（保険合計）	99.7	99.5	99.4	966,954	960,919	34
現年課税分	99.7	99.6	99.6	962,381	958,264	6
滞納繰越分	75.3	65.3	58.7	4,574	2,655	28
合 計	99.7	99.7	99.5	2,469,517	2,456,895	306
現年課税分	99.8	99.8	99.6	2,460,895	2,452,183	61
滞納繰越分	81.2	61.5	57.5	8,622	4,712	245

※千円単位で四捨五入しているため、項目ごとの押上計算と、小計・合計は一致しません。

・税等の収納比率（上段：R5年度、中段：R6年度、下段：R7年度）

区 分	口座振替	コンビニ 電子マネー	共通納税 システム	町差押え	広域連合	特別徴収 (年金・給特)	窓口	合計
町・県民税	15.5%	4.5%	3.4%	0.1%	0.0%	75.2%	1.2%	100%
	15.5%	4.5%	3.4%	0.1%	0.1%	75.6%	0.8%	100%
	14.7%	4.4%	3.9%	0.1%	0.1%	76.1%	0.7%	100%
固定資産税	50.3%	10.5%	31.6%	0.4%	0.2%		7.2%	100%
	52.1%	10.6%	29.6%	0.2%	0.0%		7.5%	100%
	51.6%	10.8%	35.0%	0.0%	0.1%		2.5%	100%
軽自動車税	44.9%	32.5%	12.2%	0.3%	0.1%		10.1%	100%
	44.9%	31.2%	16.8%	0.3%	0.0%		6.8%	100%
	41.2%	28.4%	17.9%	0.3%	0.1%		12.1%	100%
国民健康保険税	64.7%	11.8%	6.5%	0.1%	0.2%	13.0%	3.6%	100%
	64.3%	11.2%	7.9%	0.3%	0.1%	12.5%	3.7%	100%
	61.9%	12.8%	12.1%	0.3%	0.2%	12.0%	0.7%	100%
介護保険料	2.9%	2.0%		0.0%		93.0%	2.1%	100%
	3.4%	2.7%		0.0%		92.9%	1.1%	100%
	2.5%	2.3%		0.1%		93.6%	1.5%	100%
後期高齢者医療保険料	18.0%	2.7%		0.0%		69.2%	10.0%	100%
	23.4%	2.5%		0.4%		66.5%	7.3%	100%
	23.1%	3.3%		0.1%		65.8%	7.7%	100%

款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 戸籍住民基本台帳費	70,972千円	70,078千円

①戸籍及び住民登録事務事業 9,384千円

申請書記入サポートシステム導入業務

2,801 千円

振り仮名法制化事務（振り仮名通知、システム改修等）

5,855 千円 など

【成果】 申請書記入サポートシステム（Caora）の導入により、記入に係る住民の負担軽減及び窓口の滞在時間の短縮につながった。

・住民基本台帳事務関係

令和8年3月末の住民基本台帳人口は13,838人、世帯数は5,473世帯で、令和7年3月末と比較して人口は201人減少し、世帯は5世帯の減少であった。

(1) 住民基本台帳人口及び世帯数（年齢階層別人口）

（単位：人）

年 齢	区 分	R5年度	R6年度	R7年度	対前年比
年少人口 (0～14歳)	男	932	890	878	△ 12
	女	844	820	790	△ 30
	計	1,776	1,710	1,668	△ 42
	構成比率	12.47%	12.18%	12.05%	△0.13%
生産年齢人口 (15～64歳)	男	3,682	3,624	3,535	△ 89
	女	3,567	3,497	3,440	△ 57
	計	7,249	7,121	6,975	△ 146
	構成比率	50.88%	50.72%	50.40%	△0.32%
老年人口 (65歳以上)	男	2,243	2,241	2,239	△ 2
	女	2,978	2,967	2,956	△ 11
	計	5,221	5,208	5,195	△ 13
	構成比率	36.65%	37.10%	37.54%	0.44%
合計	男	6,857	6,755	6,652	△ 103
	女	7,389	7,284	7,186	△ 98
	計	14,246	14,039	13,838	△ 201
世帯数		5,490世帯	5,478世帯	5,473世帯	△5世帯
(再掲) 75歳以上	男	1,072	1,108	1,168	60
	女	1,672	1,702	1,761	59
	計	2,744	2,810	2,929	119
	構成比率	19.26%	20.02%	21.17%	1.15%

(2) 住民基本台帳関係事務処理数 (単位：人)

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
転 入 者	284	259	258
出 生 者	72	75	80
そ の 他	6	2	2
計 (A)	362	336	340
転 出 者	357	299	348
死 亡 者	201	251	208
そ の 他	9	3	2
計 (B)	567	553	558

(単位：件)

種 別	件 数
転 居	84
世帯変更	111
職権修正	258
違反通知	0
戸籍の附票	2,114
計	2,567

社会増減	△ 73	△ 40	△ 90
自然増減	△ 129	△ 176	△ 128
その他	△ 3	△ 1	0
計 (A) - (B)	△ 205	△ 217	△ 218

(3) 印鑑登録関係件数

(単位：件)

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
登 録	444	386	373
(うち再登録)	(188)	(169)	(162)
抹 消	535	519	516
年度末登録者数	10,141人	10,011人	9,885人

・ 戸籍事務関係事業

(1) 本籍数及び本籍人口

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
本 籍 数	7,977戸籍	7,899戸籍	7,833戸籍
本 籍 人 口	19,086人	18,875人	18,655人

(2) 戸籍の取扱い件数

(単位：件)

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
新 戸 籍 編 製	83	94	87
戸 籍 全 部 消 除	159	172	153



申請書記入サポートシステム

(3) 戸籍届出の事件数

(単位：件)

事件の種類	年 度	R5年度	R6年度	R7年度
出 生		118	140	131
国 籍 留 保		1	0	0
認 知		2	1	3
養 子 縁 組		14	13	14
養 子 離 縁		7	8	8
離縁の際に称していた氏を称する届		0	1	0
婚 姻		169	149	159
離 婚		39	45	40
離婚の際に称していた氏を称する届		15	20	21
親 権 変 更		0	0	2
死 亡		268	323	279
失 踪		1	0	0
復 氏		1	1	1
姻 族 関 係 終 了		2	2	1
入 籍		41	49	33
分 籍		1	1	0
帰 化		1	2	0
国 籍 喪 失 ・ 選 択		3	1	0
外 国 国 籍 喪 失		0	1	0
氏 の 変 更		1	5	5
氏の振り仮名届				29
名の振り仮名届				74
転 籍		53	53	40
戸 籍 訂 正		9	22	7
続 柄 の 記 載 更 正		0	0	1
そ の 他		0	0	0
不 受 理 申 出		2	3	2
合 計		748	840	850

・住民票・戸籍など証明件数

(単位：件)

区 分	有 料			無 料		
年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R5年度	R6年度	R7年度
住 民 票 謄 抄 本	4,229	4,203	3,746	228	202	232
記 載 事 項 証 明	100	116	87	3	8	2
戸 籍 の 附 票	415	420	339	637	500	487
閲 覧	239	344	223	11,324	10,767	14,834
計	4,983	5,083	4,395	12,192	11,477	15,555
印鑑登録証明書	3,556	3,638	3,322	54	45	21
身 分 証 明 書	119	115	123	0	0	0
そ の 他 証 明	227	234	238	39	95	55
計	3,902	3,987	3,683	93	140	76
戸 籍 謄 抄 本	2,721	2,045	1,679	735	570	467
除 籍 謄 抄 本	3,013	2,209	1,876	1,455	1,512	1,232
届書記載事項証明	4	0	3	0	0	0
受 理 証 明	22	14	22	0	0	0
広域交付・戸籍謄本	11	203	172	0	308	251
広域交付・除籍謄本	26	457	298	3	817	493
電子証明書提供用識別符号		0	0		4	180
電 子 証 明 書		0	0		5	174
届書等情報内容証明	0	1	0	0	0	0
計	5,797	4,929	4,050	2,193	3,216	2,797
合 計	14,682	13,999	12,128	14,478	14,833	18,428

②個人番号カード事務事業 21,706千円

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
マイナンバーカード交付 ※	1,460枚	1,113枚	1,683枚
カード・電子証明書等関係手続き	1,425件	3,111件	4,644件

※カード更新含む

【成果】 マイナンバーカードの交付・更新、電子証明書の更新等の手続きについて、専用窓口で適正かつ円滑に行うことができた。また、時間外交付窓口や出張申請受付等、交付・申請支援体制の実施により、保有率を上げることができた。



款	3 民生費	項	3 国民年金事務取扱費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 国民年金事務取扱費	213千円	213千円

①国民年金事務取扱事業 213千円

国民年金に係る法定受託事務(資格取得ほか住民記録事項の変更に伴う各種届出、保険料免除、裁定請求等)を処理した。

また、年金事務所に年金加入状況や所得状況などの情報共有を行った。

拠出年金被保険者数 (単位：人)

区分	R5年度	R6年度	R7年度
1号	1,402	1,363	1,317
3号	373	341	296
任意	8	6	11
計	1,783	1,710	1,624

窓口事務受付件数 (単位：件)

区 分	R5年度	R6年度	R7年度
資格取得	153	154	148
種別変更	26	12	24
保険料減免	69	57	101
学生納付特例	15	18	21
年金裁定請求	12	3	4
未支給請求	51	57	30
その他	44	36	37
計	370	337	365

【成果】 年金加入者に不利益が生じることがないように、各加入者の相談内容に沿った年金手続きを適正に実施及び勧奨することができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会福祉総務費	401,254千円	385,148千円

①社会を明るくする運動事業 66千円

全国統一の「社会を明るくする運動」月間（7月）に保護司等による啓発を行った。
小・中学生の標語の募集と展示、作文コンテスト（県主催）の作品募集等を実施した。

【成果】 のぼり旗・懸垂幕の掲出、町放送・町報等による啓発を行ったことにより、町民の社会を明るくする運動への理解が深まった。

②戦没者追悼式事業 174千円

期 日 9月24日

場 所 北条農村環境改善センター

参 列 者 数 遺族31人、来賓19人（うち遺族5人含む）

【成果】 遺族、来賓とともに戦没者を追悼し、世界平和を祈念した。



戦没者追悼式

③民生児童委員協議会事業 2,542千円

・町協議会（委員45人）への活動補助 2,384千円

・中部民生委員協議会負担金 158千円

【成果】 ひとり暮らし高齢者等の見守り、あいさつ運動期間中の街頭啓発などを行い、各種研修会参加による資質向上に努め、地域福祉の推進を図った。

④社会福祉費補助金事業 140千円

町遺族会（3地区）の活動に対して、補助金を交付した。

【成果】 各遺族会の活動を促し、遺族同士のつながりを深めた。

⑤社会福祉協議会補助金事業 15,413千円

・町社会福祉協議会補助金 15,343千円

・鳥取県社会福祉協議会負担金 70千円

【成果】 社協職員人件費、マイクロバス運営維持管理費、地域活動支援センター運営費等への補助で福祉サービスの充実を図った。

⑥介護保険特別会計繰出金事業 224,670千円

介護保険事業特別会計へ法定の負担分を繰出した。

・介護給付費町負担分 191,452千円

・地域支援（介護予防）事業分 5,098千円

・地域支援（包括的支援・任意）事業分 1,038千円

・一般事務費分 15,148千円

・低所得者軽減分 11,934千円

【成果】 介護保険特別会計の健全な運営を行った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 老人福祉費	26,590千円	24,044千円

①老人福祉事業 810千円

米寿（数え年の88歳）、金婚（結婚50年）の人に祝詞、記念品を贈った。

	R5年度	R6年度	R7年度
米寿	41 人	130 人	112 人
金婚	53 組	55 組	45 組

※令和5年度から米寿表彰対象者を数え→満年齢に変更



【成果】 対象者からの感謝とともに、町に対する愛着を高めることができた。

②敬老会事業 2,773千円

75歳以上の高齢者を対象に敬老会や敬老記念行事を行った自治会に対し、対象者1人につき1,000円の補助を行った。

	R5年度	R6年度	R7年度
自治会数	53	52	54
対象者数	2,516 人	2,663 人	2,773 人

【成果】 多年にわたり社会の発展に貢献された高齢者に対して敬老の意を表し、自治会単位で祝福することにより、地域福祉の意識の醸成を図ることができた。

③老人保護措置事業 9,860千円

環境的、経済的理由により、在宅生活の維持が困難な高齢者を老人福祉法に基づき養護老人ホームに措置入所させ、安心安全な生活のため適切な支援を実施した。

	R5年度	R6年度	R7年度
入所者数	6 人	4 人	5 人

【成果】 高齢者が適切な指導や見守りを受けて、安心安全な環境での生活ができている。

④北栄町シルバー人材センター負担金事業 4,710千円

	R5年度	R6年度	R7年度
会員数	155 人	169 人	151 人

【成果】 高齢者の技能を活かし簡易な仕事の提供をするシルバー事業に補助することで、組織の安定運営、会員の生きがいと自立した生活につながっている。

⑤老人クラブ補助金事業 2,318千円

・老人クラブ補助

会員数	補助金額(※)	R5年度	R6年度	R7年度
50人～	70,000円	2	1	0
40人～49人	60,000円	4	5	5
30人～39人	50,000円	5	5	7
20人～29人	40,000円	7	8	7
10人～19人	30,000円	1	0	0
合 計	クラブ数	19	19	19
	補助金額	970 千円	940 千円	930 千円

・老人クラブ連合会補助 1,260千円

【成果】 仲間づくり、生きがいと健康づくり、奉仕活動など地域の支え合いに積極的に取り組む単位老人クラブと、それを支援、育成する連合会に補助し、高齢者の自主活動と地域づくりを進めた。

⑥成年後見支援センター事業 909千円

成年後見ネットワーク倉吉へ中部成年後見支援センターの運営を委託し、専門職への困難事例の相談、制度の広報、研修会の実施などを進めた。

	R5年度	R6年度	R7年度
後見委任数	7 件	6 件	6 件
相談 件数	高齢者 5 件	1 件	0 件
	障がい者 6 件	3 件	2 件 (延件数)

【成果】 困難事例が増えるなか、中部の市町が協力して法人後見につなげている。

⑦高齢者補聴器購入費補助金事業 600千円

	R5年度	R6年度	R7年度
補助人数	19 人	25 人	20 人

【成果】 聴力機能の低下によってコミュニケーションを取ることが困難になったことに起因する閉じこもりや認知機能の低下等を防ぐとともに、積極的な社会参加及び地域交流を支援することができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 介護予防生活支援費	104,182千円	100,166千円

①外出支援サービス事業 18,135千円

- ・タクシー利用料助成事業 10,718千円
高齢者や障がい等特別な事情で移動手段に困っている人、免許証を自主返納された人へタクシー利用料を助成した。

	R5年度		R6年度		R7年度	
	タクシー券	町内限定 300円券	タクシー券	町内限定 500円券	タクシー券	町内限定 500円券
登録者数（人）	592	589	581	576	579	540
延利用件数（件）	9,408	5,932	8,698	5,083	7,147	4,319
助成額（千円）	6,799	6,311	6,700	5,900	5,896	4,474

- ・在宅通院支援事業 7,417千円
要支援・要介護の認定を受けている人、介護予防・日常生活支援総合事業対象者の基準に該当する人、または障がいがあり通院の必要性がある人に対し、公共交通機関を利用することが困難な場合にタクシーによる病院送迎を助成した。

	R5年度	R6年度	R7年度
登録者数	186 人	165 人	153 人
延利用件数	5,261 件	5,415 件	3,514 件
助成額	9,704 千円	11,106 千円	7,345 千円

【成果】 利用者の負担軽減と医療や買い物の移動支援につながり、自立した日常生活の維持を図った。

②介護予防地域支え合い事業 5,768千円

いきいきサロンを高齢者の交流の場として、自治会自主運営や社協支援で実施した。

	R5年度	R6年度	R7年度
自治会数	43	44	44
開催回数	1,029 回	1,070 回	1,141 回
参加延べ人数	10,882 人	11,498 人	12,144 人

【成果】 健康意識の向上、高齢者の閉じこもり防止等、介護予防と地域の仲間づくりを図った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 障害者福祉費	479,043千円	463,252千円

①障がい者福祉関係負担補助金事業 260千円

町心身障がい児者育成会（ひまわり会）等の活動に対する補助を行った。

- ・町心身障がい児者育成会（ひまわり会）補助金 180千円
- ・町精神障がい者家族会補助金 80千円

【成果】 障がい者の閉じこもりを防止し、社会参加への意欲を高めるとともに障がい者を支える家族同士のつながりを深めた。

②心身障がい者医療費扶助事業 3,979千円

中度の心身障がい者（身体障害者手帳3,4級、療育手帳B、精神手帳2級の交付を受けた人）で町民税非課税者に対し医療費を助成した。

	R5年度	R6年度	R7年度
件数	303 件	288 件	259 件
金額	3,699 千円	3,778 千円	3,979 千円

【成果】 中度心身障がい者の医療控えを防ぎ、健康維持と負担軽減につながった。

③障害支援区分認定事務事業 843千円

障がいの程度に応じた支援区分決定のため、主治医意見書の作成手数料負担や広域連合委託で認定審査を実施した。

	R5年度	R6年度	R7年度
認定件数	33 件	30 件	51 件

【成果】 認定審査を中部ふるさと広域連合に委託し、スムーズな障害福祉サービスの利用につながった。

④自立支援給付事業 394,386千円

	R5年度		R6年度		R7年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
居宅介護、重度訪問介護等	188	10,989	188	11,551	167	16,003
上記以外の介護給付費等	2,200	356,784	2,334	361,087	1,995	359,905
サービス利用計画作成費	447	7,047	392	7,843	425	8,913
補装具費	20	3,561	13	1,215	18	1,186

【成果】 心身に障がいのある方の自立した日常生活や社会生活を維持することができた。

⑤自立支援医療給付事業 21,236千円

人工透析医療、ペースメーカー植込み術等に係る医療費を給付した。

	R5年度		R6年度		R7年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
更生医療	1,029	14,157	1,137	18,734	1,065	18,630
育成医療	9	19	3	2	0	0
療養介護医療	44	2,587	38	2,124	39	2,528

【成果】 障がい者の生命維持と自立した日常生活、社会生活につながった。

⑥地域生活支援事業 29,349千円

・意思疎通支援事業 3,908千円

聴覚障がい者等の手話通訳や要約筆記などのコミュニケーション支援を行った。

委託先：公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

	R5年度	R6年度	R7年度
延派遣依頼件数	78 件	103 件	125 件

・相談支援事業 1,079千円

障がいに応じた相談支援を提供し、障がい児支援の充実につながった。

委託先：合同会社 ライフサポートリッカ

	R5年度	R6年度	R7年度
延相談件数	1,602 件	1,588 件	1,726 件

・日常生活用具給付等事業 4,219千円

障がい者等に対し、ストマ用装具等の福祉用具の給付を行った。

	R5年度	R6年度	R7年度
延利用件数	334 件	361 件	391 件

・移動支援事業 1,411千円

屋外での移動が困難な障がい者等について、外出のための支援を行った。

	R5年度	R6年度	R7年度
延利用者数	71 人	89 人	82 人

・日中一時支援事業 4,583千円

見守り等の支援を受けながら障がい者等が活動できる場を確保した。

	R5年度	R6年度	R7年度
延利用者数	228 人	176 人	171 人

・地域活動支援センター事業

8,174千円

見守り等の支援を受けながら障がい者等の創作的活動、生産活動の場を提供した。

	R5年度	R6年度	R7年度
延利用者数	98 人	101 人	98 人

【成果】 障がいに応じた様々なサービスを提供し、障がい者の自立支援、社会参加につながった。

⑦障がい者グループホーム等夜間世話人配置事業 623千円

地域生活の受け皿となるグループホーム等で夜間・休日の世話人を配置し、障がい者の地域移行を進める事業所に対し補助を行った。

	R5年度	R6年度	R7年度
利用者数	4 人	3 人	3 人
延利用日数	1,139 日	1,095 日	1,093 日

【成果】 グループホーム等利用者の安心安全な生活に資することができた。

⑧障がい者相談員設置事業 75千円

身体・知的・精神障がい者相談員を委嘱し、当事者や家族が地域で相談できる体制を作った。

相談員数	R5年度	R6年度	R7年度
身 体	1 人	1 人	1 人
知 的	1 人	1 人	1 人
精 神	2 人	2 人	2 人

【成果】 身近な相談員を設置していることで、相談しやすい体制ができた。

⑨特別障害者手当等給付事業 5,282千円

日常生活において、常時特別な介護を要する在宅の重度の障がい児・者に対し手当を給付した。

	R5年度	R6年度	R7年度
延受給者数	251 人	248 人	234 人

【成果】 在宅で生活する重度の障がい児・者の負担軽減を図った。

⑩障がい児者在宅生活支援事業 646千円

日常的に医療行為の必要な障がい児者や重症心身障がい児者に対し、町が定める事業を行う対象者に補助を行った。

	R5年度	R6年度	R7年度
看護師配置対象児者	5 人	6 人	3 人
看護師配置延日数	465 日	453 日	53 日
排痰補助利用者数	1 人	1 人	1 人

【成果】 医療的ケア児者や重症心身障がい児者の在宅生活等を支援することができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 生活困窮者自立支援費		
				1,473千円	1,372千円

①生活困窮者自立相談支援事業 91千円

・住居確保給付金

休業等に伴う収入の減少により住居を失うおそれがある方に対し、家賃相当額の支給を行う事業。

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
延支給件数	0 件	0 件	1 件

【成果】 生活や就労に向けた相談や問い合わせにおいて、事業を踏まえて相談対応を行い、住居の確保につながる対応ができた。

②就労準備支援事業 1, 148千円

- 生活困窮者就労準備支援事業 638千円

生活困窮者等に対し、一般就労に向けた支援や就労機会の提供を行った。（委託先：社会福祉法人トマトの会）

	R5年度	R6年度	R7年度
利用者数	2人	2人	2人
延利用日数	94日	259日	184日

【成果】 生活困窮者の自立促進や社会参加につながる場や相談機会を提供することができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	7 重層的支援体制整備事業費	48,883千円	45,253千円

①地域包括支援センター事業 40千円

- 相談支援事業 地域包括支援センターにて、高齢者に関する相談支援を行った。

地域包括支援センター相談件数

	R5年度	R6年度	R7年度
一般相談	1,589件	2,518件	2,370件
地域支援	502件	578件	506件
予防給付	1,239件	1,726件	1,478件
計	3,330件	4,822件	4,354件

- 地域ネットワーク会議

関係機関のネットワークの構築及び資質向上のための研修会・意見交換会を年6回（参加者合計190人）開催した。

- 権利擁護事業

高齢者虐待対応の状況（実数）

	通報相談件数	虐待判断件数
養護者による虐待	6件	3件
施設従事者による虐待	0件	0件

高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会

【成果】 相談に応じた支援を提供、高齢者の自立支援、重度化予防、権利擁護の支援を行った。

②障がい者相談支援事業 3, 169千円

- 相談支援事業 3,169千円

障がい者地域生活支援センターを設置するとともに相談支援事業を専門職に委託し、障がいのある人やその家族の相談支援を行った。

	R5年度	R6年度	R7年度
町障がい者地域生活支援センター	203件	202件	205件
障がい者虐待相談数（実数）	4件	1件	4件
中部障害者地域生活支援センター（仁厚会へ委託）	451件	409件	644件

【成果】 障がいに応じた相談支援を提供し、障がい者の自立支援、社会参加につながった。

③生活困窮者自立相談支援事業 7, 336千円

- 自立相談支援事業

相談支援員、就労支援員など職員を配置し、生活困窮者の自立相談支援、就労支援等を実施した。

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
新規相談者数	21人	16人	21人

【成果】 生活困窮にかかる相談支援や就労・家計支援など分野を超えた包括的支援を実施し、生活困窮者の自立促進を図った。

④地域介護予防活動支援事業 714千円

- ・高齢者サークル活動支援事業委託料 601千円

介護予防活動の地域展開に資する住民主体の通いの場等の活動支援を行った。

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
団体数	25 団体	27 団体	30 団体
延回数	1,477 回	1,716 回	1,844 回
延人数	10,447 人	12,438 人	13,296 人

- ・地域介護予防活動支援事業

事業名	延人数	開催回数	備考
こけないからだ講座	0 人	0 回	
こけないからだ講座（フォロー）	307 人	30 回	30自治会

講座終了後、住民主体で地域の公民館などで週1～月1回程度集まり、体操を継続することで、筋力の維持・向上、閉じこもり予防、交流の場となっている。

	R5年度	R6年度	R7年度
実施自治会(内新規)	27(0)	32(4)	30(0)
その他（介護事業所等）	3	3	3

R7中断 2自治会



こけないからだ講座

【成果】 閉じこもりの解消や支え合う関係づくり、介護予防活動の推進を図った。

⑤生活支援体制整備事業 7,995千円

生活支援コーディネーターを配置（委託）するとともに、第1層（町全域）協議体「ほくえい支え愛協議体」、および第2層（小学校区単位）協議体「よっしゃやらあ会」を設置。生活支援や見守り、助け合い活動の推進に取り組んだ。

	延人数	開催回数
生活支援サポーター養成講座	0人	0回
第1層協議体	0人	0回
第2層協議体	128人	21回
支え愛連絡会	102人	8回

【成果】 ちょっとした困りごとに対する生活支援サービスの提供を図るとともに、地域内の見守りや助け合い活動の推進を図った。

⑥生活困窮者等共助の基盤づくり事業 3,481千円

共助の取組を活性化し、地域の福祉ニーズを踏まえた地域サービスの創出・推進を図った。（委託先：社会福祉協議会）

- ・出かけにくい人や地域づくりの担い手がつながる参加の場「ほっとかけはし」、
「ほっとかけはし＋プラス」の開催
- ・共助交通の取組団体の運営サポート
- ・高校生ボランティアとの協働による集いの場の開催 等

【成果】 他事業（生活支援体制整備事業等）と連携して取り組み、集いの場や共助交通の活動など支え合うしくみづくりの推進やインフォーマル活動（住民同士の助けあい）の活性化を図った。

⑦参加支援事業 760千円

社会参加しにくい人などを対象とした、社会とのつながりづくりや参加の支援を実施するとともに、支援メニューづくりの取組を実施した。（委託先：社会福祉協議会）

- ・社会参加につながる場の開拓
- ・ひきこもりなど支援につながりにくい人への対応に関する連携を目的とした「つながる会議」の開催(年1回)
- ・個別対象者の参加に向けた支援の実施（プラン作成：5件）

【成果】 つながりや参加に関する個別支援を行うとともに、関係機関と参加の場や機会に関する課題を共有し、今後の取組について検討をすすめることができた。

⑧アウトリーチ等を通じた継続的支援事業 1, 258千円

- ・アウトリーチ訪問等の実施
必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、アウトリーチによる対象者との信頼関係づくり、制度へのつなぎ等の支援を行った。（プラン作成：8件）
- ・世帯訪問調査の実施
福祉の相談窓口の周知及び必要な支援へのつなぎを目的に全戸訪問を実施（21自治会：1,393世帯）した。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計
訪問自治会数	3	8	14	17	21	63
訪問世帯数	187	478	1,191	1,517	1,393	4,766
要支援世帯数	0	2	4	12	15	33
要観察世帯数	4	14	53	44	51	166

【成果】 全戸訪問により支援が必要な世帯や今後支援を必要とする世帯の把握ができ、必要に応じて関係機関へ支援のつなぎを行った。

⑨多機関協働事業 4, 819千円

複雑化・複合化した課題を抱え単独の支援機関では対応が難しい事例に対し支援を実施した。また、横断的な相談支援体制の構築に向け、福祉施策アドバイザーを設置し体制整備を推進した。

	R6年度	R7年度
包括的支援会議	49 回	34 回
プラン作成	56 件	43 件

【成果】 包括的支援会議にて個別支援方策を検討したほか、分野横断的研修や関係機関連絡会等を実施し多分野連携の促進を図った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	8 住民税非課税世帯等物価高騰支援給付金事業費	65,115千円	65,001千円

①住民税非課税世帯等物価高騰支援事業 65, 001千円

定額減税しきれないと見込まれた人等に対し、追加の給付金を支給した。

- ・定額減税補足給付金（不足額給付） 26,150千円
- ・定額減税補足給付金（不足額給付：繰越分） 36,600千円

【成果】 支給世帯の生活安定につながった。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	9 物価高対策生活支援費	144,681千円	65,381千円

①生活応援商品券配布事業 65, 381千円

- ・物価高における生活支援のため、1人10,000円分の商品券を全世帯に配布した。78,789千円は翌年度に繰り越した。

【成果】 支給世帯の生活安定につながった。



款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 母子父子福祉費	36,995千円	34,873千円

①母子家庭等対策総合支援事業 1,680千円

- ・ 高等職業訓練促進給付金の給付 1,680千円
就業に向けた高等職業訓練の修学を行う母子家庭等に対し、給付金の給付を行った。
支給対象者：母子家庭1件（月額140千円）

【成果】 給付金の給付を行ったことにより、修学中の生活を支え、自立した生活に向けた準備を促すことができた。

②町母子会補助金事業 1,600千円

- ・ 母子寡婦福祉資金の貸付 1,500千円
要件を満たす母子及び寡婦に対し、上限20万円（無利子）の貸付を行った。

	R5年度	R6年度	R7年度
借入件数	4 件	6 件	7 件
借入金総額	800 千円	1,100 千円	1,100 千円

【成果】 母子寡婦貸付を行ったことにより、自立した生活に向けた準備を促すことができた。

③児童入所施設措置等事業 27,880千円

- ・ 母子生活支援施設措置委託料 27,880千円
配偶者がいない又は、これに準ずる女子とその者が監護すべき児童を保護し、自立促進のため生活の支援及び相談に応じた。

	R5年度	R6年度	R7年度
措置家庭数	3 家庭	5 家庭	7 家庭
措置人数	11 人	15 人	19 人

【成果】 施設に保護し就労、子育て支援等の指導を行ったことにより、自立した生活に向けた準備を促すことができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 児童手当費	297,456千円	297,450千円

①児童手当等給付事業 297,450千円

次代を担う児童の健全育成や子育て家庭の生活の安定を図るため、児童を養育する保護者等に対し手当を支給した。

（令和6年10月～）

児童の年齢	支給金額（一人当たり月額）	
	第1子・第2子	第3子以降
0歳～3歳未満	15,000 円	30,000 円
3歳以上～高校生	10,000 円	

※算定児童を大学生年齢児童（18～22歳）まで拡充。所得制限を撤廃。

	R5年度 (R6.6支給時点)	R6年度 (R7.4支給時点)	R7年度 (R8.4支給時点)
対象受給者数	866人	973人	967人
支給対象児童数（3月時点）	1,538人	1,827人	1,807人

【成果】 児童手当を支給したことにより、児童の健全育成、子育て家庭の生活の安定を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 児童扶養手当費	58,324千円	58,012千円

①児童扶養手当給付事業 58,012千円

ひとり親で18歳までの子どもを扶養している家庭に手当を支給した。

対象児童数	全部支給	一部支給
1人	月額 46,690円	月額 46,680円～11,010円
2人目以降	月額 11,030円	月額 11,020円～5,520円

実支給家庭数	R5年度	R6年度	R7年度
母子家庭数	105 世帯	97 世帯	86 世帯
父子家庭数	7 世帯	8 世帯	8 世帯

【成果】 児童扶養手当を支給したことにより、受給者世帯の生活の安定と児童の福祉の増進を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 児童措置費	112,101千円	103,386千円

①障害児通所給付事業 101,485千円

障がい児の機能訓練、集団生活適応訓練、社会との交流支援など必要に応じたサービスに係る給付を行った。

	R5年度		R6年度		R7年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
児童発達支援	147	4,412	149	6,282	123	4,690
医療型児童発達支援	42	291	48	377	51	426
放課後等デイサービス	1,024	83,851	1,039	78,510	1,107	84,954
保育所等訪問支援	167	5,082	152	5,030	136	4,333
相談支援	357	7,136	318	7,190	331	6,936

【成果】 発達障がいを含めた障がい児に対し事業の連携により一貫した支援ができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	13 子育て応援費	44,577千円	42,941千円

①物価高対応子育て応援事業 42,941千円

物価高騰の影響を受ける子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもの健やかな成長を支援するため、給付金を支給した。1,635千円は翌年度に繰り越した。

- ・物価高対応子育て応援手当 支給総額 42,480千円
(対象受給者数 1,127人、対象児童数2,124人)

【成果】 子育て世帯に対して迅速に給付を行い、物価高騰による家計負担の軽減を図った。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 生活保護総務費	89,083千円	86,926千円

①生活保護総務事業 9,268千円

福祉事務所で、生活保護業務を迅速かつ円滑に処理した。

生活保護 人員体制 所長、課長、査察指導員、ケースワーカー2人

- ・嘱託医報酬 247千円
- ・レセプト管理システム委託料 3,920千円
- ・生活保護システム保守委託料1,713千円
- ・被保護者夏季見舞金 165千円
- ・生活保護システム改修委託料2,420千円

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
総務事業費	11,534千円	8,215千円	9,268千円

【成果】 生活保護費の給付及び生活の指導等に必要な体制づくり及びシステム導入及び改修を実施し、必要な保護を滞りなく実施可能な状態にできた。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 生活保護扶助費	80,570千円	70,464千円

①生活保護扶助事業 70,464千円

生活に困窮する人に対し、最低限度の生活を保障するとともにその自立を促すため、必要な扶助を行った。

年 度	R5年度末	R6年度末	R7年度末
受給者数	53 人	41 人	41 人
世帯数	46 世帯	35 世帯	38 世帯
扶助費	75,604千円	75,193千円	66,086千円

- ・生活扶助 22,228千円
- ・医療扶助 42,900千円
- ・介護扶助 958千円

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
相談数	34 件	28 件	21 件
申請数	9 件	12 件	10 件
結 果	決定	7 件	4 件
	却下	1 件	5 件
	取下	1 件	3 件
廃止		8 件	15 件
内 訳	就労	1 件	1 件
	死亡	5 件	2 件
	その他	2 件	12 件

【成果】 生活保護費の給付及び生活の指導など必要な保護を実施し、自立の助長と生活の安定を図った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会福祉総務費	401,254千円	385,148千円

①国民健康保険特別会計繰出金事業 117,937千円

国民健康保険事業特別会計へ次の経費を支出した。

・保険基盤安定分	89,409 千円	・出産育児一時金分	1,000 千円
・保険財政安定化支援分	6,551 千円	・事務費、職員給与分	19,644 千円
・未就学児負担軽減分	1,048 千円	・産前産後免除分	285 千円

【成果】 国民健康保険事業特別会計の健全運営を維持することができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 特別医療費助成事業費	104,387千円	100,045千円

①特別医療費助成事業 98,775千円

対象者にかかる医療費を助成した。

・特別医療費審査手数料	69,498 件	2,025 千円
・特別医療費助成費	35,049 件	96,749 千円

(単位：千円)

	R5年度			R6年度			R7年度		
	延人数	件 数	金 額	延人数	件 数	金 額	延人数	件 数	金 額
身障1,2級	215	5,725	36,115	199	4,961	24,486	209	4,919	22,050
重度知的障がい者	21	845	1,871	28	742	1,933	27	705	1,550
精神障がい者	9	280	2,829	11	293	2,765	13	343	2,738
特定疾病	2	17	206	2	10	342	2	18	69
ひとり親家庭	61	811	2,131	55	907	2,322	73	1,006	3,258
小児	2,278	27,203	55,922	2,228	29,117	70,204	2,182	28,058	67,084
合 計	2,586	34,881	99,074	2,523	36,030	102,052	2,506	35,049	96,749

【成果】 対象者の医療費負担を軽減することができた。

②養育医療費助成事業 970千円

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院養育を必要とする未熟児に対して、指定養育医療機関において養育に必要な医療の給付を行った。

	R5年度		R6年度		R7年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未熟児養育医療扶助費	4件	1,217千円	3件	1,225千円	3件	908千円

【成果】 対象者の医療費負担を軽減することができた。

③特定不妊治療費助成事業 300千円

令和4年度から不妊治療の保険適用に伴い、保険適用外となる治療費の一部を助成した。

- ・保険診療と組み合わせ実施された先進医療
- ・自費診療で実施された治療

	R5年度	R6年度	R7年度
件 数	0 (人数0)	2件 (人数2人)	2件 (人数1人)
金 額	0	207千円	300千円

【成果】 高額になる不妊治療費について、経済的負担の軽減を図ることができた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 保健衛生総務費	152,910千円	149,693千円

①保健衛生総務事業 2,133千円

- ・健康推進員活動支援
- ・健康計画推進委員会の開催 2回
- ・公用車の燃料費及び管理費
- ・過年度分の国庫補助金、負担金の返還金

【成果】 健康推進員が健診受診啓発や健康づくりの推進活動を行った。また、第3次健康ほくえい計画の推進に向け、各組織の推進状況や今後の取組について確認することができた。

②健康管理システム委託事業 20,583千円

各種健診・予防接種に関するデータを一元管理するための健康管理システムの維持管理を実施した。また、新たなワクチンの定期接種化に伴うシステム改修やシステム標準化も行った。

【成果】 健康管理システムでデータを一元管理することにより、保健指導、接種勧奨等を効率的に実施することができ、町民の健康寿命延伸の一助となった。また、新たに定期化されたワクチンに対するシステム改修を実施したことにより、町民に定期接種を実施する機会を遅れることなく提供できた。

③献血事業 1千円

町内の各施設、事業所の協力のもと、献血を行った。

- ・協力事業所謝礼品 1千円

区 分	R5年度		R6年度		R7年度	
	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数
400ml	144人	119人	157人	122人	165人	143人
実施回数	3回（延10会場）		3回（延10会場）		3回（延10会場）	

【成果】 献血協力者の確保に努め、輸血を中心とした医療を支える一助となった。

④民間診療所新規開設継承支援事業 6千円

基金の利子について積立を行った。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 健康増進センター費	27,281千円	26,039千円

①健康増進センター管理事業 5,359千円

各種健診をはじめとする保健、健康増進事業の拠点として健康増進センターの管理運営を行った。

区 分	利用者数		
	R5年度	R6年度	R7年度
健 診 棟	6,350人	3,666人	3,985人
調 理 室	771人	729人	659人
会 議 室	5,941人	3,382人	3,806人

区 分	利用回数		
	R5年度	R6年度	R7年度
母子保健事業・成人健診事業	118回	132回	153回
子育て支援センター	通年利用		
その他各種会議等	127回	104回	87回

②健康増進センター改修事業 20,680千円

・空調設備更新工事（子育て支援センター） 20,680千円

【成果】 必要な改修を実施したことにより、利便性及び安全性の維持・向上につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 感染症等予防費	68,790千円	52,741千円

①感染症等予防事業 52,741千円

・定期予防接種

区 分	接種者数 (延人数)		
	R5年度	R6年度	R7年度
五種混合(DTP-IPV-Hib)	-	206人	337人
四種混合(DTP-IPV)	345人	118人	11人
二種混合(DT)	124人	113人	123人
麻しん風しん混合	196人	172人	176人
日本脳炎	317人	455人	425人
BCG	81人	65人	92人
ヒブワクチン	320人	77人	1人
小児肺炎球菌ワクチン	321人	290人	330人
子宮頸がん予防ワクチン ※1	163人	423人	125人
水痘	178人	174人	145人
B型肝炎 (H28.10～)	227人	211人	248人
ロタウイルス (R2.10～)	174人	165人	189人
高齢者インフルエンザ	2,871人	2,598人	2,654人
高齢者コロナ ※2	-	1,143人	690人
高齢者肺炎球菌	165人	51人	47人
带状疱疹	-	-	533人
風しん(第5期) ※3 (H31.4～)	28人	9人	40人
		7人	R6年度で終了

※1 R4年度から子宮頸がんワクチンについては、勧奨が再開となった。また、積極的勧奨を行わなかった年代の方々を対象にキャッチアップ接種を実施（R7年度まで）

※2 新型コロナウイルス予防接種事業については令和6年度に法令上定期接種B類に位置づけられたため、定期接種として計上。

※3 風しん（第5期）は左が抗体検査、右が予防接種の人数を掲載。

・任意予防接種 費用助成

個人が感染症にかかったり、重症化を防ぐために受ける任意接種に係る費用の一部助成を行った。

区 分	接種者数 (延人数)		
	R5年度	R6年度	R7年度
乳幼児インフルエンザ	445人	437人	370人
小学生インフルエンザ (H27.10～)	319人	331人	302人
中学生インフルエンザ (H27.10～)	93人	110人	102人
障がい児・者インフルエンザ (R2.10.1～)	17人	14人	15人
おたふくかぜ	91人	73人	77人
風しん(大人)	13人	5人	10人

【成果】 医師会・医療機関と連携し、予防接種事業を実施することで感染症予防につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 母子衛生費	14,831千円	13,431千円

①母子衛生事業 13,431千円

・乳幼児健康診査

乳児、1歳6か月児、3歳児を対象に、心身の発達状態を観察するとともに、医師の診察を実施し、健康状態、育児、食事等について相談・助言を行った。

5歳児は保護者の希望等による相談（医師・心理士・就学に関する）を行った。

	R5年度				R6年度				R7年度			
項目	乳児	1.6児	3歳児	5歳児	乳児	1.6児	3歳児	5歳児	乳児	1.6児	3歳児	5歳児
実施回数	6回	6回	6回	4回	6回	6回	6回	4回	6回	6回	6回	4回
対象者	86人	106人	98人	24人	70人	95人	103人	11人	80人	68人	100人	14人
受診者	85人	104人	98人	24人	69人	95人	103人	11人	80人	68人	100人	14人
要精密	3人	3人	21人	10人	2人	3人	18人	3人	5人	1人	23人	8人
追跡観察	21人	27人	20人	1人	3人	22人	22人	2人	9人	23人	13人	1人
要治療	2人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人

・妊婦乳児一般健康診査

妊婦及び乳児の健康診査を医療機関に委託して実施した。

項 目	R5年度	R6年度	R7年度	※延件数
妊婦一般健康診査	869件	868件	883件	
乳児一般健康診査	163件	216件	228件	

※乳児一般健康診査は、1か月児・3～4か月児・9～10か月児について医療機関に委託して実施。1か月児健診は、R6年度から医療機関委託を開始した。

・乳幼児健康相談及び健康教室

各健康相談、教室を実施するとともに、訪問による指導により、母子保健の推進を図った。

項目	R5年度		R6年度		R7年度	
	実施回数	参加者/対象者	実施回数	参加者/対象者	実施回数	参加者/対象者
離乳食講習会	6回	32人/81人	6回	25人/70人	6回	28人/80人
1歳児教室	6回	33人/86人	5回	36人/74人	5回	29人/78人
2歳児教室	6回	70人/99人	6回	61人/91人	6回	50人/70人
2歳6か月児教室	5回	74人/98人	6回	72人/105人	6回	59人/93人

・訪問指導

	R5年度	R6年度	R7年度	※延人数
妊産婦	139人	136人	175人	
乳児	189人	140人	191人	

・歯科対策（1歳6か月児、3歳児健診を除く）

項目		R5年度		R6年度		R7年度	
		回数	参加者/対象者	回数	参加者/対象者	回数	参加者/対象者
フッ素塗布	3歳未満	11回	144人/197人	12回	138人/177人	12回	109人/163人
	3歳以上	10回	246人/294人	10回	237人/284人	10回	284人/289人

※フッ素塗布3歳以上は年1回全園で実施。

※3歳未満は、2歳、2.6歳でフッ素塗布した人数

3歳以上は、園歯みがき指導（夏）でフッ素塗布した人数

項目		R5年度	R6年度	R7年度
		参加者/対象者	参加者/対象者	参加者/対象者
フッ化物洗口	年中・年長	185人/193人	181人/193人	175人/186人
	小学生	709人/781人	686人/752人	643人/719人
歯磨き指導（夏・冬）		538人/588人	534人/577人	546人/588人

※参加者はフッ化物洗口を実施した実人数。年中・年長児は、週5日法でフッ化物洗口を実施。小学生は、週1回法でフッ化物洗口を実施
 ※歯磨き指導は年2回、全園の3歳以上のクラスで実施。

・妊婦歯科健診、ふしめ歯科検診

		R5年度	R6年度	R7年度
		参加者/対象者	参加者/対象者	参加者/対象者
妊婦歯科健診	妊婦	32人/73人	37人/95人	33人/64人
ふしめ歯科検診	20.30.40 50.60.70歳	72人/1,013人	70人/1,030人	113人/920人

・こども園食育

各園の食育年間計画に基づき食育事業を実施された。町栄養士、食生活改善推進員（食推）も参加し、体験型クッキング活動として味噌汁作りを1園で行った。その他、手洗いチェッカー体験、カレー作り等も行った。

【成果】 こども園訪問を計画的に実施し、こども園・教育総務課・健康推進課でこどもの発達等について支援を共有・協議し、保護者支援を行うことができた。
 ふしめ歯科検診の受診券を集合受診券から単独受診券に変更し、受診者が増加し、むし歯や歯周病の早期発見・予防につながった。
 クッキング活動では、こどもたちが五感を使って体験し、食に興味を持つことができた。また、正しい手洗いの方法やポイントについても確認し、よりしっかり手洗いをする習慣を身につけることができた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 健康支援費	40,865千円	40,609千円

①健康診査等事業 38,759千円

・基本健康診査、特定健診

健診区分	R5年度	R6年度		R7年度	
	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者
基本健康診査	101人	2,265人	112人	1,978人	97人
特定健診（国保）	1,210人	2,435人	1,106人	2,304人	1,051人※
内訳	集団健診	594人	—	562人	—
	個別健診	469人	—	413人	—
	人間ドック	147人	—	131人	—
後期高齢者健診	556人	2,671人	660人	2,585人	721人

*国保会計で支出

*後期会計で支出

※特定健診の表の人数は、国保会計で支出した人数を記載。受診率を算出する際の受診者数は、年度途中の資格喪失者等を除外するなど対象者の考え方が異なる。

・人間ドック（対象年齢 40,45,50,55,61,65,70歳）

受診者	R5年度	R6年度	R7年度
男性	130人	124人/677人	111人/658人
女性	163人	159人/659人	131人/627人
計	293人/1,354人	283人/1,336人	242人/1,285人
受診率	21.6%	21.2%	18.8%

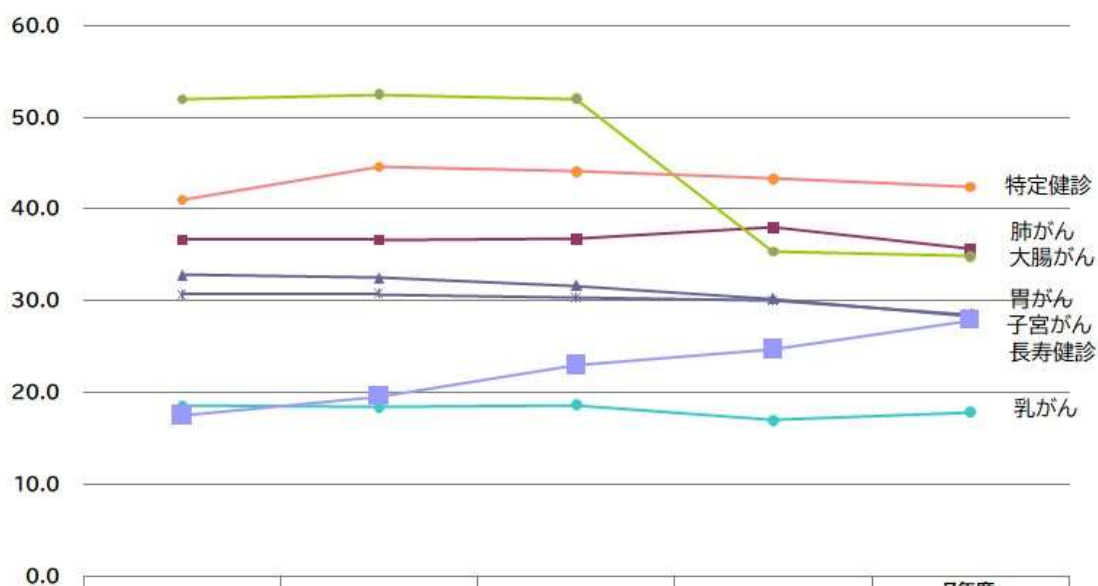
・各種がん検診

※R5.6年度は確定値、R7年度は暫定値

		R5年度				R6年度				R7年度（暫定値）			
		胃	肺 結核	喀痰	前立腺	胃	肺 結核	喀痰	前立腺	胃	肺 結核	喀痰	前立腺
受診者数	集団	338	1192	9	163	318	1200	9	162	275	1088	3	223
	ドック	290	292	4	129	278	282	4	124	239	241	0	111
	個別	964	443	13	／	980	517	15	／	985	542	14	224
	合計	1592	1927	26	292	1576	1999	28	286	1,214	1,871	17	554
	うち要精密 ()は受診者	36 (28)	62 (51)	0	9 (6)	35 (33)	62 (57)	0	20 (20)	31 (27)	77 (71)	／	49 (32)
	精密受診率 (%)	77.8	82.3	／	66.7	94.3	91.9	／	100	87.1	92.2	／	65.3

		R5年度				R6年度				R7年度（暫定値）			
		肝炎	子宮	乳	大腸	肝炎	子宮	乳	大腸	肝炎	子宮	乳	大腸
受診者数	集団	35	589	429	2678	13	520	350	1035	14	503	382	1,022
	ドック	52	／	／	292	62	／	／	289	42	／	／	242
	個別	42	453	143	／	29	477	171	606	16	432	167	611
	合計	129	1042	572	2970	104	997	521	1930	72	935	549	1,875
	うち要精密 ()は受診者	6 (2)	2 (1)	35 (33)	197 (144)	2 (2)	1 (1)	27 (26)	156 (121)	／	4 (4)	25 (23)	146 (112)
	精密受診率 (%)	33.3	50	94.3	73.1	100	100	96.3	77.5	／	100	92	76.7

北栄町健診・がん検診受診率経年推移



	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (暫定値)
胃がん	30.6	30.7	30.3	30.0	28.6
肺がん	36.6	36.6	36.7	38.0	35.6
大腸がん	52.0	52.5	52.0	35.4	34.8
子宮がん	32.8	32.5	31.6	30.2	28.4
乳がん	18.6	18.4	18.6	17.0	17.9
特定健診	41.0	44.6	44.1	43.3	42.4
長寿健診	17.5	19.6	23.0	24.7	27.9

・訪問指導

健診の事後に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項 目	R5年度	R6年度	R7年度 (暫定値)
特定保健指導（積極的・動機付支援）	23人	18人	41人
健診事後指導（情報提供等）	47人	31人	29人
がん検診結果説明（精密検査対象者）	R5. 8.31～ 82人	174人	220人

【成果】 各がん検診を実施し、胃・肺・大腸・子宮・乳がんにおいて早期がんの人が発見できた。大型はがきや電話等の受診勧奨を行い、健診受診率の向上を図ったが、伸びたのは乳がん検診と長寿健診のみ。大腸がん検診は検体の事前送付や代理受診も受け付けるなど方法の一部を変更したが、受診率は伸びなかった。

各種がん検診の精密検査受診率は、個別に訪問や電話による勧奨を実施することで、高値を維持し、がん発見につなげることができた。

特定保健指導は、集団健診受診者で初回面談が必要な人について健診会場で実施したことにより、終了率が向上した。また、個別に訪問指導も実施したことにより、生活習慣の改善や医療機関受診へつながった。指導対象者の中には、体重・腹囲の減少など効果が出た人もあった。

②健康支援事業

1, 6 4 1 千円

食生活改善推進員を対象に健康づくりや食育推進に関する知識を深める学習会を開催した。推進員は、各自治会において食の分野を中心に健康づくりについての伝達講習会を行った。

項 目	対象者	R5年度		R6年度		R7年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
学習会	食生活改善推進員	9回	123人	9回	123人	9回	131人
伝達講習会（町予算）	自治会住民	7回	77人	10回	241人	10回	158人
〃（その他予算）	自治会住民	21回	579人	23回	507人	22回	585人
食生活改善推進員養成講座				5回	53人		

※延人数

・健康相談及び健康教育

健診の事後や自治会を対象に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項 目	R5年度		R6年度		R7年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
歯科相談	6回	264人	7回	435人	7回	471人
いきいき健康講座（各自治会）	29回	461人	35回	622人	34回	600人
その他の健康教室（出前講座等）	14回	243人	8回	115人	11回	167人
健活教室 ※R5は食べ方講座	1回	13人	2回	20人	2回	25人
運動教室	4回	14人	4回	27人	2回	28人
生活習慣病予防講演会（血圧）	1回	37人	1回	71人	1回	105人

・健康ポイントラリー（健康マイレージ）

健（検）診事業（赤シール）と、健康づくり事業（青シール）の両方を必ず1つ以上使用して5ポイント貯まった方（抽選で250人）に、健康に関する賞品を贈呈した。

事業を2つに分類することで、講座や教室等の参加者を増やし、健（検）診・運動・食事など日常生活における健康づくりの大切さについて健康意識の向上を図った。

応募者数	R5年度	R6年度	R7年度
	488人	536人	542人

※健診受診・健康づくり事業への参加動機となった割合84%（応募アンケート）

・ヘルスアップ教室（糖尿病性腎症重症化予防）

糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者、受診中断者に適切な受診勧奨や保健指導を行い、腎不全、人工透析等への理解促進と生活習慣を振り返る機会となった。

参加者29人、延47人

（医師講演会16人、管理栄養士理学療法士講演会15人、血液検査5人、保健指導11人）

教室参加者で数値が改善した人の割合

HbA1c 5人/25人(20.2%)、腎機能 4人/25人(16.0%)

医療機関未受診者6人中、受診勧奨により1人受診(16.7%)



ヘルスアップ教室

【成果】 伝達講習会を19自治会（延28自治会）で実施したほか健診会場での野菜摂取PR活動や中央高等専修学園での調理実習など合計32回実施し、望ましい食習慣について啓発することができた。他の組織・団体（小・中学校、学校栄養職員、公民館等）と連携した食生活推進活動を実施することで、食育について幅広く普及することができた。

血圧講演会は、高血圧が起こる仕組みや予防法、脳卒中について理解を深め、習慣の振り返り、今後の実践につながる機会を提供できた。

いきいき健康講座は、開催自治会では健康の意識向上につながった。

運動教室では、事業終了後、北栄スポーツクラブの回数券11回分を贈呈することで運動習慣の定着を支援することができた。

健活教室では、検査値が示す生活習慣の改善点を理解し、食事、運動の大切さを再認識し、実践につながる機会を提供できた。

③生活習慣病予防事業

209千円

・子どものよい生活習慣づくり

子どものころからの生活習慣病予防を推進するため、小学6年生を対象に生活習慣病予防講演会を実施した。保護者への啓発として、保護者参観を実施した。

・中学生におけるピロリ菌検査及び除菌

中学3年生を対象に、将来の胃がん予防を目的で実施。

項 目	R5年度	R6年度	R7年度
受診者数	89人/135人	107人/135人	93人/135人
一次検査受診率	65.9%	79.3%	68.9%
真の陽性率	1.1%	0%	2.2%

【成果】 講演会では、喫煙の害や糖分摂取、メディア利用の注意点などについて学び、生活習慣病予防についての知識向上につながった。講演後、児童が保護者へ学びを共有することで保護者への啓発にもつながった。また、中学生のピロリ菌検査については、検査を実施することにより将来のがん予防につなげることができた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 後期高齢者医療対策費	335,349千円	333,151千円

①後期高齢者医療対策事業

261,469千円

後期高齢者医療広域連合へ支払う療養給付費の町負担分

249,039 千円

後期高齢者医療広域連合へ支払う共通経費の町負担分

12,430 千円

②後期高齢者医療特別会計繰出金事業

59,068千円

・基盤安定分 56,257 千円

・一般事務費等分 2,456 千円

・健診個人負担分 356 千円

【成果】 後期高齢者の健診の個人負担を無料にすることで、健診勧奨の一助となった。

③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 12,614千円

平均寿命延伸及び医療費適正化のため、訪問・受診勧奨等を行った。

【ハイリスクアプローチ】

低栄養 16人

口腔 2人

重症化予防（糖尿病、高血圧症治療中断者） 5人

重症化予防（コントロール不良、受診勧奨） 17人

健康状態不明者 26人

【ポピュレーションアプローチ】

健康教育、健康相談 延33回・延606人

フレイル状態の把握 延27回・延551人

【成果】 国保データベースシステムを活用して健康課題の把握や対象者の抽出を行い、対象者への訪問支援により必要なサービスや病院受診、健康状態の把握につながった。

健康教育等では、フレイル予防啓発、内科・歯科健診受診勧奨、体組成計を用いてフレイル状態の把握により生活習慣の振り返りと運動習慣継続の意欲につながった。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	20 持続可能なまちづくり推進費	639千円	388千円

①持続可能な発展を目指す自治体会議事業 388千円

- ・旅費 336千円
 - ・会議負担金 52千円
- 自治体相互視察（北海道ニセコ町）8/27～30

【成果】 人口減少、少子高齢化など同じ課題を持つ小規模自治体が地域資源を活かしたエネルギーの利用など先進的・特徴的な取組みについて情報共有を行い事業に活かした。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 環境衛生費	12,103千円	9,963千円

①環境衛生事業 1,437千円

- ・環境審議会委員報酬 36千円 (7/6, 3/22)
- ・クリーンランドほうき管理委員会委員報酬 16千円 (2/19)
- ・各種委員報酬（環境CF0） 99千円
- 打合せ・会議（6/21, 7/13, 8/16, 9/13）
- 海岸清掃イベント（10/25）
- 脱炭素チャレンジカップ（県版）審査会（7/6）、（国版）表彰式（2/20）
- ・地域創造ネット年会費 50千円
- ・こどもエコクラブ活動支援補助金 1,056千円

	R5年度	R6年度	R7年度
活動人数	1,607人	1,562人	1,513人
補助金額	1,114千円	964千円	1,056千円

- ・環境推進委員会（2/6）
- ・環境学習会

	R5年度	R6年度	R7年度
開催数	2小学校 0自治会 4団体	2小学校 4自治会 3団体	2小学校 4自治会 3団体



脱炭素チャレンジカップ

【成果】 環境推進委員会、環境学習会（出前講座）等で町の取組み、環境衛生事業、ごみの減量化、有害ごみの説明、啓発等を行った結果、ごみ分別の徹底が推進された。環境CF0が開催した海岸清掃イベントや環境審議会での発表に加え、脱炭素チャレンジカップで表彰されるなど様々な取組みを行ったことで、みんなが環境問題を身近に捉え、考えるきっかけとなった。

②広域連合負担金（火葬）事業 7,099千円

- ・火葬場費負担金 6,147千円
- ・琴浦斎場負担金 952千円

③飼い主のいない猫対策事業 359千円

猫避妊・去勢手術費補助金 359千円

	R5年度	R6年度	R7年度
申請数	23件	21件	12件
頭数	122頭	106頭	30頭

【成果】 「人と動物の共生」を理念に、飼い主のいない猫の繁殖を抑制することにより、生活環境の保全を図った。これまでの継続的な取組の成果などにより、住民からの相談件数が減少し、それに伴って実施件数も減少した。

④犬登録等事業 116千円

- ・狂犬病注射済票等作成 28千円
- ・鑑札、注射済票交付事務手数料収納事務委託料 88千円

	R5年度	R6年度	R7年度
予防注射済証発行	459頭	483頭	453頭
登録数	599頭	567頭	551頭
接種率	76.6%	85.2%	82.2%

【成果】 狂犬病予防注射について集合注射のほか個別に病院で受けられる体制を継続して実施し、接種率の向上を図った。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 環境保全費	60,259千円	32,248千円

①再生可能エネルギー等導入事業 10千円 ※風のまちづくり活用事業

- ・バイオマス産業都市推進協議会負担金

【成果】 木材の有効活用、再生可能なクリーンエネルギーの推進・活用が進んだ。また、B&Gプールの利用期間の延長、館内の暖房により利用者の健康増進へつなげた。

②省エネルギー普及啓発事業 125千円 ※風のまちづくり活用事業

- ・夏休みエコチャレンジ参加賞 42千円
 - ・かんきょうチェックノート（小学校4年生） 83千円
- 配布 115人 提出 99人 回収率 86.1%

【成果】 小学4年生を対象に事前学習を行った上で夏休みに「かんきょうチェックノート」を配布し、家庭でできる省エネルギーの取組みを実践し、家族を含めた普及啓発ができた。

③創エネ設備等設置費補助金事業 8,936千円 ※風のまちづくり活用事業

町内の住宅等に太陽光発電システムやその他の創エネルギー設備等を設置する者に設置費用の一部を補助することで、地域での再生可能エネルギーの導入を推進した。

太陽光発電システム			創エネルギー設備等		
年度	件数	出力	木質バイオマス	蓄電池等	HEMS
R5	16	85.77kW	1件	19件	2件
R6	24	142.64kW	1件	24件	2件
R7	14	107.3kW	2件	15件	1件

【成果】 太陽光発電システムや創エネ設備設置費の一部を補助し、導入促進したことにより、エネルギーの自家消費が増加し、化石燃料由来電力の消費削減につなげた。

④電気自動車急速充電器管理事業 227千円 ※風のまちづくり活用事業

青山剛昌ふるさと館駐車場に設置している電気自動車急速充電器の管理を行っていたが、8月初旬に故障し高額な修繕費が必要となったため稼働を停止した。

【成果】 予定外の故障により期間が限られたが、EV利用者の利便性を確保し普及に貢献した。

⑤省エネ住宅リフォーム補助金事業 7,613千円 ※風のまちづくり活用事業

省エネ推進のため、断熱改修などの省エネルギーに特化し、地元事業者要件も加えて改修費用の一部を補助した。また、令和6年度からはより高い省エネ基準が定められたZEH基準の改修について補助事業を拡充した。

	R5年度	R6年度	R7年度
申請件数（件）	3	7	14
補助対象経費（千円）	750	10,185	12,206
補助金支給額（千円）	223	5,115	7,613

【成果】 町内住宅の断熱改修により、快適な住環境整備を図るとともに、家庭における省エネルギー化により、地域脱炭素をより推進する取組となった。特に令和7年度はZEH基準の住宅改修が広く認知され、申請の7割以上が本基準の対象となった。

⑥脱炭素先行地域事業 9,080千円

北栄町、倉吉市、琴浦町等が連携し、令和7年度から令和11年度にかけて脱炭素化と中山間地域の課題解決を両立した脱炭素先行地域事業を実施する。

- ・脱炭素先行地域負担金 500千円
- ・脱炭素先行地域補助金 営農型太陽光発電設備（1箇所 49kw）【R8へ一部繰越】 8,280千円
- ・（一社）東大山グリーンエネルギー地域振興公社出捐金 300千円

【成果】 3市町で東大山グリーンエネルギー地域振興公社を設立し、関係機関との調整を進めるなど、5カ年計画の事業実施体制を確立した。また、一部の地域で営農型太陽光発電設備を施工した。

⑦置き配ボックス導入推進事業 1,190千円

- ・チラシ印刷代等 131千円
- ・置き配ボックス導入補助金 587千円
- ・置き配ボックス導入補助金【繰越】 472千円
- （財源）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 718千円

【成果】 宅配事業者と連携して128件の置き配ボックスを導入したことで、運輸部門の脱炭素を推進するとともに住民の利便性が向上した。



置き配BOX

⑧省エネ家電購入促進事業 5,066千円

- ・チラシ印刷代等 108千円
- ・省エネ家電購入促進補助金 4,958千円
- （財源）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 5,066千円

【成果】 省エネ性能の高い家電製品（エアコン39件、冷蔵庫47件、冷凍庫8件）への買替えを促進し、家庭の脱炭素推進、家計負担の軽減と地域事業者の支援を行った。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 塵芥処理費	178,824千円	172,877千円

①塵芥処理事業 1,839千円

- ・ごみ収集日程表作成（R8分） 209千円
- ・ごみの区分と出し方作成（更新） 1,155千円
- ・国坂浜土砂捨て場管理委託料・土地借上料 159千円



ごみの区分と出し方

【成果】 収集日程表の配布やごみの区分と出し方を更新・配布を行い、わかりやすいごみの分別と再資源化を進めた。

②一般廃棄物収集事業 40,061千円

- ・一般廃棄物収集委託料 39,556千円
- ・町道死亡獣畜処理委託料 148千円
- ・ごみ収集所整備補助金 340千円（7自治会）

【成果】 一般廃棄物の収集を委託して行うことにより、適切なごみ処理を行った。各自治会が行うごみ収集所の整備を支援することで、ごみの適正な排出・収集に必要な環境整備を推進した。

③広域連合負担金（ごみ）事業 105,744千円

- ・ごみ処理費負担金 93,057千円
- ・ごみ処理施設建設費負担金 847千円
- ・最終処分場建設費負担金 11,840千円

【成果】 ごみ処理について広域連合で行うことにより効果的に行った。

④再生資源収集委託事業 11,684千円 ※風のまちづくり活用事業

- ・発泡スチロール処理委託料 1,352千円
- ・再生資源収集委託料（古紙・ペットボトルなど） 3,606千円
- ・ガラスびん処理委託料 2,012千円
- ・リサイクルステーション管理委託料 179千円
- ・廃食用油収集委託料 215千円
- ・軟質プラスチック回収・運搬・処理委託料 3,924千円

【成果】 再生資源を分別・再資源化を進めることで、ごみの減量化が図れた。

《一般廃棄物・再生資源等収集量》

(単位：t)

	可燃ごみ	不燃ごみ	有害ごみ	可燃粗大	不燃粗大	びん	缶	小型家電
R5年度	2,974	92	4	166	56	72	17	23
R6年度	2,916	92	4	153	52	65	16	22
R7年度	2,957	83	3	141	49	60	15	21

(単位：t)

	ペットボトル	発泡スチロール	雑誌	ダンボール	牛乳パック	新聞	古着	軟プラ
R5年度	24	3	66	37	2	66	33	
R6年度	24	3	66	36	2	61	32	6
R7年度	22	3	65	33	2	60	27	14

(単位：t)

	廃食用油
R5年度	7
R6年度	8
R7年度	7

《廃棄物のリサイクル状況》

	総排出量 ①+②	うち再生資源 ②	リサイクル率 ②/①+②
R5年度	3,810 t	556 t	14.6%
R6年度	3,723 t	553 t	14.9%
R7年度	3,706 t	515 t	13.9%

⑤再生資源回収団体事業 465千円

再生資源回収報償金 465千円

実施団体数 延べ71団体

《回収量》

	古紙	缶	びん
R5年度	144 t	22 t	626本
R6年度	143 t	22 t	500本
R7年度	122 t	20 t	372本

【成果】 登録団体による自主的な再生資源回収を支援することで、ごみの減量化や意識啓発が図れた。

⑥統一指定ごみ袋事業 10,098千円

可燃ごみ用指定袋作成【繰越】 10,082千円

大：500,000枚（1,000箱）

中：225,000枚（450箱）

小：125,000枚（250箱）

【成果】 指定ごみ袋の活用により可燃ごみの適切な処理を図った。

⑦海岸漂着物処理事業 2,793千円

・海岸清掃自治会手数料（16自治会/年3回） 2,177千円

・海岸漂着物処理委託料 593千円

《沿岸自治会実施状況》

	のべ回数	参加人数
R5年度	44回	1,731人
R6年度	38回	1,356人
R7年度	42回	1,693人

【成果】 海岸沿岸自治会による定期的な海岸清掃などにより海岸環境の保全を行うことができた。

⑧不法投棄対策事業 193千円

・不法投棄廃棄物処理委託料 52千円

・不法投棄撤去事業等補助金 139千円

《不法投棄防止啓発用看板》

	貸出	看板作成
R5年度	11カ所25枚	20
R6年度	10カ所24枚	50
R7年度	9カ所15枚	-

《撤去事業等補助金》

	対象数	補助金額
R5年度	2件	97千円
R6年度	2件	2,407千円
R7年度	2件	139千円



見守り隊イベント

【成果】 不法投棄防止看板の貸し出しや不法投棄撤去補助金の活用による不法投棄の撤去により、環境美化の促進を図った。また、環境見守り隊によるごみ拾いイベントを道の駅ほうじょう周辺で実施し、多くの住民や事業所の参加により、不法投棄防止に対する意識の向上と気運の醸成を図った。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 し尿処理費	9,941千円	9,778千円

①広域連合負担金（し尿）事業 9,778千円

・クリーンセンター費負担金 9,664千円

・し尿処理施設建設費負担金 114千円

【成果】 し尿処理について広域連合で行うことにより効果的に行った。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 町営住宅管理費	3,769千円	3,646千円

①町営住宅管理事業 3,301千円

・町営住宅修繕費 374千円

・消防用設備保安委託料 313千円

・昇降設備保守委託料 2,614千円

年度内の入居件数は5件、退去件数は6件で、3月末現在の入居率は96.6%となっている。
・町営住宅の入居状況（令和8年3月31日現在）

団地名	管理戸数	入居戸数
由良宿団地	60戸	58戸

【成果】 町営住宅を適正に管理し、住宅困窮者に対して居住の安定を図った。

②民間賃貸住宅家賃補助事業 336千円

民間賃貸住宅家賃補助金 336千円

【成果】 民間賃貸住宅の家賃補助を行うことで、用途廃止事業を円滑に進めた。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 県営住宅費	734千円	415千円

①県営住宅団地管理事業 415千円

・県営住宅修繕費 314千円

県から3団地22戸の管理委託を受けている。

年度内の入居件数は0件、退去件数は0件で、3月末現在の入居率は100%となっている。

・県営住宅の入居状況（令和8年3月31日現在）

団地名	管理戸数	入居戸数
栄第1団地	8戸	8戸
栄第2団地	8戸	8戸
大野団地	6戸	6戸
県営住宅合計	22戸	22戸

※栄第1団地は令和8年3月31日で用途廃止し、令和8年度に入居者へ譲渡予定

【成果】 県営住宅を適正に管理し、住宅困窮者に対して居住の安定を図った。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額
		目	10 県営住宅栄第1団地用途廃止事業	85千円	85千円

①栄第1団地用途廃止事業 85千円

・土地所有権移転登記に関する書類作成委託料 85千円

【成果】 用途廃止後の譲渡を円滑に進めるため、所有権移転登記に必要な書類作成を行った。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 農業委員会費	50,416千円	49,551千円

①農業委員会総務事業 23,730千円

- (1) 現員 26人 うち農業委員 13人 農地利用最適化推進委員 13人
 (2) 総会開催状況 総会12回

・農地法事務処理状況
 処理件数

年度	R5年度	R6年度	R7年度
農地法第3条	32件	27件	17件
農地法第4条	3件	0件	1件
農地法第5条	12件	10件	7件
農地法第3条の3	153件	103件	87件
農地法第18条	92件	70件	72件
非農地証明	6件	6件	2件
2a未満転用	0件	2件	1件
土地改良届	1件	0件	0件

- 農地法第3条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定
 農地法第4条 : 所有者による農地の転用
 農地法第5条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定を伴う農地の転用
 農地法第3条の3 : 相続等の権利取得の届出
 農地法第18条 : 農地使用貸借等の解約
 非農地証明 : 非農地であることの承認
 2a未満転用 : 小規模な農業用施設設置に係る転用
 土地改良届 : 水田の畑への変換

・農用地利用集積事業処理状況
 処理件数

年度	R5年度	R6年度	R7年度
利用権設定（筆）	707筆	263筆	-
うち解除条件付	20筆	4筆	-
所有権移転	12件	10件	-

R7.3.31をもって、中間管理事業に移行

・農地利用状況調査
 遊休農地の状況

年度	R5年度	R6年度	R7年度
再生利用が可能な農地	778,154㎡	1,023,977㎡	1,173,313㎡
うち田	213,245㎡	263,654㎡	447,520㎡
うち畑	564,909㎡	760,323㎡	725,793㎡

・農家相談の実施状況

農地などの困りごとについて、農業委員が相談を受けた。（毎月1回実施）

年度	R5年度	R6年度	R7年度
相談件数	21件	15件	17件

※ 令和3年1月から実施

・家族経営協定の新規締結状況

年度	R5年度	R6年度	R7年度
新規締結件数	5件	1件	2件

(3) 委員会活動状況

農地委員会 法人営農状況調査1回（2法人）
 小学校給食交流会
 農政委員会 意見書提出
 青年農業者交流会
 広報委員会 農業委員会だより『菜種』発行4回



法人営農状況調査



意見書提出



菜種

(4) 農振法事務処理状況

処理件数及び面積

年度	R5年度		R6年度		R7年度	
軽微変更	2件	2,103㎡	1件	21㎡	2件	965㎡
重要変更	3件	1,338㎡	1件	2,020㎡	-	-

軽微変更：農業用施設用地への用途変更等

重要変更：農用地区域からの除外（農地転用）等

【成果】 令和6年策定の地域計画の見直しのため、話し合いを行い、あわせて、増加する遊休農地の対策として、空き農地の情報や農業支援制度を積極的に発信し、農地の有効活用を進めた。さらに、女性農業者の場の立ち上げや、小学生との交流活動を通じて、地域農業を次世代へ継承する仕組みづくりを推進した。

②農地流動化推進事業助成金事業 6,965千円

・助成要件 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの間における賃貸借3年以上の利用権設定

・認定農業者、認定新規就農者（新規2,000円/10a、更新1,000円/10a）

年度	R5年度	R6年度	R7年度
対象者（人）	42人	39人	44人
うち家族経営協定締結者	15人	9人	9人
対象面積（㎡）	517,917㎡	632,596㎡	920,181㎡
うち家族経営協定締結者	82,891㎡	95,829㎡	43,376㎡

・認定農業者以外（新規1,000円/10a、更新500円/10a）

年度	R5年度	R6年度	R7年度
対象者（人）	47人	33人	27人
うち家族経営協定締結者	5人	4人	4人
対象面積（㎡）	275,712㎡	124,749㎡	123,074㎡
うち家族経営協定締結者	40,208㎡	13,299㎡	43,562㎡

【成果】 認定農業者の規模拡大や新規就農者の農地確保につながり、それぞれの経営安定化を図ることができた。さらに、この一連の流動化によって、拡大を続ける遊休農地の抑制にもつながった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 国有農地等管理処分費	24千円	24千円

①国有農地等管理処分事業 24千円

国有農地借受者の耕作状況の把握及び貸付使用料の徴収事務を行った。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 農業者年金費	899千円	898千円

①農業者年金事業 898千円

農業者の老後の生活の安定と福祉の向上と併せて、農業の担い手を確保するため、新・旧農業者年金加入者の各種手続きや新農業者年金の加入推進を行った。

・農業者年金受給者の届出処理及び指導

被保険者

年度	R5年度	R6年度	R7年度
新農業者年金	51人	53人	52人
うち新規加入者	1人	6人	0人

受給者

年度	R5年度	R6年度	R7年度
旧農業者年金	149人	121人	116人
新農業者年金	37人	37人	38人

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	17 農地中間管理費	8,312千円	8,247千円

①農地中間管理事業 8,247千円

農業の生産性向上や農業経営の効率化を進める担い手への集積・集約を加速させることにより、農業経営の規模拡大、農用地の集団化、有効利用、効率化を図った。

・中間管理事業による実績

年度	R5年度		R6年度		R7年度	
マッチング (中間管理権設定)	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)
	316筆	484,993㎡	996筆	1,258,236㎡	961筆	1,486,803㎡

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																				
		目	16 移住推進費	72,210千円	64,151千円																				
<div>①イチゴ産地化地域おこし協力隊事業22,335千円</div> <div>新たに隊員1人を採用し、延べ6人の隊員が栽培技術の習得や先進地視察を通じてノウハウ蓄積と体制強化を図った。また、イベントでの直売をはじめ、農産物PRイベント、ブドウ隊員との合同活動報告会を実施した。さらに、ハピネス給食に合わせた食育活動や、地元農家での現地体験など、地域に根差した活動を行った。</div> <div>【成果】年間を通し、基礎的な農業技術を習得した。また、直売活動やイベント企画、小学校での食育活動などを通じて、農産物の魅力を広く発信するとともに、地域住民との主体的な交流の機会を創出した。</div> <div></div> <div>地産イチゴメニューに合わせた食育活動(北条小)</div>																									
<div>②ブドウ産地活性化地域おこし協力隊事業6,691千円</div> <div>(株)北条ワイン醸造所でワイン用ブドウ栽培を学んだほか、北条ワインのPR活動を行った。その他にも、ラジオ出演での北栄町PRや、隊員による活動報告会を行った。</div> <div>【成果】年間を通した一連のブドウ栽培を学び、基礎的な栽培技術を習得できた。圃場管理者のもとで成木の管理等についても学び、着実に就農に向けた準備を行っている。また、県外で町特産品の北条ワインPR活動を行い、地域の活性化が図れた。</div> <div></div> <div>地域おこし協力隊卒業報告会</div>																									
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額																				
		目	4 農業総務費	78,455千円	76,969千円																				
<div>①集落支援員事業4,445千円</div> <div>地域の巡回、点検及び状況把握に関する活動などや有害鳥獣の農作物被害調査、捕獲活動により集落支援を行った。</div> <div>【成果】有害鳥獣による被害調査・捕獲活動のほか、有害鳥獣による生活安全に関する相談や道路に出た竹の除去、農道への落石除去など地域と連携した活動ができた。</div>																									
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額																				
		目	5 農業振興費	269,901千円	131,953千円																				
<div>①経営改善支援活動事業431千円</div> <div>・認定農業者審査会報償費24千円 *審査会：6回 審査件数：新規13件・更新33件 ・果樹共済農家負担軽減補助金59千円 ・収入保険加入促進事業費補助金320千円</div> <div>(件)</div> <table><tr><td>年 度</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>果樹共済農家負担軽減補助</td><td>23</td><td>26</td><td>22</td></tr><tr><td>認定農業者認定件数（新規）</td><td>25(6)</td><td>39(10)</td><td>44(13)</td></tr></table> <div>【参考資料】<table><tr><td colspan="2">認定農業者総数の推移</td></tr><tr><td>R5</td><td>163人</td></tr><tr><td>R6</td><td>160人</td></tr><tr><td>R7</td><td>169人</td></tr></table></div> <div>【成果】農業者の経営の安定と生産振興の支援につながった。</div> <div>*所得380万円以上 1,800時間労働/年</div>						年 度	R5	R6	R7	果樹共済農家負担軽減補助	23	26	22	認定農業者認定件数（新規）	25(6)	39(10)	44(13)	認定農業者総数の推移		R5	163人	R6	160人	R7	169人
年 度	R5	R6	R7																						
果樹共済農家負担軽減補助	23	26	22																						
認定農業者認定件数（新規）	25(6)	39(10)	44(13)																						
認定農業者総数の推移																									
R5	163人																								
R6	160人																								
R7	169人																								

②農業振興補助金事業 6,328千円

- ・北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金 1,300千円
- ・経営所得安定対策推進事業費補助金 2,488千円
- ・鳥取梨生産振興事業費補助金 336千円
- ・鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金 2,204千円

(千円)

年 度	R5	R6	R7
北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金	884	994	1,300
経営所得安定対策推進事業費補助金	2,568	2,495	2,488
鳥取梨生産振興事業費補助金	6,658	2,756	336
鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金	1,635	4,952	2,204

【成果】 各事業に取り組み、ブランド推進、生産拡大、生産基盤の整備を推進し、町の農業振興につなげることができた。

③ともに目指す！担い手強化支援事業 8,039千円

意欲ある農業者等が行う創意工夫を生かしたプランに対して補助金を交付し支援した。

- ・水稲規模拡大プラン（1/3年目） 5,629千円
レーザーレベラー、ポット苗用播種機、畔塗機、ハイクリブーム
- ・長芋、らっきょう生産拡大プラン（3/3年目） 571千円
ラジコン動力噴霧機
- ・梨生産拡大プラン（2/2年目） 1,050千円
ミニバックホー
- ・菌床シイタケ規模拡大プラン（2/2年目） 789千円
栽培棚

R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
6	28,762	5	21,604	5	19,318	4	8,039

【成果】 農業者による創意工夫を生かした取り組みにより、規模拡大、所得向上等が行われ、元気な農業者の育成、北栄町農業の振興、活性化につながった。

④担い手育成支援整備事業 5,011千円

新規就農者に対し、就農初期に必要な機械・施設導入に対する補助を行った。

- ・就農条件整備事業補助金
 - 運搬車（西瓜、中玉トマト、ねばりっこ） 394千円
 - 全自動野菜播種機、全自動野菜移植機（キャベツ） 2,151千円
 - 自走ラジコン動噴（いちご） 535千円
 - フレールモア、肥料散布機（西瓜、長芋、花） 519千円
 - フレールモア（西瓜、中玉トマト、花） 303千円
 - パイプハウスの修繕（ねばりっこ、西瓜、ミニトマト） 850千円
 - フレールモア（西瓜、ブロッコリー） 259千円

	R5年度		R6年度		R7年度	
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
就農整備	6	6,137	2	654	7	5,011
経営発展	2	3,962	0	0	0	0

【成果】 新規就農者の就農初期に要する経営基盤整備に係る負担の軽減を図ることができた。



運搬車

⑤集落営農体制強化支援事業 806千円

集落営農の規模拡大に向けた機械導入、またドローン操作講習による人材確保型支援を行った。

【成果】 機械の整備及びドローン操作講習の支援により、農作業の効率化及び省力化を図り、組織の財政基盤を強化及び人材確保・育成することができた。

⑥産地パワーアップ事業 72,236千円

- ・産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 3,683千円
- ・鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 68,553千円

年 度	R5		R6		R7	
西瓜 寒冷紗	154枚	-	123枚	-	108枚	-
西瓜 低コストハウス	83棟	22,264㎡	27棟	8,000㎡	43棟	12,566㎡

【成果】 寒冷紗や低コストハウスの導入による栽培環境の改善により、産地・ブランド化の拡大につながった。また、作業効率の改善や栽培技術の確立により収量・品質等の収益性の向上が図れた。

⑦農業経営サポート事業 250千円

青年農業者団体に体験農園の管理を委託し、町内こども園園児とさつまいもの定植・収穫を行った。

【成果】 さつまいもの定植・収穫を通じて農業体験機会の提供と園同士の交流・若手農業者との交流を図ることができた。

⑧農業生産拡大に向けたスマート農業推進事業 4,311千円

スマート農機の社会実装に向けて、直進アシスト付きトラクター 1件、ハウス環境モニタリングシステム 2件の導入に関する支援を行った。

【成果】 スマート農機の導入支援を行うことにより、作業時間の短縮による省力化、作業の高精度化を図り、持続可能な農業を推進できた。

⑨農産物PR事業 494千円

広島マツダスタジアム、東京都港区、滋賀県湖南市など、県内外での販売促進イベント等に出展し、北栄町農産物の魅力を伝えた。

【成果】 現地での販売促進イベントを実施したことにより、消費地において北栄町産の農産物をPRできた。マツダスタジアムでは生産者、JA等とともに町長によるトップセールスを行うことで販路拡大の一助となった。



広島マツダスタジアムでの大栄西瓜販売促進

⑩鳥取の花いきいき総合戦略事業 890千円

高度な技術が必要な育苗の委託、収穫調整用LED照明、遮光ネット、杭打機等の導入に対し体制整備の支援を行った。

【成果】 品質の安定した苗を定植することで安定した出荷本数の確保、LED照明による品質向上、播種機等による面積拡大につながった。

⑪ハウス強靱化施設園芸事業 2,380千円

農業用ハウスの補強や防風ネット設置等の気象災害防止対策や、講習会の開催等の事業継続計画（BCP）の策定・検討に向けた取り組みの支援を行った。

【成果】 園芸用パイプハウスの補強実施および自然災害発生時の事業継続計画の作成を行い、自然災害に強い産地形成を図ることができた。



補強パイプ

⑫ジャンボタニシ防除対策事業 334千円

町内水田においてジャンボタニシ（スクミリングガイ）による被害が拡大しているため、防除作業（農薬散布及び水口ネット設置）に対して補助金を交付した。

【成果】 6つの組織が農薬散布や水口ネットによる侵入防止を実施することにより、水稻被害の防止ができ安定した生産が維持できた。

⑬ともに目指す！産地強化支援事業 12,022千円

砂丘長芋・ねばりっこ「次世代産地創造」プラン実現に向けて、整備事業では収穫機（バックホー）の導入、推進事業としてPR看板の作成や就農相談会等に必要の資材経費等の支援を行った。

【成果】 収穫機の導入補助により産地の経営基盤強化が図れたとともに、長芋・ねばりっこの産地PRや担い手確保に向けた取り組み体制の強化が図れた。



収穫機（バックホー）

⑭主要園芸品目生産振興事業 2,967千円

鳥取県農業の強みの一つである野菜等の振興を図るため、園芸品目の産地づくりや野菜等の供給体制整備の取り組みを支援した。

長いもパレット（100枚）	720千円
らっきょう収穫・調整機器	1,794千円
白ねぎ灌水資材	68千円
トマト遮光資材	385千円

【成果】 生産団体等の機材導入を支援することにより、作業省力化、生産供給環境の整備ができ、他の生産者への普及拡大も図れた。



らっきょう植付機

⑮新たな園芸品目育成事業 750千円

県育成のオリジナルいちご品種「とっておき」の安定栽培のため、既設高設栽培ベンチの灌水資材等一式や、器具の導入を支援した。

【成果】 高設ベンチを導入し、販売単価が高く収益性に優れる「とっておき」栽培の省力化と効率化を図ることができた。

⑯農業収入保険負担軽減緊急支援事業 421千円

物価高騰に伴う収入減少等への対策として農業収入保険の新規及び継続加入を推進し、経営の安定をもって地域農業の維持・発展を支援した。

（財源）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 421千円

【成果】 継続加入を維持し、さらに3名の新規加入者が増えたことで、町内の農業の経営安定の維持と発展が図れた。

⑰令和の米増産緊急支援事業 14,284千円

主食用米の生産拡大を志向する多様な農業経営体の省力化、低コスト化に必要な機械導入の支援を行った。
(8生産者)

(財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 4,761千円

【成果】 主食用米の生産拡大に必要な機械導入を行うことで、県産米の生産力増強及び将来を担う基幹的な担い手の育成を図ることができた。



コンバイン

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 担い手育成支援費	22,273千円	21,763千円

①担い手育成支援事業 21,763千円

・農業次世代人材投資資金（経営開始型）、経営開始資金 10,558千円

R5年度		R6年度		R7年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
16	18,675	14	16,327	14	10,558

・親元就農促進支援交付金 6,700千円

R5年度		R6年度		R7年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
12	10,600	11	10,600	7	6,700

・就農応援交付金 3,600千円

R5年度		R6年度		R7年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
3	3,300	4	2,600	3	3,600

・産地主体型就農支援モデル確立事業 790千円

R5年度		R6年度		R7年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
4	620	4	629	4	790

【成果】 産地維持・発展に必要な新規就農者の確保、定着を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 農林業地域改善対策費	489千円	489千円

①国坂地区砂丘暗渠排水管理負担金事業 66千円

地域改善対策事業で設置した暗渠について、砂堆積による放水口の閉塞を開削するため、維持管理をしている地元自治会に開削費用を補助した。

【成果】 維持管理をしている自治会へ費用補助することにより、地元負担の軽減となった。

②地域改善対策負担軽減事業 423千円

県営ほ場整備事業（21世紀水田対策大倉地区）に係る地元負担金及び経常経費に対し補助した。

【成果】 地元負担金及び経常経費を補助することにより、地元負担の軽減が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 畜産振興費	13,774千円	8,583千円
①畜産振興事業 8,583千円					
・後口谷畜産団地伐採・集積作業委託料 667千円					
・畜産経営維持継続支援対策事業補助金 5,099千円					
871頭の肉牛に対し肉用牛肥育経営安定交付金積立（新マルキン）補助金の負担金の一部を交付し、経営維持継続を支援した。					
・乳牛改良事業補助金 1,629千円					
優良乳用牛、優良精液、和牛受精卵の購入費の補助を行い、泌乳能力の向上と高品質な牛乳の生産等を図り、安定した酪農経営を支援した。					
・畜産経営緊急救済事業補助 899千円					
（財源）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 899千円					
・畜産暑熱対策事業補助金 265千円					
【成果】 畜産農家の経営の維持継続の支援をすることができた。					

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 農地費	148,393千円	111,323千円
①単町農業農村整備事業 6,008千円					
町が管理する農道の除草、修繕等を行った。					
・農道管理委託料 2,700千円					
シルバー人材センター、大栄西瓜組合協議会（スイカロード除草）等へ業務委託した。					
・農道修繕工事請負費 3,080千円					
町管理農道の修繕を行った。					
・農道台帳管理費 228千円					
【成果】 町が管理する農道等の適切な管理をすることで、営農環境の整備ができた。					
②ため池管理事業 780千円					
北栄町内にある防災重点ため池（11箇所）及び北栄町に影響を及ぼす恐れがある琴浦町のため池（2箇所）の監視装置に係るシステム利用、点検保守費用					
【成果】 ため池管理者による台風などの豪雨時での危険な現地確認作業の軽減や、異常気象時における迅速な避難実施の判断が可能となった。					
③土地改良区地元負担軽減補助金事業 13,533千円					
地域農業の経営安定と活性化を目的として、地元負担軽減のため土地改良区への補助を行った。（町道新設改良事業費償還金補助を含む）					
・北条砂丘土地改良区関係 3,133千円					
・北条水系土地改良区関係 3,779千円					
・大倉土地改良区関係 2,277千円					
・大栄町土地改良区関係 4,343千円					
【成果】 土地改良区の運営費の一部を補助することにより、地元農家の負担軽減が図れた。					
④県営土地改良事業費負担金事業 26,088千円					
県営農業用河川工作物等応急対策事業（土地改良施設耐震対策事業）により北条用水改修工事を行った。 ＊国55％、県32％、倉吉市5.2％、北栄町7.8％					
県営ため池整備事業（下鳥池地区、岩坪地区）によりため池改修工事を行った。					
＊国55％、県32％、北栄町11％					
【成果】 北条用水の耐震工事並びに下鳥池、岩坪ため池の改修工事を進めることにより、安心して営農できる環境整備をすすめた。					

⑤国営事業 14,275千円

- ・西高尾ダム周辺施設維持管理委託料 1,617千円
- ・国営東伯地区維持管理事業負担金 7,776千円
- ・国営東伯地区基幹水利施設更新事業負担金 4,870千円

【成果】 対象施設の適切な維持管理が図れた。

⑥ふるさと活性化基金積立金事業 17,562千円

多面的機能支払交付金活動組織に対して、交付金交付前の活動を行うための貸付（交付金交付時に償還）をするために、ふるさと農村活性化基金積立金を積立した。

【成果】 基金を活用して貸付事業を行うことで、国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動ができている。

⑦団体営農業農村整備事業 27,541千円

- ・農道工事請負費 20,723千円
- ・農業水路等長寿命化・防災減災事業負担金 1,718千円

【成果】 農道、農業用施設整備を行ったことにより、安心して営農できる環境整備を行うことができた。

⑧土地改良区地元負担軽減（電気代高騰対策）補助金事業 4,860千円

- 北条砂丘土地改良区 4,077千円
- 北条水系土地改良区 262千円
- 大倉土地改良区 521千円
- （財源）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 4,860千円

【成果】 農業水利施設を維持管理する土地改良区に対して、令和3年度と比較して高騰した電気料金を補助することにより、地元農家の負担軽減となった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	10 中山間地域等直接支払費	231千円	230千円

①中山間地域等直接支払事業 230千円

農業生産条件が不利な状況にある中山間地域等（東高尾地区）における農業生産の維持を図るための活動に対し補助するもの。

年度	R4	R5	R6	R7
協定数	1	1	1	1
対象用地	15,689㎡	15,689㎡	15,689㎡	18,283㎡

※協定期間 R7～R11（第6期）

【成果】 中山間地域の農業生産の維持が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	11 有害鳥獣防除費	2,794千円	2,434千円

①有害鳥獣防除事業 2,434千円

有害鳥獣の捕獲や駆除により、農産物への被害を防いだ。

- ・鳥獣被害対策実施隊報酬 276千円
- ・射撃環境支援事業補助金 55千円
- ・カラス一斉駆除用弾代等消耗品 44千円
- ・銃器新規取得補助金 100千円
- ・ヌートリア等捕獲奨励金 1,944千円

(匹、頭、羽)

捕獲・駆除	R4	R5	R6	R7
ヌートリア	91	94	54	88
イノシシ	26	70	89	80
カラス	129	90	13	30
シカ	6	5	5	7
アナグマ	9	5	10	14

【成果】 実施隊、集落支援員による捕獲を積極的に行ったことにより、農作物等への被害軽減が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	12 多面的機能支払交付金費	110,110千円	110,102千円

①活動支援推進交付金事業 110,102千円

・多面的機能支払交付金 96,991千円

地域住民が行う、農地や農業用施設などの農村資源や自然環境の保全の共同活動、農業用施設などの施設の長寿命化を図るための活動に対して交付金を交付した。

24の組織のうち23の組織で広域協定を締結し、より活動に専念できる環境となつていふるさと活性化基金を活用し、交付金支払いまでの間の各組織の活動費について貸付（無利子）事業を行った。（多面広域協定）

（取組組織数）

	R5年度	R6年度	R7年度
多面的機能（農地維持、資源向上（共同））活動支援交付金	25 (うち24は広域)	24 (うち24は広域)	24 (うち23は広域)
多面的機能（資源向上（長寿命））活動支援交付金	24 (いずれも広域)	23 (いずれも広域)	23 (いずれも広域)

【成果】 各組織ごとで農地や自然環境の保全、施設等の長寿命化が図れた。

（組織数 2）広域協定組織、東高尾清流の郷

（広域協定組織数 23組織は下記のとおり）＊順不同

西園みどりの会	下種地域ふるさと保全会	由良別所地域水田耕作者の会
弓原地区農地・水・環境保全会	六尾農地保全会	妻波地区農地・水・環境保全会
下神地域環境保全隊	瀬戸みどりネット	大谷ふるさと愛創会
松神豊かな郷	原農村資源保全協議会	TMA（田井）
北尾環境活動組織	穂波水とみどりの会	北条島地区水田耕作者の会
米里農地保全会	大島みどりと水を守る会	上種ふるさと守る会
まがり美土里グループ	西穂波地区環境保全会	中北条水田を守る会
東園環境保全活動組織	亀谷環境保全会議	

・多面的機能支払交付金推進貸付金 13,050千円

ふるさと農村活性化基金積立金を活用して、多面的機能支払の活動組織に対して、交付金交付前の活動を行うために貸付をした。（多面的機能支払交付金交付時に償還）

【成果】 国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動ができている。

●ふるさと農村活性化基金（＊R8.3.31現在）

	R7年度
基金残高	17,562,190円

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	13 しっかり守る農林基盤整備費	14,751千円	14,449千円

①しっかり守る農林基盤整備事業 14,449千円

- ・整備工事請負費 2,300千円
- ・基盤整備補助金 12,133千円

農道補修、用排水路補修、揚水ポンプ修繕、畑かん用資材更新、暗渠排水工事などを行った。

【成果】 農業生産基盤の改良、新設及び改修等により、安心して営農できる環境整備をすすめた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	14 環境保全型農業直接支援対策費	102千円	102千円

①環境保全型農業直接支援対策事業 102千円

化学肥料・化学合成農薬の5割以上低減と地球温暖化効果のある取り組み（有機農業）など環境保全型農業に取り組む農家等に対し、交付金を交付した。

R5年度		R6年度		R7年度	
件数	面積 (a)	件数	面積 (a)	件数	面積 (a)
-	-	1	70	1	73

【成果】 環境保全を重視した農業生産の取り組みを支援できた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	18 土地改良施設維持管理適正化事業費	2,640千円	2,640千円

①土地改良施設維持管理適正化事業 2,640千円

土地改良区が、施設整備・補修・維持管理事業を行うために必要となる事業費を、5年間均等に分けて鳥取県土地改良事業団体連合会を通じて全国連合会に積立拠出するため、その費用を補助した。

*国30%、県30%、町30%、土地改良区10%

・北条砂丘土地改良区関係 2,340千円 ・北条水系土地改良区関係 300千円

【成果】 土地改良区が実施する事業費の一部を補助することにより、農家の負担軽減が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	28 気象災害等対策費	15,044千円	89千円

①緊急防除支援事業 89千円

湯梨浜町地内の水田で被害が拡大するジャンボタニシと縞葉枯れ対策のため、湯梨浜町が実施する「水田病害虫緊急対策(秋耕うん推進)事業補助金」について、北栄町に住所を有する農家の経費分を負担した。

【成果】 生産者が安心して継続的に生産活動できるよう、生産者の営農意欲向上が図れた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 林業振興費	10,269千円	8,309千円

①枯松伐採促進事業 629千円

松くい虫による被害拡散防止と枯松による危険防止のために行った伐採に対し、経費を補助した。

＊ R7事業体：1団体2個人

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
枯松伐採	7本	9本	87本	144本	152本	99本	58本

【成果】 枯松伐採費用の負担軽減を行うことで、被害拡大の防止につなげた。

②林業労働者福祉向上推進事業 110千円

林業労働者共済年金掛金及び林業労働者年末一時金支給の経費に対して助成を行った。

【成果】 林業労働者の生活の安定と福祉の向上に寄与することで林業労働者の就労条件の改善を図れた。

③造林補助金事業 551千円

【成果】 「森林環境譲与税」を活用し、間伐等の適正な森林整備を行うなど計画的、効果的な造林事業を実施できた。

年度	R7
伐採面積 (ha)	11.1

④森林整備担い手育成対策事業 485千円

【成果】 林業労働者の福利厚生の実施を図り、林業労働者の育成・確保ができた。

⑤間伐材搬出促進事業 1,546千円

【成果】 「森林環境譲与税」を活用し、間伐材の搬出経費を支援し、間伐の推進、間伐材の搬出を促進できた。

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
伐採面積	8ha	6ha	7ha	4ha	14ha	12ha	23ha

⑥森林経営管理事業 4,427千円

「森林環境譲与税」を活用し、新たな森林管理システム推進センターの支援を受け、森林経営管理制度における経営管理意向調査及び経営管理権集積計画作成業務を行った。

経営管理意向調査業務 3,996千円

【成果】 調査結果をもとに、経営管理権集積計画の作成準備を進めることができた。

●森林環境譲与税積立金 (※R8.3.31現在)

年度	R4	R5※	R6※	R7
基金残高	641,699円	積立なし	積立なし	430,348円

※ R5、R6は森林環境譲与税を当該年度の事業費として全額執行したため。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 松くい虫防除費	23,801千円	19,156千円

①松くい虫防除事業 19,156千円

松くい虫被害の拡大を防止するため、薬剤散布防除のほか、被害木の伐倒駆除を実施した。

松枯れの被害拡大に早期に対応するため、県内事業者の協力、有識者の意見をもとに特別伐倒駆除、広葉樹配布による樹種転換など特別対策を行った。

業務内容	R7年度	
	業務量	金額
松くい虫防除空中散布（地上作業含む）	58.5ha	6,762千円
松くい虫防除地上散布	5ha	1,502千円
松くい虫被害特別伐倒駆除	200.2m ³	9,677千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除（※）	1式	555千円
養蜂群移転補償	1式	383千円
樹幹注入防除委託料	-	-



松くい虫防除空中散布

※保全松林周辺被害木伐倒駆除（単町事業）は森林環境譲与税を活用

業務内容	R5年度		R6年度	
	業務量	金額	業務量	金額
松くい虫防除空中散布（地上作業含む）	59ha	6,154千円	59ha	6,509千円
松くい虫防除地上散布	5ha	1,138千円	5ha	1,367千円
松くい虫被害特別伐倒駆除	717.3m ³	26,617千円	336.7m ³	16,759千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	10,814千円	1式	7,436千円
養蜂群移転補償	1式	346千円	1式	301千円
樹幹注入防除委託料	-	-	1,046本	4,755千円

【成果】 松くい虫防除及び松くい虫被害木の徹底伐採を行い、砂丘地農業への影響をおさえた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 松林保全対策費	539千円	461千円

①松林保全推進事業 461千円

「森林環境譲与税」を活用し、広葉樹（トベラ・マサキ・ネズミモチ）の苗木の購入を行い、関係者に配布し、地区保全松林の保全を行った。

※ 4地区（下神、松神、西園、曲）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
購入本数	1,020本	1,530本	1,445本	2,000本	1,758本	1,462本	1,280本
地区数	4	4	5	6	5	7	4

【成果】 配布した広葉樹を各地区が植栽し、松林の再生・管理につなげた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 竹林整備費	4,640千円	4,609千円

①竹林整備事業 4,609千円

・ 竹林整備事業補助金 4,562千円

放置竹林を整備（伐採）する費用に対し、豊かな森づくり協働税を活用し支援を行った。

※施業地面積が0.1～1.0ha未満（補助率8/10）

整備面積 0.7ha

整備箇所 4か所（高千穂、六尾、土下、曲）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
伐採本数	2,320本	1,196本	1,360本	10,224本	2,040本	5,590本	20,384本
箇所数	1	1	1	2	1	2	4

【成果】 竹林の拡大防止と森林環境の改善が図れた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 商工振興費	236,137千円	219,375千円

①商工振興事業 6,578千円

・商工会補助金 6,000千円

商工会が行う経営支援事業等に対して補助金を交付し、商工業者の活動を支援した。
また、商工会員の事業所を訪問して、業況の聞き取りや支援策の提案などを行った。

R5年度		R6年度		R7年度	
会員数（人）	補助金額（千円）	会員数（人）	補助金額（千円）	会員数（人）	補助金額（千円）
410	6,000	405	6,000	407	6,000

※会員数は年度末の数字

【成果】 商工会の経営支援事業及び地域総合支援事業など事務局側への支援を行うことにより、商工会活動の一助になった。

②マル経融資利子補助事業 362千円

事業者の経営改善のために経営改善貸付（マル経融資）を活用した事業者に対し、返済分に係る利子補助を行い、事業者の活動を支援した。

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
件 数	4	5	11	13
補助金額（千円）	96	72	110	362

【成果】 経営改善に取り組む事業者の負担を軽減し、間接的に中小企業の発展の一助になった。

③企業立地及び雇用促進事業 3,753千円

町内に工場・事業所の新設や増設を行った事業者に対して、取得した資産に対する固定資産税相当額の奨励金と雇用促進の奨励金を支給した。

(金額単位：千円)

奨励金名	項目	R5年度		R6年度		R7年度		内容
		新規	継続	新規	継続	新規	継続	
企業立地等促進奨励金	件数	2	10	1	5	2	3	固定資産税相当額を3ヶ年助成
	金額	5,040		1,332		2,853		
雇用促進奨励金	件数	1		1		3		新規雇用に対し、30万円/人を支給
	金額	300		600		900		

【成果】 企業が実施する設備投資に対し奨励金を交付することで、企業の発展につながり、地域経済の活性化の一助となった。

④就労・創業支援事業 3,025千円

町内で新たに創業した事業者及び個人に対し補助金を支給した。

(金額単位：千円)

補助金名		R5年度	R6年度	R7年度	R7年度支援業種内訳
北栄町創業支援事業補助金	件数	5	5	3	まつ毛エクステンション業, 料理代行・料理ケータリング業, 生活関連サービス業
	金額	5,678	5,376	2,565	
由良宿まちづくり活性化支援事業補助金	件数	2	6	1	宿泊業
	金額	2,719	11,645	460	

*由良宿地域において、対象業種を飲食業・小売業・宿泊業に業種を絞り、にぎわい・経済循環を生み出し観光地としての魅力を高めることを目的とする。

【成果】 創業・事業開始時の初期投資に係る負担軽減を図ることで、町内産業の振興につながった。

⑤砂丘地振興基金積立金事業 10,626千円

道の駅ほうじょうの指定管理者からの納付金の一部を積み立てた。

(千円)

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
基金残高	47,534	28,993	0	10,626

※R6年度は基金から道の駅ほうじょう再整備に係る造成工事、舗装工事、建築工事等の財源 29,042千円を取り崩したことによる残高の減額。

【成果】 道の駅ほうじょうの指定指定管理者から売り上げの一部を納付金として収受し、新たに基金に積み立てることができ、今後の砂丘地振興の財源とすることができた。

⑥道の駅ほうじょう再整備事業（緑越） 9,186千円

開駅式典の委託、各種工事等により道の駅ほうじょうのグランドオープンに向けた準備を進めた。

- ・道の駅ほうじょう式典開催委託料 3,982千円
- ・道の駅ほうじょう看板製作委託料 3,320千円
- ・工事請負費 1,078千円
- ・備品購入費 697千円

【成果】 道の駅北条公園再整備基本計画策定から約7年を経て、令和7年4月25日に道の駅ほうじょうをグランドオープンすることができた。



道の駅ほうじょう開駅式典

⑦新型コロナ対策利子補助事業 10,580千円

新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けている中小事業者の借入れに対する利子補給を行い、事業者の事業継続を支援した。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
件数（事業者）	58(43)	79 (60)	240(175)	251(187)	234(176)
補助金額（千円）	13,149	15,314	18,726	21,564	10,580

【成果】 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けた中小事業者の事業継続を支援できた。

⑧町内消費拡大支援事業 23,114千円

北栄町商工会が実施する「キャッシュレス決済・地域ポイントカード事業（ほくほくカード）」を後押しするため、『ほくほくカードキャンペーン』への補助のほか、子育て応援事業や移住支援によるポイント付与、講演会等に参加した町民に対しポイントを付与し商工振興とまちづくりへの参加促進を図った。

- ・公共ポイント手数料 5,248千円
 - ・機器等使用料 86千円
 - ・町内消費拡大支援補助金 17,775千円
- （財源）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 17,775千円

(単位：人)

	R5年度	R6年度	R7年度
ほくほくカード加入者数	6,335	6,816	7,257



ほくほくカード

【成果】 ほくほくキャンペーンの実施（令和8年3月1日開始）により町内での消費拡大につながった。また、524万8千円相当の公共ポイントを町民へ付与し、まちづくりの参画者を増やすことができた。

⑨町内消費拡大支援事業（繰越） 21,554千円

物価高騰対策として、北栄町商工会が実施する『生活応援キャンペーン』（「ほくほくカード」の電子マネーチャージした者に対し、チャージ金額の20%分のポイントを付与）（令和7年3月1日開始）へ補助金を交付して、町内での消費拡大を図った。

【成果】 町内消費喚起と物価高で苦しむ町民生活を支援したとともに、今後のデジタル化を見据えて道の駅ほうじょうに電子マネーチャージ機の設置とQRコード決済システムを導入、普及を図ることができた。



道の駅ほうじょうに導入された電子マネーチャージ機

⑩地域経済変動対策資金利子補助事業 7,402千円

燃油価格及び原材料価格の高騰等により深刻な影響を受けている中小事業者の借入れに対する利子補給を行い、事業者の事業継続を支援した。

- ・ 燃油及び原材料価格高騰資金利子補助 677千円
- ・ エネルギー・原材料価格高騰資金利子補助 2,690千円
- ・ 為替相場急変対策資金利子補助 4,035千円

		R5年度	R6年度	R7年度
燃油及び原材料価格高騰	件数	13	13	11
	補助金額（千円）	1,247	1,142	677
エネルギー・原材料価格高騰	件数	9	18	19
	補助金額（千円）	746	2,588	2,690
為替相場急変対策	件数		7	13
	補助金額（千円）		509	4,035

【成果】 中小事業者の事業継続を支援した。

⑪まちの新たな賑わい創出支援事業 80千円

飲食店や宿泊施設等の事業者の町内進出につなげるためのPR媒体として「企業進出のご案内」パンフレットを1,000部作成した。

【成果】 鳥取県東京本部、関西本部、名古屋代表部に配架していただいたほか、事業者の集まる県外イベント等でも配布を行い、町の今後の賑わいや事業者支援の内容をPRすることができた。



「企業進出のご案内」パンフレット

⑫地域の人事部事業 7,046千円

人手や知見を求める町内事業者と複業を求める都市部人材（以下「複業人材」という。）とのマッチングを通じて、複業人材から技能等の提供を受けて経営課題解決や事業進展を図ったほか、地域活性化起業人及び地域おこし協力隊を任命し、地域課題の解決や地域活性化を図った。

- ・ 複業人材活用コーディネート業務 1,254千円
- ・ 地域の人事部支援業務 3,399千円
- ・ はじめての複業活用支援補助金 68千円

	R6年度	R7年度
件数	3	1
補助金額（千円）	223	68

【成果】 複業人材活用に向けたイベント開催（東京・大阪）により、北栄町の取り組みを広めることができた。また、北栄町版地域の人事部の体制を構築することができた。



地域活性化起業人 久永美乃里さん



地域の人事部地域おこし協力隊 関祐介隊員

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 道の駅管理費	28,350千円	26,434千円

①お台場公園サービスエリア管理事業 5,171千円

お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を行った。

・トイレ清掃委託料	2,577 千円
・アスベスト調査委託料	124 千円
・トイレトーパー等消耗品購入費	1,216 千円
・工事請負費(修繕)	1,080 千円

年間入込客数

(単位：人)

区 分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
レストラン・売店	23,201	53,579	57,931	57,337
農産物直売所	240,927	248,830	258,042	231,002
計	264,128	302,409	315,973	288,339



道の駅大栄駅舎外観

②道の駅ほうじょう管理事業 21,262千円

道の駅ほうじょうの指定管理者とともに適正な維持管理を行った。令和7年5月には鳥取県初となる『防災道の駅』に選定された。

・修繕費(建物・設備)	156 千円
・指定管理委託料	12,000 千円
・高圧幹線設備改修工事	7,128 千円
・小型除雪機購入業務	416 千円

年間入込客数

(単位：人)

区 分	R7年度
北エリア	9,122
南エリア	737,944
計	747,066



賑わう道の駅ほうじょう駅舎内

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	129,926千円	128,977千円

①北栄砂丘まつり交付金事業 6,702千円

・町政施行20周年記念 第18回北栄砂丘まつり
期 日 令和7年8月24日(日)
会 場 お台場公園多目的広場

【成果】 町民参画によるまつりを支援したことで、町民同士のつながりを強め、さらに町民のまちづくりへの関心を高めることができた。



北栄砂丘まつり

②国内外の交流推進事業 5,788千円

【成果】 友好交流協定を結んでいる台湾台中市大肚区との交流では、北栄町青少年訪問団が大肚区を訪問(7月)し、大道中学校の生徒と交流したほか、ホームステイを体験するなど台湾の文化に触れ国際理解を深めた。また、大道中学校の青少年訪問団を受け入れ(5月)し、北条中学校で生徒同士の交流を行ったほか、町内の家庭でホームステイを行い次代を担う子どもたちの国際感覚を養うことができた。
滋賀県湖南市との交流では、相互の夏まつり等への出店などを通じて相互交流を深めた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	16 移住推進費	72,210千円	64,151千円

①北栄暮らし支援事業 25,597千円

- ・移住者住宅取得支援補助金 8,312千円(県1/2)※県外転入者の場合
- ・定住者住宅取得補助金 7,450千円
- ・空き家利活用流通促進事業補助金 3,022千円(県1/2)
- ・移住支援員の配置 3,310千円(県1/2)

【実績】

事業名	R5年度	R6年度	R7年度
移住相談会	7回	6回	8回
移住者住宅取得支援補助金 (移住奨励金と若年層移住定住者住宅取得支援補助金を合わせた補助金)	69人/23件	34人/13件	35人/13件
若年層移住定住者住宅取得支援補助金	-	-	-
IJUターン空き家改修支援事業補助金	1件	2件	1件
定住支援住宅取得補助金	15件	33件	17件
空き家利活用流通促進事業補助金	8件	2件	5件
移住支援員配置	1人	1人	1人

北栄町への移住・定住を推進するため、窓口での移住相談、移住フェア相談会への参加、パンフレットの更新、配布等を行い北栄町を広くPRした。

【成果】 PRを行ったことで移住希望者の移住選択肢の一つとして北栄町を提示するきっかけになった。

また、移住者や若年層、町内者の住宅取得に対する補助を行うことで、町内に住み続けたいと思う動機付けができた。

②おためし住宅事業 198千円

・おためし住宅 消耗品費・光熱水費・委託費・通信費・修繕費 198千円

【実績】

	R5年度	R6年度	R7年度
人数/利用件数	19人/8組	9人/5組	12人/4組

県外の移住相談等でおためし住宅のPRを行い、利用促進を図った。
4月から43日間稼働した。（キャンセル3組を除く）

【成果】 おためし住宅に滞在し、北栄町の生活環境や雰囲気等を体験していただくことでより地域を知るきっかけを作り、移住希望者について移住前の不安を解消することができた。

③若者等交流推進事業 494千円

県外者（都市部の学生等）と北栄町をお手伝いを通じてつなぐ「おてつたび」を活用し、地域体験を通じ新たなつながりを創出した。

・R7受入事業所 (株)エナテクスサービス、(有)コナン探偵社

受入人数 4人（千葉県、滋賀県等）

受入日数 33日

作業内容 ドクダミの生育管理、レジ打ち・接客・品出し等ショップ業務

	R5年度	R6年度	R7年度
受入事業所	1事業所	3事業所	2事業所
受入人数	3人	7人	4人
受入日数	5日	49日	33日

【成果】 作業内容に関心のある県外の若者等が、作業を通じて本町の農業・観光資源や人柄に触れることにより新たなつながりを創出できた。

④ほくえい魅力発見！事業 575千円

町の魅力を再発見し、北栄町に将来IJUターンしたい・住み続けたいと思ってもらう機会の創出を目的とし、ほくえいフォトコンテストを行った。

・ほくえいフォトコンテスト2025

フォトコンテスト 応募74作品 受賞8作品

【成果】 インスタグラム等のSNSを活用したフォトコンテストを開催し、幅広い世代に北栄町の魅力を再発見してもらう機会を創出できた。

⑤二地域居住等促進事業 4,802千円

⑥二地域居住先導的プログラム実装事業 2,672千円

北栄町特定居住推進計画を制定し二地域居住促進の体制を整備した他、国の二地域居住先導的プロジェクト実装事業を利用しANAと連携したモニタープログラムにより観光層の調査を実施した。

また、国の地方創生伴走支援制度も受けることで、町内関係各所だけでなく外部の意見を取り入れながら事業を実施した。

【成果】 関係各所と連携し体制を整え、北栄町特定居住推進計画に沿って商工会を中心とした地域の人事部の体制整備、コワーキングスペースの整備を進めることができた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 観光費	1,026,096千円	898,093千円

①観光振興事業 50,859千円

- ・各種手数料（遊具点検等） 638 千円
- ・各種業務委託 44,750 千円
（観光案内所運營業務、観光ツアー造成、都市部観光商材PR等
観光産業拡大調査、高付加価値商材開発調査、観光担い手育成
プログラム実施、観光パンフ作成保管配布等）
- ・観光施設等修繕工事 3,329 千円
- ・関係団体等負担金 1,347 千円
（鳥取中部観光推進機構、鳥取県観光連盟、ここいこマップ等）

【成果】 北栄町を県内外にPRするほか、各施設の維持管理を行い、観光客の集客につなげることができた。また、ふるさと館再整備を見据えて、町の稼ぐ力を強化するために、商材の開発調査やツアー造成等に取り組み、町の魅力発信及び経済活動の活性化の推進につなげることができた。

②観光施設指定管理者委託事業 22,414千円

- ・観光施設指定管理委託料 22,400 千円
＜内訳＞ お台場公園、蜘蛛ヶ山山菜の里 11,510 千円
レークサイド大栄 10,890 千円
- ・土地賃借料（レークサイド大栄案内誘導看板） 8 千円

年間利用状況（利用者数）

区 分		R5年度		R6年度		R7年度	
お台場公園		59,831人		61,576人		58,323人	
レークサイド大栄		40,167人		37,616人		37,051人	
主催グラウンドゴルフ大会	一般	53回	9,501人	33回	5,644人	34回	5,714人
	会員	8回	815人	8回	734人	8回	727人

【成果】 指定管理者によるサービスの向上と運営の効率化を進め、施設の適切な整備を行ったことで、利用者の利便性向上を図ることができた。

③コナンのまちづくり事業 12,535千円

- ・観光PRチラシ（石製モニュメント、ゆらまちウォーク等）の制作 293 千円
- ・観光案内看板、歴史看板張替修繕 2,682 千円
- ・駅前江戸川コナンカラーオブジェ修繕 765 千円
- ・コナン通り防犯カメラ設置・交換 636 千円
- ・「まんが王国とっとり」協働推進補助金（交付団体：2団体） 2,963 千円

【成果】 コナン通りの受け入れ環境・周遊コンテンツを整備することで、「名探偵コナンに会えるまち」を内外に発信し続け、町内への周遊を促進し賑わいを創出することができた。

④「まんが王国とっとり」協働推進事業 11,216千円

・カラーオブジェ制作設置工事 9,680千円

【成果】 コナン通りにコナン・世良キャラクターオブジェを新たに設置したことで、エリアごとの新たな魅力創出となり、ファンや観光客、住民の方の関心を高めることができた。



©青山剛昌／小学館

コナン・世良キャラクターオブジェ

⑤青山剛昌ふるさと館再整備事業 799,996千円

・【R6⇒R7繰越事業】地盤変動影響調査	11,286千円
・【R6⇒R7繰越事業】建築・外構実施設計業務	126,335千円
・【R6⇒R7繰越事業】展示設計業務	79,403千円
・【R6⇒R7繰越事業】展示室の内装設計業務	2,970千円
・【R7⇒R8繰越事業】建築工事監理業務	11,019千円
・【R7⇒R8繰越事業】新築工事（電気設備）	18,480千円
・【R7⇒R8繰越事業】新築工事（機械設備）	31,470千円
・造成・外構工事積算業務	1,223千円
・新築工事（建築一般）	386,100千円
・新築工事（造成・外構）	25,575千円
・新築工事（展示ディスプレイ）	59,000千円
・支障物件（電柱）移転工事	511千円
・建築確認申請に係る手数料	664千円
・水道新規加入負担金	880千円
・工事に係る上下水道料金	287千円
・ふるさと館再整備に係るアドバイザー料	1,200千円
・ふるさと館再整備検討会等	79千円
・新しい地方経済・生活環境創生交付金に係る申請支援業務	43,514千円

【成果】 展示及び建築の設計完了後、入札を実施し計画どおり工事着手することができた。



建築中の青山剛昌ふるさと館

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 環境衛生費	12,103千円	9,963千円
①合併処理浄化槽整備事業 952千円					
		年度	R5年度	R6年度	R7年度
		事業費	0円	957千円	952千円
・ 浄化槽推進協議会会費、浄化槽台帳システム共同整備負担金 24千円					
・ 合併処理浄化槽設置費補助金 2基 928千円					
【成果】 浄化槽設置費を補助することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることができた。					
款	4 衛生費	項	3 上水道費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 上水道施設費	360千円	240千円
①水道事業会計繰出金事業 240千円					
		年度	R5年度	R6年度	R7年度
		繰出金	338千円	300千円	240千円
款	7 土木費	項	1 土木管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 土木総務費	103,177千円	100,004千円
①土木総務事業 743千円					
		年度	R5年度	R6年度	R7年度
		事業費	823千円	642千円	743千円
・ 不動産鑑定料、印紙税等 349千円					
・ 公用車（2台）燃料費、車検・点検 278千円					
・ 消耗品購入 116千円					
図書（災害手帳、積算単価ほか）、ファイル等					
②土木総務関係負担金事業 349千円					
		年度	R5年度	R6年度	R7年度
		事業費	331千円	565千円	349千円
・ 道路建設関係団体負担金（分担金） 319千円					
鳥取県道路利用者会議、道路整備期成同盟会、国道313号整備促進期成同盟会、中国国道協会、国道9号整備・山陰自動車道建設促進鳥取県期成会、日本道路協会一般国道9号（「北条道路」）整備促進期成会					
一般国道313号地域規格道路整備促進期成会					
・ 海岸・治水砂防・道の駅等負担金（会費） 30千円					
全国治水砂防協会鳥取県支部					

③震災に強いまちづくり促進事業 20,237千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
事業費	14,436千円	7,953千円	20,237千円

- ・耐震診断業務・促進計画策定業務委託料 5,125千円
- ・震災に強いまちづくり促進事業補助金 15,112千円
(内訳)
- 無料診断7戸、有料診断 2戸 設計 3戸
- ブロック塀改修・撤去 2件
- 耐震改修補助(建替) 4戸
- 耐震改修補助(除却) 4戸
- 耐震改修補助(改修) 2戸



筋交い、金物による補強

【成果】 DMやチラシの全戸配布により住宅の耐震化について関心をもってもらえたとともに、倒壊の可能性があるブロック塀や住宅を除却することで危険を回避できた。耐震化工事により、震災に強く安全なまちづくりに寄与することができた。



鉄筋コンクリート打増しによる基礎の補強

④法定外公共物事業 1,561千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
事業費	3,700千円	1,906千円	1,561千円

- ・排水対策測量設計【弓原浜】 968千円
- ・暗渠土砂撤去工事【西新田場】 66千円
- ・水路土砂撤去工事【由良宿2区】 290千円
- ・水路修繕工事【国坂浜】 132千円
- ・原材料購入(縞鋼板)【緑ヶ丘団地】 83千円
- ・原材料購入(真砂土)【土下】 23千円

着工前



完 成



水路土砂撤去(由良宿2区地区)

【成果】 法定外公共物等の維持管理を行い、受益者の安全・安心の確保に寄与した。

⑤緊急自然災害防止対策事業(法定外公共物) 15,265千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
事業費	—	5,311千円	15,265千円

- ・護岸工事【宮尻川】 15,265千円

完 成



宮尻川護岸整備(大谷地区)

【成果】 河川の増水に伴い河岸浸食した普通河川宮尻川の護岸整備を行い、背後施設を保全するとともに出水時の安全性を高めた。

款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 道路維持管理費	243,803千円	203,808千円

①道路維持管理事業 75,071千円

①-2 【繰越】 25,924千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
事業費	83,389千円	68,299千円	100,995千円

- ・道路補修設計 651千円
- ・維持修繕関係費（道路補修原材料購入含む） 17,953千円
- 【繰越分】 12,844千円

現年分 26件、繰越分 6件

主な工事内容：舗装陥没修繕、側溝蓋修繕、路肩修繕
安全施設修繕、路面清掃 等

- ・道路用地測量・登記等委託 739千円
- ・道路用地買収 20千円

・除雪関連費用

除雪作業委託（※国費事業分除く） 33,038千円

除雪実施日 12/27, 1/3, 1/22-26, 1/31, 2/8-10

消雪装置維持管理ほか 4,751千円

システム保守（GPS除雪管理、積雪監視） 3,544千円

除雪機械運転手育成支援事業補助金 758千円
1社（5人）

- ・町道除草伐木委託料 12,422千円
- 【繰越分】 848千円

- ・消耗品購入、備品購入・修繕 382千円
- 刈払機チップソー、刈払機、チェーンソー目立て

- ・道路台帳調整 12,232千円

修繕前



完 成



町道瀬戸干目野線

【成果】 町管理道路の維持修繕等を行い、利用者に安全で快適な走行環境を提供した。

②道路メンテナンス事業 32,514千円

②-2 【繰越】 10,300千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
事業費	70,207千円	12,134千円	42,814千円

- ・道路橋定期点検委託 50橋 28,038千円
- ・道路橋定期点検委託 32橋【繰越】 10,300千円
- ・橋梁修繕設計 1橋 4,475千円

【成果】 老朽化した橋梁の定期点検によって損傷を早期に発見し、必要な補修を計画することで、利用者の安全で快適な走行環境を確保した。

点検状況



③緊急自然災害防止対策事業 60,000千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
事業費	70,500千円	70,000千円	60,000千円

- ・舗装修繕関係費 60,000千円
舗装長寿命化工事 4件（3路線）

町道弓原松神線
(弓原地区)

【成果】 必要に応じて町道等の維持管理を行うことにより、安全な交通を確保した。

款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 道路新設改良費	252,777千円	182,175千円

①社会資本整備総合交付金事業 93,067千円

①-2 【繰越】 23,068千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
交付金事業費	128,591千円	191,534千円	116,135千円

- ・除雪関連費用（※国費事業分） 5,756千円
- ・測量設計業務委託 44,630千円
町道5路線（六尾西穂波線、松神2号線、育英西線、高千穂西穂波線、東園西稲場線）
路面性状調査、道路附属物定期点検
【繰越分】 4,180千円
町道2路線（島4号線、育英西線）
- ・道路改良工事 38,918千円
町道3路線（育英西線、高千穂西穂波線、東園西稲場線）
【繰越分】 17,616千円
町道2路線（米里12号線、高千穂西穂波線）
- ・用地取得、用地補償（物件移転） 3,763千円
町道2路線（米里曲線、育英西線）
【繰越分】 1,272千円
町道2路線（島4号線、育英西線）



町道育英西線道路改良工事

【成果】 避難所へ繋がる道路の拡幅工事等を実施したことにより、近隣住民の安全で快適な交通環境を提供した。

②通学路安全対策事業 38,512千円

②-2 【繰越】 27,529千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
補助事業費	69,826千円	56,727千円	66,041千円

- ・測量設計業務委託 24,434千円
町道8路線（松神國坂線（田井工区）、東園村中道線、六尾大谷線（由良宿工区）、大栄小中学校線、國坂國坂浜線ほか1路線、六尾大谷線（大谷工区）、大栄小中学校線ほか1路線、國坂6号線）

【繰越分】 5,678千円

町道1路線（大谷六尾線（由良宿工区））

- ・通学路整備工事 14,077千円
町道2路線（松神國坂線（田井工区）、東園村中道線）

【繰越分】 21,851千円

町道3路線（松神國坂線（田井工区）、東園村中道線、六尾大谷線（由良宿工区））

【成果】 通学路において路側帯を確保するための側溝改良等を行い、学生の安全で快適な通学環境を提供した。

町道松神國坂線側溝改良工事
(9工区)

款	7 土木費	項	3 河川総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 河川総務費	1,637千円	1,364千円

①河川総務事業 548千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
受託事業費	390千円	669千円	548千円

- ・天神川樋門操作（国から受託事業：江北排水樋門ほか1門） 452千円
- ・由良川樋門操作（県から受託事業：瀬戸排水樋門ほか1門） 97千円

【成果】 大雨時に河川からの逆流防止を図り、浸水被害を防止した。

②河川関係負担金事業 212千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
負担金事業費	707千円	212千円	212千円

- ・由良川水系河川改修事業促進期成同盟会負担金 80千円
- ・天神川改修促進期成同盟会負担金 32千円
- ・弓原浜対策活動費負担金 100千円

③浜川水路橋維持管理事業 603千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
維持管理費	588千円	1,395千円	603千円

- ・弓原地区浜川の北条川放水水路横断水路橋維持管理事業 603千円
操作業務委託、電気料金、修繕費、需用費等

款	7 土木費	項	5 都市計画費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 都市計画総務費	10,042千円	8,965千円

①都市計画事業 15千円

①-2 【繰越】 8,950千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
事業費	—	—	8,965千円

- ・都市計画審議会報酬 15千円
- ・北栄町立地適正化計画策定委託【繰越】 8,950千円

【成果】 令和8年度の北栄町立地適正化計画策定に向けデータ収集及び関係機関との調整等を行い、今後の方針を明確化した。



北栄町都市計画審議会開催状況

款	7 土木費	項	5 都市計画費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 下水道費	793,651千円	793,651千円

①下水道事業会計繰出金事業 793,651千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
繰出金	850,715千円	819,797千円	793,651千円

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 重層的支援体制整備事業費	48,883千円	45,253千円

①地域子育て支援拠点事業 3,965 千円

子育て支援センター「すまいる」

「すまいる」＝「す」てきで「ま」んぞくのいく「い」ごごちのいい「る」ーむ
(数値は延数)

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
年間利用世帯数	2,296	2,091	1,751

【成果】 親子でリフレッシュできるよう、幅広い内容で講座を企画したことで、子育て家庭の交流や保護者のリフレッシュを図ることができた。エアコン工事(6月～9月)の為、健康増進センターが使えなかったが、大谷こども園で運営を続けることで継続的な育児相談や居場所づくりを行い、子育ての孤独防止ができた。

②利用者支援事業 8,487 千円

妊産婦・乳幼児等の実情把握や、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ必要な情報提供・助言・保健指導・関係機関との連絡調整を行った。またアプリを活用し、様々な事業の情報配信を行った。

・利用者数 209人

【成果】 妊産婦・乳幼児の保護者からの相談を受け止め、抱える課題の解決にむけての支援を行い、出産、産後の育児に対する心身の負担軽減につなげた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 児童福祉総務費	245,364千円	233,583千円

①子育て総務事業 143,316 千円

町内私立こども園、私立保育所及び町外保育施設に委託し、保育を実施した。

・北条みどりこども園

園児数(町外からの広域入所は含まず) (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R5	人数	9	14	6	9	13	16	67
R6	人数	9	8	14	5	10	13	59
R7	人数	6	8	12	15	5	10	56

・栄保育所

園児数(町外からの広域入所は含まず) (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R5	人数	3	9	2	0	0	0	14
R6	人数	3	4	7	0	0	0	14
R7	人数	0	0	0	0	0	0	0

※R7休園

・広域保育施設

園児数 (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R5	人数	7	7	11	8	13	10	56
R6	人数	2	9	6	12	8	13	50
R7	人数	5	4	12	6	14	9	50

【成果】 保護者の仕事と育児の両立を図った。

②子育て支援短期利用事業 838 千円

保護者の就労その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行った。

・ショートステイ事業

年度	延べ人数
R5	3
R6	9
R7	76

・トワイライトステイ事業

年度	延べ人数
R5	93
R6	153
R7	248

【成果】 養育の場を提供したことで、保護者の就労等のサポートができた。

③在宅育児支援事業 5,717 千円

乳幼児をこども園などに預けずに家庭で保育する保護者に給付金を支給した。

・支給件数 延べ 80件

【成果】 家庭で保育する保護者へ経済的な支援を行うことができた。

④ネウボラ事業 276 千円

専任のコーディネーター（保健師）が母子健康手帳の交付から継続的に関わり、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行った。

・母子健康手帳交付時面談 67件

【成果】 個々のケースを把握し、ハイリスク妊婦（世帯）については、関係課や医療機関と情報共有しながら必要な支援を行い、虐待やDVの未然防止につなげた。

⑤産前産後家事支援事業 52 千円

産前産後の体調不良のため、家事などを行うことが困難な場合に訪問支援員を派遣した。

・登録件数 2件、利用件数 4件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、安心して出産を迎え子育てができる環境を整えた。

⑥産後ケア事業 519 千円

出産後に、育児不安が強い方やご家族等から産後の援助が得られない場合に、医療機関等で心身のケアや育児のサポートを行った。

・宿泊型 延べ 11件

・デイサービス型 母子利用 延べ 17件

・アウトリーチ型 延べ 5件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、母子が安心して過ごせる環境を整えるとともに産後うつや虐待の未然防止につなげた。

⑦パパママ教室 63 千円

妊娠・出産・育児に関する不安軽減、子育て中の孤立防止、育児技術の習得に向けて、妊婦とその家族に対して知識の普及と地域での相談場所・仲間づくりを行った。

・参加者 延べ 29人（妊婦 20人、夫 9人）

【成果】 夫等家族の参加もあり、妊婦への理解や産後の孤立予防につながった。

⑧施設等利用給付事業 2,220 千円

無償化の対象である3歳以上の子どもに対し、認可外保育施設の入所等について一定の範囲で施設へ給付した。

・利用件数 5件

【成果】 保護者の仕事と育児の両立を図った。

⑨こども園ICT化事業 1,592 千円

ICTツール（コドモンサービス）を活用し、登降園管理、連絡ノート、お知らせやクラスだよりの配信等や職員間での情報共有をおこなった。

【成果】 保護者の利便性が向上したほか、業務効率化により保育者の負担軽減・連携強化など、保育現場における質の向上につなげることができた。

⑩出産・子育て応援交付金事業 400 千円

国事業に基づき、妊産婦を対象に妊娠時及び出産後の面談を行うとともに、それぞれ5万円を給付した。

・交付金支給件数 8件

【成果】 面談や相談受付により、妊婦・子育て家庭の孤立感や不安感の解消を図ることができた。また、出産・子育てにかかる経済的負担軽減につながった。

⑪妊婦のための支援給付事業 8,646 千円

国事業に基づき、妊婦を対象に妊娠時および妊娠後期、出産後の面談を行うとともに、妊娠時に5万円、妊娠後期に5万円×胎児の数を給付した。

・交付金支給件数 160件

【成果】 面談や相談受付により、妊婦・子育て家庭の孤立感や不安感の解消を図ることができた。また、出産・子育てにかかる経済的負担軽減につながった。

⑫小・中学校入学祝金事業 5,410 千円

小、中学校等に1年生として入学する児童の保護者を対象に、入学祝い金を支給した。

・給付件数 小学校及び小学部 109件 中学校及び中学部 144件

【成果】 就学費用の負担軽減及び子育て支援につながった。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 認定こども園管理運営費	725,063千円	709,129千円

①町立こども園管理運営事業 101,007 千円

- ・北条こども園管理運営事業 56,106 千円
- ・大誠こども園管理運営事業 23,167 千円
- ・由良こども園管理運営事業 21,402 千円
- ・大谷こども園管理運営事業 332 千円 ※R7休園

園児数 (3月末現在)

年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	広域入所	合計
R5	24	72	71	85	82	85	419	4	423
R6	13	56	84	84	84	81	402	4	406
R7	24	54	68	94	83	87	410	5	415
北条こども園	9	20	25	40	41	31	166	2	168
大誠こども園	8	20	23	30	19	28	128	0	128
由良こども園	7	14	20	24	23	28	116	3	119
大谷こども園	0	0	0	0	0	0	0	0	0

保育料徴収の状況

(単位：千円・%)

年度	R5年度			R6年度			R7年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	24,633	24,633	100.0	20,055	20,055	100.0	18,255	18,255	100.0
滞納繰越分	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
計	24,633	24,633	100.0	20,055	20,055	100.0	18,255	18,255	100.0

※各こども園には、北栄町外からの広域入所分を含む。

- 【成果】 国基準を上回る北栄町の基準による適正な職員配置に努め、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えることができた。また、園内研修の充実を図るとともに、各種研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。
- 施設の定期的な点検を行い、必要に応じて補修や工事を実施し、安全な施設環境を整えることができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 放課後児童健全育成費	266,553千円	265,170千円

①放課後児童クラブ委託事業 26,760 千円

保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対し、放課後の安全な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。

登録児童数等 北条なかよし学級 定員：100人 大栄こども学級 定員：80人

年 度		児童数（3月）							月平均 登録数	最大登録		年日数 （日）
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		月	人数	
北条	R5	34	34	25	14	8	3	118	125.7	7月	141	314
	R6	37	28	25	13	9	6	118	133.7	8月	155	292
	R7	39	31	22	22	10	7	131	137.3	8月	149	288
大栄	R5	28	14	14	6	1	0	63	75.3	7,8月	92	314
	R6	29	26	12	10	4	1	82	85.6	8月	99	292
	R7	25	25	16	8	3	0	77	85.8	8月	111	288

- 【成果】 放課後や夏休みなどの長期休業中など、児童が適切に生活したり遊べる場を提供することで、保護者が安心して働ける環境を整備できた。

②大栄こども学級等集会施設整備事業 238,242 千円

勤労者体育センター跡地に放課後児童クラブ等集会施設として「大栄くろぼく会館」を建設した。

- 【成果】 放課後児童クラブ（大栄こども学級）が1月から新施設でスタートした。小学校に隣接し、安心して通い安心して過ごすことのできる施設となった。



③大栄こども学級等集会施設運営事業 168 千円

くろぼく会館の施設管理運営を行った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 母子父子福祉費	36,995千円	34,873千円

①ひとり親家庭等学習支援事業 3,713 千円

ひとり親世帯・生活困窮世帯等の小学生（3～6年生）及び中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業を実施した。

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
小学生登録者数	10人	11人	12人
小学生延利用者数	189人	198人	171人
中学生登録者数	16人	14人	14人
中学生延利用者数	684人	676人	634人

- 【成果】 学習支援を行ったことにより、学習習慣の定着と学力向上を図ることができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 地域子育て支援費	1,488千円	1,488千円

①ファミリー・サポート・センター事業 34 千円

地域や援助の時間帯、援助内容などを考慮し、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と援助ができる人（提供会員）の調整を行った。

会員数（3月末）

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
活動件数	32	40	49
提供会員	17	18	20
依頼会員	40	48	39
会員合計	57	66	59

【成果】 子育て世代のサポートができた。

②乳幼児健康支援一時預かり事業 1,390 千円

子どもが病気にかかりこども園等に登園することができないにもかかわらず、保護者が仕事などを休むことができない場合に、病院等の専用スペースで一時預かり保育を倉吉市及び湯梨浜町に委託し行った。

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
病児保育事業	66	57	88
病後児保育事業	5	0	0

※年間利用児童数（延人数）

【成果】 病気の子どもを安心して預けられる場所を提供することで、保護者の就労等のサポートができた。

③休日保育事業 64 千円

日曜・祝日等に保護者の勤務などで保育ができない場合の対応として、休日保育を倉吉市に委託し行った。

・利用件数 5 件

【成果】 保護者の就労等のサポートができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 教育委員会費	2,021千円	2,003千円

①教育委員会事業 2,003 千円（教育関係負担金含む）

毎月1回の教育委員会の定例会を開催したほか、必要により臨時会を開催した。総合教育会議、各種研修会等への出席やこども園、小学校、中学校への計画訪問、諸行事に参加した。

- ・教育委員会 定例会12回、臨時会1回
- ・教育委員会視察 9月30日～10月1日
視察先：宮園小学校（広島県廿日市市）、高梁市立図書館（岡山県高梁市）
- ・総合教育会議 6月24日、11月25日
意見交換のテーマ
学校施設の長寿命化及び災害対策等、部活動の地域移行（展開）
体験的学習活動等休業日及び夏季休業日、北栄町教育大綱（第4期版）など
- ・計画訪問（こども園、小・中学校） 前期：5月、後期：10～11月
- ・負担金 郡教委連絡協議会負担金、県市町村教委研究協議会負担金

- 【成果】 教育委員会においては、法令等に定める議決事項等の審議決定に加え、教育行政における懸案事項等について協議を行い、教育行政の振興を図った。
- 計画訪問を行い、教育活動の現状や学校経営上の成果と課題を把握した。また、学校経営について意見交換を行い、今後の教育推進方策について学校と教育委員会とで共通の理解を図った。
- 教育委員会視察では、自由進度学習の取り組みを実施している小学校の実態のほか、指定管理者委託によりカフェ機能など多機能型の図書館の取り組みを視察し、先進的な取り組み事例として委員の見識を広げることができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 事務局費	194,745千円	191,642千円

①事務局事業 31,348 千円

教育行政評価委員会を開催（年3回）し、教育委員会部局事業のうち10事業について学識経験者による外部評価を実施した。

優れた文化・芸術活動や能力、社会性等を発揮した児童生徒14人に対して、表彰を行った。

音田教育振興基金から、向学心旺盛ながら経済的な問題がある等の困難な中学生に高等学校入学準備費給付金を支給した。

音田教育振興基金給付状況

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
給付金支給者	8人	3人	4人
給付金合計額	80万円	30万円	40万円

竹歳敏夫奨学育英基金から、向学心旺盛でありながら家庭の事情等の理由により勉学を継続することが困難な人に対し大学等入学準備費交付金を支給した。

竹歳敏夫奨学育英基金大学等入学準備費給付状況

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
給付金支給者	-	-	4人
給付金合計額	-	-	48万円

公益財団法人竹歳敏夫奨学育英会の解散に伴い、残余財産を収受。竹歳敏夫奨学育英基金を設けた。（10,250千円）

- 【成果】 教育行政評価（外部評価）で各事業を有識者から客観的な視点で評価してもらうことにより、対象事業の課題や今後の改善策などを整理することができた。

②事務局関係負担金事業 4,747 千円

- ・学校災害共済掛金負担金 1,035 千円
- ・中部子ども支援センター負担金 1,882 千円
- ・自治体ICT共同化推進協議会委託金 1,311 千円
- ・中部教育協議会負担金 246 千円
- ・中学校体育連盟負担金 158 千円 ほか

③教育力向上事業 6,019 千円

学力向上のため、以下のような事業を実施した。

- ・外部講師を招いての授業研究会（年4回）
- ・サマースクール（7月末～8月上旬5日間、各地区）
- ・イングリッシュスクール（7月末～8月初6日間、1月末～2月初8日間、各中学校）
- ・学力等調査の実施（ハイパーQU、知能検査、学力検査、診断テスト）
- ・地域で子どもを育てる体験活動支援（土下自治会ほか 合計6団体）
- ・英語検定受験料助成 4級13人、3級7人、準2級9人、準2級プラス2人

- 【成果】 サマースクール、イングリッシュスクールを実施し夏季休業中の家庭学習において習慣化と学力補充を図ることができた。地域で子どもを育てる体験活動支援事業などにより、夏休み等の学習習慣定着につなげたほか、授業研究会に大学教授や准教授を招聘して、指導方法や教材研究について学び、実践に活かした。
学力調査等を実施し、分析した上で対応策をまとめ、充実した指導・支援につなげた。

④ふるさと鳥取見学（県学）支援事業 615 千円

県の補助金（補助率1/2）を活用し、社会科見学を行った。
北条小学校4年生：サントリー奥大山ブナの森工場ほか
大栄小学校5年生：日本海テレビほか 大栄小学校6年生：上淀白鳳の丘・展示館ほか

- 【成果】 県内の素晴らしい自然環境や文化財等を見学する機会をつくり、鳥取県についての理解・関心を深め、ふるさとを愛する心の育成につながった。

⑤発達支援体制整備事業 560 千円

障がいのある又は発達に支援を必要とする乳幼児、児童、生徒に対し、自立と社会参加に向けた適切な支援を行う体制を構築。福祉課・健康推進課・教育総務課で連携した事業を行った。

特別支援教育アドバイザーを配置し、こども園、小中学校において発達支援に関する指導助言を行った。園（町外含）19回、小中学校 23回

- 【成果】 福祉課・健康推進課・教育総務課で情報共有しながら対応したことで、それぞれの時期に必要な支援をスムーズに行うことができた。こども園・小中学校で支援の必要な児童生徒への関わり方について指導助言を行ったことで、児童生徒の課題を改善・軽減することにつながられた。

⑥学校支援地域事業 11,586 千円

不登校、いじめや問題行動等に対し、児童生徒が置かれた環境への働きかけや関係機関との連携により問題解決を図るため、スクールソーシャルワーカー2人を校種別に配置した。

児童生徒の個々の状況に応じた居場所づくりのため、令和7年度は大栄中学校、北条中学校に校内教育支援センターを設置した。

- 【成果】 学校・保護者・スクールソーシャルワーカーで情報共有しながら、状況に応じて必要な支援方法や児童生徒との関わり方等を提案することで、児童生徒の課題を改善・軽減につなげることができた。

校内教育支援センターは両中学校合わせて12人の生徒の利用があり、不登校傾向の生徒の自立や生きる力を育むための支援により、校内教育支援センターへの登校や進路実現につながった。

⑦コミュニティスクール推進体制構築事業 1,436 千円

各中学校区学校運営協議会を大栄中学校区は5回、北条中学校区では4回開催し地域と学校の連携・協働に取組んだ。CS地域コーディネーター連絡会を10回開催した。

- 【成果】 地域の方に学校での学習支援や地域での通学見守りなどに関わっていただき、児童・生徒の学習への意欲や安全対策の向上につながった。

家庭科ではグループごとに支援がつくことで児童生徒が進んで作品作りに取り組んだり、小学校の昔の遊びでは児童が生き生きと交流するなど、活動に対する子どもたちの意欲につながった。

子どもたちの育ちについて地域と共有し、学校課題に対して協働できるよう熟議を進めており、協議会委員の具体的な活動につながった。特に大栄校区では学校課題をもとに協議会委員を対象とした研修を実施した。

また、定期的に行っている連絡会では各校区の取組について情報共有や意見交換がなされ、取り組みの深化につながっている。

⑧GIGAスクール構想整備事業 57,194 千円

小中4校の児童生徒へ1人1台配備しているタブレット端末について一斉更新を行うにあたり、1,045台（全体の83%）を新機種へ更新した。（残り台数は令和8年度に実施）

【成果】 タブレット端末を更新し、機能が向上して使いやすくなったことで、小中学校における情報教育環境の充実を図ることができた。

⑨幼児通級指導教室設置事業 884 千円

発達支援が必要な園児（年中・年長児）を対象に、通所による個別指導や小集団指導を実施した。また、園での支援の充実を図るため、加配保育教諭対象研修を実施した。

【成果】 親子での通所による指導により、保護者が指導内容や児の特性に応じた関わりを学び、子育てや就学についての不安の軽減につながった。また、こども園職員の幼児通級指導教室の見学や加配保育教諭研修を通して支援スキルの資質向上につながった。

⑩高校生等通学費助成事業 3,363 千円

高校生等の通学定期券購入費に対する支援を行った。
・利用者 79人（県内17高校等）

【成果】 高校生等を抱える世帯の負担を軽減することで、子どもたちが希望する教育を受けられる機会を増やすことができた。

⑪フリースクール利用料軽減事業 2,120 千円

町内の児童生徒がフリースクールに通う経費に対する支援を行った。
・利用者 12人

【成果】 不登校児童生徒の選択肢を増やすとともに保護者の負担軽減となった。



大栄小学校プール（改築後）



北条中学校体育館暗幕取替工事

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 額	決 算 額
		目	3 外国青年招致費	10,296千円	10,296千円

①外国青年招致事業 10,296 千円

外国語指導助手派遣を業者契約し、中学校における英語授業の補助や小学校・こども園における外国語活動等を実施した。
派遣人数 2人

【成果】 担当教員等とALTが連携して英語教育や生活をともにすることで、グローバル化に対応できる人材育成を図った。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 北条小学校管理費	83,876千円	79,977千円

①北条小学校管理事業 78,936 千円 ※風のまちづくり活用事業

- ・北条小学校掲揚台撤去工事 517 千円
 - ・高圧気中負荷開閉器(PAS)取替工事 1,078 千円
 - ・駐車場区画線修繕工事 207 千円
 - ・プール南側樹木伐採工事 245 千円
- (財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(電気代高騰分) 2,851千円

学校主事・図書館司書・学習支援員等の配置 32,204 千円

児童数 (令和7年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	31 人	29 人	60 人
2年	2 組	33 人	24 人	57 人
3年	2 組	27 人	29 人	56 人
4年	2 組	31 人	34 人	65 人
5年	3 組	43 人	33 人	76 人
6年	2 組	30 人	35 人	65 人
特別支援学級	5 組	(22) 人	(8) 人	(30) 人
合計	18 組	195 人	184 人	379 人

※()は各クラスと重複しているため合計人数に入れない

②スクールバス管理事業 1,041 千円

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
利用児童数	78人	85人	77人
児童の割合	19.2%	21.3%	20.3%

【成果】 遠距離通学児童の登下校の安全性を確保した。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 大栄小学校管理費	152,527千円	148,668千円

①大栄小学校管理事業 65,564 千円 ※風のまちづくり活用事業

- ・教室棟エアコン修繕工事 418 千円
 - ・防火シャッター修繕工事 539 千円
 - ・天体観測ドーム、ペレットストーブ撤去工事 1,210 千円
 - ・手摺り新設工事 1,210 千円
- (財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(電気代高騰分) 2,852千円

学校主事・図書館司書・学習支援員等の配置 42,145 千円

児童数 (令和7年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	30 人	18 人	48 人
2年	2 組	29 人	27 人	56 人
3年	2 組	29 人	23 人	52 人
4年	2 組	32 人	19 人	51 人
5年	2 組	33 人	31 人	64 人
6年	2 組	36 人	29 人	65 人
特別支援学級	7 組	(27) 人	(6) 人	(33) 人
合計	19 組	189 人	147 人	336 人

※()は各クラスと重複しているため合計人数に入れない

②スクールバス管理事業 3,266 千円

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
利用児童数	220人	213人	197人
児童の割合	58.8%	60.5%	58.6%

【成果】 遠距離通学児童の登下校の安全性を確保した。

③大栄小学校プール改築事業 79,838 千円

建築から50年が経過し老朽化している大栄小学校のプールについて、施設長寿命化を図るため、改築工事を実施した。

【成果】 改築工事を予定どおり夏までに完了し、令和7年度の水泳授業を新しいプールで実施することができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 小学校教育振興費（共通）	598千円	587千円

①小学校外国語教育活動事業 172 千円

小学校3, 4年生の外国語活動、5, 6年生の外国語科の学習を実施。

【成果】 ALTと連携し、外国語科学習の円滑な実施を図ることができた。

②児童通学事業 389 千円

北条小学校の遠距離通学となる児童に対し、路線バス代を補助した。

対象地区：松神、下神

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
補助児童数	31人	24人	22人
児童の割合	7.6%	6.0%	6.0%

【成果】 遠距離通学児童の安全確保を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減した。

③修学旅行引率費補助金事業 27 千円

職員引率費の一部を助成した。

北条小学校 6学年 広島 10/9-10

大栄小学校 6学年 広島 6/25-26

【成果】 費用助成により、修学旅行に必要な引率教員数を同行させることができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 北条小学校教育振興費	8,210千円	6,927千円

①北条小学校教育振興事業 6,927 千円 ※風のまちづくり活用事業

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・児童用図書・教材備品購入費 2,345 千円

就学援助事業（要保護・準要保護） 2,413 千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
対象	保護者数	36人	38人
	児童数	51人	56人
児童の割合		12.5%	11.1%

特別支援教育就学奨励事業

697 千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R5年度	R6年度	R7年度
対象	保護者数	27人	24人	23人
	児童数	27人	25人	24人

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 大栄小学校教育振興費	6,328千円	5,725千円

①大栄小学校教育振興事業 5,725 千円 ※風のまちづくり活用事業

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・児童用図書・教材備品購入費 2,110 千円

就学援助事業（要保護・準要保護） 1,396 千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R5年度	R6年度	R7年度
対象	保護者数	25人	15人	16人
	児童数	32人	23人	22人
児童の割合		8.6%	6.5%	6.5%

特別支援教育就学奨励事業

652 千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R5年度	R6年度	R7年度
対象	保護者数	16人	19人	19人
	児童数	17人	22人	22人

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 言語通級指導教室費	255千円	216千円

①言語通級指導教室事業 216 千円

大栄小学校に言語障がい通級指導教室「ことばの教室」を設置。この教室はことばが増えない、発音がはっきりせずわかりにくいなどの児童に対し指導を行った。

【成果】 必要なことばのトレーニングやコミュニケーションの力を高める指導を行うことにより、友達に思いを伝えることを楽しみ、自信をつけさせることができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 発達通級指導教室費	411千円	384千円

①発達通級指導教室事業 384 千円

北条小学校に発達障がい通級指導教室「まなびの教室」を設置。大栄小学校でも指導ができるようにしており、発達障がいのある児童等に対し両小学校で指導を行った。

【成果】 一人一人に合わせた指導を行うことによって、子どもたちが「できた」「わかった」喜びを味わったり学び方を身に付けたりし、自信をつけさせることができた。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	1 北条中学校管理費	48,619千円	43,080千円																														
①北条中学校管理事業 43,080 千円 ※風のまちづくり活用事業																																			
・ 防犯カメラ更新設置工事 590 千円																																			
・ 北条中学校体育館暗幕取替工事 791 千円																																			
・ 北条中展示パネル 648 千円																																			
(財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 (電気代高騰分) 2,851千円																																			
学校主事・図書館司書・学習支援員等の配置 25,177 千円																																			
生徒数 (令和7年5月1日現在)																																			
<table><tr><td>学年</td><td>学級数</td><td>男</td><td>女</td><td>合計</td></tr><tr><td>1年</td><td>3 組</td><td>39 人</td><td>33 人</td><td>72 人</td></tr><tr><td>2年</td><td>2 組</td><td>30 人</td><td>30 人</td><td>60 人</td></tr><tr><td>3年</td><td>2 組</td><td>37 人</td><td>37 人</td><td>74 人</td></tr><tr><td>特別支援学級</td><td>3 組</td><td>(6) 人</td><td>(5) 人</td><td>(11) 人</td></tr><tr><td>合計</td><td>10 組</td><td>106 人</td><td>100 人</td><td>206 人</td></tr></table>					学年	学級数	男	女	合計	1年	3 組	39 人	33 人	72 人	2年	2 組	30 人	30 人	60 人	3年	2 組	37 人	37 人	74 人	特別支援学級	3 組	(6) 人	(5) 人	(11) 人	合計	10 組	106 人	100 人	206 人	※()は各クラスと重複しているため合計人数に入れない
学年	学級数	男	女	合計																															
1年	3 組	39 人	33 人	72 人																															
2年	2 組	30 人	30 人	60 人																															
3年	2 組	37 人	37 人	74 人																															
特別支援学級	3 組	(6) 人	(5) 人	(11) 人																															
合計	10 組	106 人	100 人	206 人																															
【成果】 北条中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。																																			
款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	2 大栄中学校管理費	56,148千円	49,225千円																														
①大栄中学校管理事業 49,225 千円 ※風のまちづくり活用事業																																			
・ プールろ過機排水管修繕工事 967 千円																																			
・ 体育館屋内消火栓ポンプ修繕工事 470 千円																																			
・ 大栄中学校音楽室エアコン取替工事 2,530 千円																																			
・ 防犯カメラ更新設置工事 710 千円																																			
(財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 (電気代高騰分) 2,851千円																																			
学校主事・図書館司書・学習支援員等の設置 27,983 千円																																			
生徒数 (令和7年5月1日現在)																																			
<table><tr><td>学年</td><td>学級数</td><td>男</td><td>女</td><td>合計</td></tr><tr><td>1年</td><td>2 組</td><td>30 人</td><td>28 人</td><td>58 人</td></tr><tr><td>2年</td><td>2 組</td><td>33 人</td><td>42 人</td><td>75 人</td></tr><tr><td>3年</td><td>2 組</td><td>33 人</td><td>24 人</td><td>57 人</td></tr><tr><td>特別支援学級</td><td>4 組</td><td>(12) 人</td><td>(9) 人</td><td>(21) 人</td></tr><tr><td>合計</td><td>10 組</td><td>96 人</td><td>94 人</td><td>190 人</td></tr></table>					学年	学級数	男	女	合計	1年	2 組	30 人	28 人	58 人	2年	2 組	33 人	42 人	75 人	3年	2 組	33 人	24 人	57 人	特別支援学級	4 組	(12) 人	(9) 人	(21) 人	合計	10 組	96 人	94 人	190 人	※()は各クラスと重複しているため合計人数に入れない
学年	学級数	男	女	合計																															
1年	2 組	30 人	28 人	58 人																															
2年	2 組	33 人	42 人	75 人																															
3年	2 組	33 人	24 人	57 人																															
特別支援学級	4 組	(12) 人	(9) 人	(21) 人																															
合計	10 組	96 人	94 人	190 人																															
【成果】 大栄中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。																																			
款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	3 中学校教育振興費 (共通)	4,778千円	3,969千円																														
①学習事業 291 千円																																			
中学校のキャリア教育の一環として、卒業生や各職種の社会人の方を講師に招き、体験談等を聞くための講演会を開催したほか、運動会、文化祭等では、生徒会の自治的な活動を推進するため必要となる物品を購入した。																																			
【成果】 社会人等の講話を通じて将来のあるべき自分の姿を考えさせたほか、運動会等の行事を通して学級集団で目標達成を目指す取組や自治的活動の育成を図った。																																			

②修学旅行引率費補助金事業 155 千円

北条中学校 3学年 関西(大阪、京都) 5/7-9
大栄中学校 3学年 東京 4/23-25

【成果】 費用助成により、修学旅行に必要な引率教員数を同行させることができた。

③生徒派遣事業 2,363 千円

各種大会参加のためのバス等の借り上げ、また、交通費・宿泊費等の補助を行った。
・バス等借上 665 千円 ・主な派遣先 中部地区総体、中部地区新人大会
・生徒派遣補助金 1,698 千円 ・主な派遣先 中国大会、全国大会

【成果】 大会参加時に必要な移動手段を確実に確保することができた。

⑤職場体験学習事業 66 千円

北条・大栄中学校2年生が町内事業所の協力のもと、職場体験学習を実施した。
北条中学校 7月1日～4日 大栄中学校 7月8日～11日
・保険料 66 千円

【成果】 体験を通して働くことの楽しさや厳しさを経験したほか、社会の規律やマナーを学んだ。

⑥部活動振興事業 1,094 千円

・部活動指導員の設置 北条中：バドミントン、剣道、吹奏楽
大栄中：柔道、卓球、バレーボール、吹奏楽
・外部指導者の設置 北条中：卓球

【成果】 8人の指導員、2人の外部指導者による大会引率や技術的指導により、教員の長時間勤務の解消、心理的負担の軽減の一助となった。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 北条中学校教育振興費	11,996千円	11,069千円

①北条中学校教育振興事業 11,069 千円 ※風のまちづくり活用事業

図書・教材備品購入費 4,897 千円

就学援助事業（要・準要保護） 4,036 千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R5年度	R6年度	R7年度
対象	保護者数	24人	23人	28人
	生徒数	27人	24人	30人
	生徒の割合	13.2%	12.2%	14.6%

特別支援教育就学奨励扶助事業 385 千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R5年度	R6年度	R7年度
対象	保護者数	14人	12人	8人
	生徒数	14人	12人	8人

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 大栄中学校教育振興費	10,015千円	8,767千円

①大栄中学校教育振興事業 8,767 千円 ※風のまちづくり活用事業
 図書・教材備品購入費 3,742 千円

就学援助事業（要保護、準要保護） 3,263 千円
 経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R5年度	R6年度	R7年度
対象	保護者数	22人	24人	23人
	生徒数	25人	30人	24人
生徒の割合		13.1%	14.9%	12.6%

特別支援教育就学奨励事業 573 千円
 特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R5年度	R6年度	R7年度
対象	保護者数	15人	12人	13人
	生徒数	15人	12人	13人

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 学校給食費	196,138千円	188,379千円

①学校給食センター管理事業 85,211 千円

小・中学校、北条こども園の学校給食の実施において、給食センターの管理運営、食数管理のほか、給食費の徴収業務等を行った。調理部門については、民間委託により民間企業の専門的な知識・技術を活用し、徹底した衛生管理の推進を図った。また、子どもたちの食育推進のため、各種給食イベントを実施した。

・給食実施回数

学校等名	R5年度	R6年度	R7年度
北条こども園	233 回	234 回	233 回
北条小学校	192 回	187 回	185 回
大栄小学校	191 回	186 回	185 回
北条中学校	190 回	189 回	185 回
大栄中学校	191 回	190 回	188 回

・学校給食調理等業務委託 (単位：千円)

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
委託料	42,130	42,130	42,130

※業務委託はR4から5年契約

・主な実施事業

食育週間特別献立（6月）
 ハピネス給食（年2回）
 町制施行20周年記念給食（10月）
 地元生産者等との交流給食会（10月、2月）
 全国学校給食週間（1月）（特別献立、学校給食アンケート、校区合同学校給食展）

・給食費の徴収状況

(単位：千円・%)

区 分		R5年度			R6年度			R7年度		
		調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
小学校	現年	46,086	46,076	99.9	44,121	44,121	100.0	42,487	42,487	100.0
	滞納	117	84	71.8	43	40	93.0	3	3	100.0
	計	46,203	46,160	99.9	44,164	44,161	99.9	42,490	42,490	100.0
中学校	現年	26,813	26,813	100.0	27,075	27,075	100.0	26,392	26,392	100.0
	滞納	232	208	89.7	24	24	100.0	0	0	—
	計	27,045	27,021	99.9	27,099	27,099	100.0	26,392	26,392	100.0
合計		73,248	73,181	99.9	71,263	71,260	99.9	68,882	68,882	100.0

【成果】 年間を通し、安全安心な学校給食の提供が実施できた。地方創生臨時交付金や県補助事業を活用することで、地元産材の消費拡大を行うとともに普段給食で出せない高価な食材を味わってもらう機会を提供することができた。

また、学校給食費の徴収及び過年度未納額の債権整理を計画的に行い、着実な徴収に結びつけることができた。



地元生産者との交流給食会

②給食費事業（賄材料費） 89,869 千円

県内産・町内産食材をはじめ、必要となる学校給食食材の購入を行った。県内産、町内産食材を多く取り入れ、児童生徒への啓発を図ることで食育推進につなげた。地元食材を使ったハピネス給食や町制施行20周年記念給食を実施した。また、地方創生臨時交付金を活用して食材費の高騰に対応し、保護者負担の増額を求めることなく地産地消の推進となるよう食材調達を行った。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（食材高騰分）13,385千円

・地産地消率（県指定44品目）

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
国内産	100 %	100 %	100 %
うち県内産	83 %	80 %	87 %

【成果】 年間を通して、品質の良い学校給食用食材を使用し、安全安心な給食を提供することができた。また、ハピネス給食をはじめ、行事食等でも多くの地元産食材を提供し地産地消の大切さや地元への理解を深める機会を提供することができ、子どもたちの食育推進、さらには北栄町産食材のPRにつなげることができた。

令和7年度の学校給食における県産品利用率は87%となり、天候不順等の影響により低下していた過去2年よりも高い水準へ上昇した。

ハピネス給食
(町内産いちごのガトーショコラ)ハピネス給食
(町内産シャインマスカットのパフェ)

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会教育総務費	55,164千円	54,226千円

①社会教育総務事業 176千円

- ・社会教育委員会兼公民館運営審議会委員会の開催 3回（5月・12月・3月）
- ・委員の各種研修等への参加 2回（鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会）
（鳥取県社会教育関係者研修会）

【成果】 社会教育委員が社会教育事業について意見を述べたり事業に参画することにより、社会教育事業の充実を図ることができた。また、鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会及び鳥取県社会教育関係者研修会に参加し、今の時代に社会教育委員が求められることについて学ぶことにより委員の資質向上につながった。

②社会教育総務関係負担金事業 548千円

社会教育に関する協議会等の負担金

- ・東伯郡社会教育協議会
- ・鳥取県社会教育協議会
- ・鳥取県社会教育委員連絡協議会
- ・倉吉地区少年補導センター

③青少年育成町民会議交付金事業 367千円

青少年育成北栄町民会議に交付金を交付し、各種団体、機関及び家庭や地域の連携により青少年の健全育成活動を行った。

- ・あいさつ運動推進事業所 100事業所

【成果】 青少年健全育成啓発のぼり旗を作成し配布したほか、あいさつ運動、見守りパトロール等、地域が一体となって活動することで青少年の健全育成につながった。

④社会教育推進事業 170千円

届ける学びを目的に「生涯学習出前講座」を実施し、地域住民を対象に学習情報・機会の提供を行った。

回 数 年間138回
（含：おとなほくえい塾38回、認知症予防セットメニュー24回、貸出DVD12回）

会 場 各自治会公民館等

参 加 者 延べ2,108人
（含：おとなほくえい塾493人、認知症予防セットメニュー222人、貸出DVD208人）

年度	R5	R6	R7
回数	117回	143回	138回
参加者	1,983人	2,129人	2,108人

【成果】 毎年のメニューの見直しで住民ニーズにあった講座を提供することができている。4段階評価でマイナス評価が無く、約8割が最高評価と満足度も高い。また、自治会やいきいきサロン等の各種団体の活動が活発な傾向も続いており、目立った減少もなかった。

⑤社会教育関係団体活動費補助金事業 130千円

社会教育関係団体の活動に対し補助した。 ・町婦人会（130,000円）

【成果】 団体が自主的に企画立案する活動や町行事、地域行事等に協力し参加する活動、研修会などに補助し、会員の資質向上につながった。

⑥子どもほくえい塾事業 716千円

- ・放課後子ども教室推進事業「子どもほくえい塾」（国・県・町それぞれ1/3負担）
放課後や休日を活用した子どもたちの体験活動を地域住民の協力で実施した。
- ※平成21年度より、NPO法人まちづくりネットへ事業実施を委託。

年度	R5	R6	R7※
回数	108回	110回	100回
参加者	1,907人	1,717人	855人
ボランティア・保護者	880人	1,088人	514人

※R7こども公民館まつりは分館解体工事のため未開催

・放課後子ども総合プラン運営委員会の開催 2回

放課後子ども総合プランに基づき、放課後子ども教室、放課後児童クラブ、両事業の効率的な運営、実施を図るため運営委員会を開催した。

【成果】 放課後子ども教室では、多くの地域の方々の協力を得て、子どもたちが地域で過ごす土日や夏休み等に様々な活動を実施し、子どもたちが安全に過ごせる居場所づくりに資することができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 成人式費	654千円	609千円

①成人式事業 609千円

社会の形成者として、良き成人となる新成人の門出を祝し、自ら生き抜こうとする意欲を促した。

令和8年成人式～二十歳の集い～

期 日 令和8年1月3日（土）
会 場 北条農村環境改善センター
内 容 式典、恩師激励及び新成人決意表明
記念品贈呈、記念写真撮影



令和8年成人式～二十歳の集い～

	R5	R6	R7
対象者	158	169	140
出席者	118	117	94
出席率	74.7%	69.2%	67.1%

【成果】 二十歳の集いという一つの人生の節目となる場で祝福する機会を設け、新たなスタートを祝うとともに、社会の一員である自覚を高めることができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 文化費	1,112千円	1,101千円

①青少年劇場巡回公演委託事業 1,035千円

小学生及び中学生を対象に劇団等を招き、児童・生徒が持つ創造力や豊かな感性、情操等を養うため、優れた芸術を鑑賞する機会を提供した。県事業との調整が合わない場合は他の事業の情報提供を行った。

学校名	事業名	演目
北条中	児童生徒を対象とした文化芸術事業	「弦楽アンサンブルコンサート」 鳥取チェンバーオーケストラ
北条小	児童生徒を対象とした文化芸術事業	妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」 劇団 影法師
大栄中	文化庁学校巡回公演	管打楽器アンサンブルの七変化 アンサンブル・ルヴァン
	学校独自鑑賞事業	スチールパンカリビアンコンサート
大栄小	文化芸術鑑賞事業	『ピアノカの魔術師』公演 (株) サウンドポケット



妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」

【成果】 本物の芸術に触れる機会を提供したことにより、芸術への関心を高め豊かな感性や情操を養うことができた。

②北栄文化回廊事業 66千円

メイン期間 令和7年11月3日（月・祝）～11月15日（土）

北条農村環境改善センターで開催される「北栄町美術展」の開催期間を軸に、北栄みらい伝承館、北条支所に文化イベントを集結し様々な形で楽しみ回遊できる文化エリアを提供した。

イベント名称等	場 所	人 数
北栄町美術展（11/3～15）	北条農村環境改善センター	627人
町制施行20周年記念特別企画展 「北栄町の文化財」 （10/1～11/16）	北栄みらい伝承館	249人
お茶席（11/3）	北条支所内 （北条ふるさとまつり）	120人
ものづくり体験（11/3）	北条支所内 （北条ふるさとまつり）	45人
生涯学習課関係 計		1,041人

※期間中来館者数

【成果】 複数の展示やイベントを集中的に行うことで、多くの方に「北栄文化」を感じ取っていただく機会を提供できた。

また、北条ふるさとまつりにあわせて実施したお茶席では、吉田宗美社中・子ども北栄塾茶道教室のみなさんがお点前を披露いただき、茶道という日本文化を体験していただく機会につながった。



お茶席の様子

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 文化財保護対策費	7,582千円	7,254千円

①文化財保護対策事業 7,178千円

北栄町文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の活用につながる講座の開催やパンフレットの作成を行うとともに町内に存在する指定文化財等の適正な維持、管理が行えるよう支援した。また、国指定重要文化財の齋尾家住宅の限定公開を2回実施し、貴重な文化財を身近に感じられる機会を提供した。齋尾家住宅消防設備新設に際して、補助を行った。

また、特別天然記念物コウノトリの保護にも努めた。

- ・文化財保護委員会の開催 3回
- ・齋尾家住宅限定公開 2回（12月、3月）
- ・国特別天然記念物「コウノトリ・オオサンショウウオ」の保護
- ・各種開発事業との調整

【成果】 県指定有形文化財であった齋尾家住宅が令和7年10月25日に国重要文化財指定の答申を受け、令和8年1月15日に正式に国指定重要文化財となり、これを記念して12月、3月に限定公開を実施し、貴重な文化財を見学することにより、町の文化財に対する関心が深まった。

特別天然記念物コウノトリが人工巣塔で初めて営巣し、3羽が孵化、兵庫県立コウノトリの郷公園の協力を得て6月に足環付を実施するとともに、7月に愛称を募集、10月に決定し天然記念物の保護と共に文化財に触れる機会の創出につながった。

②由良台場・六尾反射炉発信、連携事業 76千円

北栄町地域財産発掘調査委員会を立ち上げ、六尾反射炉跡の発掘調査に係る意見・調査指導を受けるとともに、文化庁調査官の調査指導を受けた。

【成果】 発掘調査委員会では、六尾反射炉跡での調査成果に対しての意見や調査指導を受け、次年度以降の調査方針を決定することができた。また、指導助言をもとに六尾反射炉跡に係る文献調査及び関連民俗資料調査を実施することができ、今後の調査成果をまとめるうえでの資料を蓄積できた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額																																								
		目	7 歴史民俗資料館費	10,387千円	10,295千円																																								
①歴史民俗資料館管理事業 5,383千円																																													
・ 玄関扉・階段タイル修繕 168 千円																																													
・ 天保地続地図デジタル化 1,164 千円																																													
・ 警備、清掃、消防設備委 390 千円																																													
・ 鳥取県ミュージアムネットワーク会議1回、研修会1回																																													
・ 美術品等寄贈 4件（北栄町指定有形文化財1点、絵画3点、道具2点）、寄託1件（北栄町保護文化財1点）																																													
【成果】 町民に身近な文化展示施設として適正な管理や資料収集ができた。																																													
②歴史民俗資料館展示事業 4,911千円																																													
歴史民俗資料館運営委員会の開催 2回																																													
<table><tr><td>期間</td><td>開館日数</td><td>事業内容</td><td>入館者数</td></tr><tr><td>4/12～5/18</td><td>32</td><td>山本隆博 絵画展</td><td>927人</td></tr><tr><td>6/3～7/13</td><td>36</td><td>松本必明 遺作展</td><td>547人</td></tr><tr><td>7/29～9/15</td><td>43</td><td>大栄小学校展</td><td>542人</td></tr><tr><td>10/1～11/16</td><td>41</td><td>北栄町の文化財</td><td>689人</td></tr><tr><td>12/13～2/1</td><td>39</td><td>昔の生活道具</td><td>288人</td></tr><tr><td>2/21～3/29</td><td>32</td><td>谷本家文書展</td><td>394人</td></tr><tr><td colspan="3">企画展小計</td><td>3,387人</td></tr><tr><td>4/1～3/31(上記除く)</td><td>73</td><td>コレクション展（常設展示）</td><td>283人</td></tr><tr><td colspan="3">総入館者数</td><td>3,670人</td></tr></table>						期間	開館日数	事業内容	入館者数	4/12～5/18	32	山本隆博 絵画展	927人	6/3～7/13	36	松本必明 遺作展	547人	7/29～9/15	43	大栄小学校展	542人	10/1～11/16	41	北栄町の文化財	689人	12/13～2/1	39	昔の生活道具	288人	2/21～3/29	32	谷本家文書展	394人	企画展小計			3,387人	4/1～3/31(上記除く)	73	コレクション展（常設展示）	283人	総入館者数			3,670人
期間	開館日数	事業内容	入館者数																																										
4/12～5/18	32	山本隆博 絵画展	927人																																										
6/3～7/13	36	松本必明 遺作展	547人																																										
7/29～9/15	43	大栄小学校展	542人																																										
10/1～11/16	41	北栄町の文化財	689人																																										
12/13～2/1	39	昔の生活道具	288人																																										
2/21～3/29	32	谷本家文書展	394人																																										
企画展小計			3,387人																																										
4/1～3/31(上記除く)	73	コレクション展（常設展示）	283人																																										
総入館者数			3,670人																																										
<table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>入館者数（人）</td><td>3,058</td><td>2,617</td><td>3,670</td></tr></table>							R5	R6	R7	入館者数（人）	3,058	2,617	3,670																																
	R5	R6	R7																																										
入館者数（人）	3,058	2,617	3,670																																										
【成果】 自然や文化、歴史等の展示を通じて、多くの方に北栄町の文化等について触れていただく機会を設けることができた。																																													
また、町制施行20周年を記念し開催した企画展「北栄町の文化財」においては、普段見ることのできない文化財を一堂に集めて紹介したほか、特別講演会やワークショップなども実施し、町の歴史や文化への理解を深めることができた。																																													
款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額																																								
		目	9 町内遺跡発掘調査費	2,559千円	2,558千円																																								
①町内遺跡発掘調査事業 2,558千円																																													
町指定史跡六尾反射炉跡の内容確認調査及び開発行為に伴う試掘調査（国庫補助事業）																																													
・ 場所 北栄町六尾、北栄町妻波、北栄町北尾																																													
・ 状況 六尾反射炉跡において、水路以外の関連遺構の確認調査行った。岡谷遺跡(妻波)では、ため池改修に伴う土取り場工事に伴う試掘調査を実施した。北尾堤前遺跡(北尾)では北条川改良工事に伴い試掘調査を実施した。																																													
【成果】 六尾反射炉跡では、水路以外の関連建物跡を初めて確認することができた。11月には現地説明会を実施し、調査成果を周知するとともに町内文化財に触れる機会の創出につながった。																																													
岡谷遺跡では、新たに古墳時代前期の竪穴建物跡、古墳2基を確認することができ、当該範囲は土取り工事箇所から外すことができた。																																													
北尾堤前遺跡の試掘調査では、北条川左岸で中世段階の耕作に係る遺構遺物の他に、縄文時代晩期の遺物を確認することができた。																																													
試掘調査の成果を受け、令和8年度に工事範囲で本調査が行われる予定。																																													

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 保健体育総務費	65,648千円	63,997千円
①保健体育総務事業 43,696千円					
<div>・北栄町スポーツ推進委員（23人） 地域の団体等に対するニュースポーツの指導、町社会体育事業への運営協力等を通して、生涯スポーツを推進した。</div> <div>《主な活動内容》 協議会開催 4回 体力測定・ミニ体力測定の実施 8月23日ほか計4回 北栄町駅伝競走大会の運営協力 11月9日 元旦マラソン&ウオーキング大会 1月1日 東伯郡スポーツ推進委員連絡協議会研修会 ほか ニュースポーツ体験教室 10月26日ほか計3回</div> <div>・北栄町スポーツ表彰 本町のスポーツ・レクリエーションの発展のため、功績があった者並びに優秀な成績を収めた選手及び団体248人を表彰した。</div> <div><内訳> 体育功労賞1人、優秀指導者賞2人、スポーツ最優秀賞4人、スポーツ優秀賞9人、 スポーツ敢闘賞146人、スポーツ奨励賞86人</div> <div>・社会体育施設関係 大誠体育館を解体し、用途廃止した。（R6繰越事業）</div> <div>【成果】 体力測定を実施し、町民の健康づくりや体力向上への意識啓発に努めたほか、ニュースポーツ体験教室を通じて、幅広い世代がニュースポーツに親しむ機会を提供した。 北栄スポーツクラブ主催で開催される北栄町駅伝競走大会や元旦マラソン&ウオーキング大会の運営に協力した。特に、駅伝競走大会は町制施行20周年を記念し、町内を横断するコースで開催され、多くの町民に見ていただくことでスポーツを通じて町の一体感を高めることが出来た。 また、スポーツ大会等で優秀な成績を収めた個人を表彰することで競技意欲を向上させ、スポーツ振興に繋げた。</div>					
②保健体育総務関係負担金事業 550千円					
<div>社会体育に関する協議会等への負担金</div> <div>・郡体育協会負担金 ・県スポーツ推進委員協議会負担金 ・郡スポーツ推進委員連絡協議会負担金 ・全国スポーツ推進委員連合普通会員会費</div>					
③高校総体開催事業 331千円					
令和7年度全国高等学校総合体育大会倉吉市・北栄町実行委員会負担金					
④体育施設事業 19,420千円					
<div>社会体育施設関係</div> <div>・大誠体育館解体工事後の現地影響調査を行い、2件補償した。 ・大栄野球場の照明を修繕した。 ・大栄ふれあい会館の照明をLED化し、町内の体育館は全てLED照明となった。 ・B&G海洋センターの換気設備（集合ファン）とラインポンプを修繕した。 ・大栄野球場多目的トイレの扉を修繕した。 ・北条小学校体育館にスマートロックを設置した。</div> <div>【成果】 社会体育施設の設備を更新することにより、適正管理を図り利用者の利便性の向上と施設の長寿命化を図った。</div>					

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 保健体育振興費	45,671千円	43,931千円

①保健体育振興事業 1,060千円

北栄町文化・スポーツ全国大会等出場奨励金

県又は県中部の代表として県外のスポーツ大会又は文化芸術に関する全国大会等に出場する町内の小中学生に対し、参加に要する経費の一部を補助した。

利用実績：20件

【成果】 中国、全国規模の大会に出場する者に補助することにより、町民のスポーツ競技力の向上と経済的負担の軽減につながった。

②北栄スポーツクラブ事業 42,794千円

一般財団法人北栄スポーツクラブに指定管理者として町内社会体育施設の管理を委託するとともに、主な社会体育事業の実施を補助事業として行った。

補助事業

各種スポーツ大会、スポーツ少年団、スポーツグランプリ表彰ほか

指定管理施設

北条体育館・大栄体育館・北条ふれあい会館・大栄ふれあい会館・北条野球場・大栄野球場・北条運動場・大栄運動場・B&G海洋センター

年度	R5	R6	R7
全施設延べ利用人数	167,240	168,139	178,542
スポーツクラブ会員数	1,279	1,213	1,197

【成果】 各種スポーツ大会の開催を通じて町民の健康増進を推進し、また、その結果をスポーツグランプリ表彰において顕彰することで、競技意欲の向上や地域の活性化につながった。

北栄スポーツクラブの会員数は近年おおむね横ばいで推移しているが、施設の利用者は増加しており、参加者数が最も多い「健康運動教室」は高い評価を得ている。

こうした取組を通じて、町民が生涯にわたり豊かで活力ある生活を営むための「だれでも・いつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を行うことができた。

③ウォーキングのまち北栄町推進事業（歴史探訪ウォーク） 63千円

各地区に残る文化財を巡り身近に文化財に触れ、北栄町の歴史に関心を持てるようにするとともに、健康増進につなげるウォーキングを実施した。

歴史探訪ウォーク（年2回 延67人参加）

【成果】 歴史探訪ウォークでは、4月に六尾反射炉跡から由良宿地内を經由し史跡由良台場までを巡るコース、11月に土下古墳群を巡るコースで地域内の文化財の解説を行い、町内の歴史や文化財を身近に感じてもらうことができた。

④訪問型ニュースポーツ体験事業 14千円

参加者の希望する身近な場所にスポーツ推進委員が出向き、希望する種目を指導することによりレクリエーション的な感覚で楽しみながらニュースポーツを体験し、運動に親しむきっかけとした。

年度	R5	R6	R7
回数	11	15	9
訪問した委員	35	41	27

【成果】 自治会のいきいきサロンをはじめ、地域の親子会等にも出向き、スポーツ推進委員の指導のもとニュースポーツを体験していただき、幅広い年齢層を対象に生涯スポーツ人口の増加に向けた取組が実施できた。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 すいか・ながいも健康マラソン大会費	20,809千円	20,165千円

①すいか・ながいも健康マラソン大会事業 20,165千円

参加申込者数 4,217人

参加記念品：名探偵コナンのイラスト入りオリジナルTシャツ

年度	R5	R6	R7
参加申込者	4,046人	4,183人	4,217人

【成果】 北は北海道、南は沖縄までの計38都道府県から参加いただき、本町の文化・産業・農業を幅広くPRし、魅力ある町づくりを推進することができた。また、本年は町制施行20周年を記念し、「ミスター駅伝」で知られる岡本直己さんをゲストランナーに迎え、ランナーのみなさんに大変喜んでいただき、大会を盛り上げることができた。



款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 人権推進費	2,956千円	2,337千円

①人権対策関係負担金事業 284千円

- ・県人権文化センター負担金
- ・部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金
- ・東伯郡同和对策協議会負担金
- ・とっとり被害者支援センター負担金

②人権啓発活動事業 1,797千円

小学校に花の苗・プランター等を贈呈し、児童が花を育てる中で、命を大切にしたいや協力する心を育むことを目的として「人権の花運動」を行った。

また、北栄町人権教育・啓発推進協議会に人権啓発事業の一部を委託し、じんけんフェスティバルや各種大会等へ参加した。

〔人権の花運動〕

期 日 10月6日、10月23日

場 所 大栄小学校、北条小学校

内 容 花の苗・プランター等を贈呈

参加人数 児童68人（大栄小13人、北条小55人）
人権擁護委員6人

じんけんフェスティバル2025

〔北栄町じんけんフェスティバル2025〕

期 日 12月6日（土）

内 容 演題： 「災害と人権 ～自助・互助・協働のまちづくり～」

講師： 正木 明氏（気象予報士、防災士）

参加人数 224人

〔主な大会派遣〕

大会名	開催場所	参加者数
2025年度部落解放・人権要求第1次中央集会	東京都	1人
第50回部落解放・人権西日本夏期講座	沖縄県	1人
第40回人権啓発研究集会	群馬県	3人
第50回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会	鳥取市	27人
部落解放研究第58回全国集会	宮崎県	2人
部落解放第57回全国高校生集会	福岡県	2人
第46回全国人権保育研究集会	熊本県	2人
第76回全国人権・同和教育研究大会	兵庫県	4人

機関紙「北栄町人権教育・啓発推進協議会だより」を3回発行。（8月、12月、2月発行）

【成果】 人権を学ぶ会とテーマを統一し、年間を通して啓発ができた。参加者アンケートでは「講演はとても分かりやすいもので良かった」、「自助、協働、公助を振り返ることができて大変良かった」等の感想が寄せられ、91%の方が満足のいく内容だったと回答した。

③人権擁護委員事業 256千円

地域において人権意識を広めるとともに、人権擁護のための相談を行った。また、鳥取県人権擁護委員連合会等に対し負担金を交付し、活動を支援した。

人権擁護委員 6人

(主な活動内容)

- ・特設人権相談(町内月1回)
- ・特設人権相談(じんけんフェスティバル)
- ・事業所訪問(24事業所)

鳥取県人権擁護委員連合会等負担金

【成果】 地域住民に対し人権意識の普及と人権相談を通じて人権擁護に資することができた。



事業所訪問(人権週間)

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 隣保館費	13,319千円	12,692千円

①隣保館管理運営事業 11,603千円

町全体を対象に人権啓発のための情報発信、住民交流の場として、人権課題解決のための各種事業や相談事業などを行い、福祉の向上につながる取組を実施した。

事業名		R5	R6	R7
事業	隣保館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
	人権保育・教育担当者会	3回	3回	3回
	分かりやすいじんけんの話	6回	6回	6回
	同和問題現地研修	3回	4回	2回
	習字教室	24回	24回	24回
	ほくほく食堂	3回	3回	4回
	おしゃべりサロン	12回	12回	12回
相談件数		86件	31件	34件
施設利用者数		2,851人	2,864人	3,258人

【成果】 人権啓発講演会「分かりやすいじんけんの話」により人権に関する認識を深めたり、教養・文化教室やおしゃべりサロンの開催等により地域住民相互の交流・理解を図ることができた。



分かりやすいじんけんの話

②隣保館関係負担金事業 70千円

鳥取県隣保館連絡協議会負担金

③隣保館運営審議会(児童館運営委員会も兼ねる)事業 33千円

隣保館運営審議会兼児童館運営委員会 2回

【成果】 「ほくほくプラザ(北栄人権文化センター)」の事業実施状況や事業計画などを説明し、意見を伺うことによって事業実施の充実を図ることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 児童館費	169千円	169千円

①児童館管理運営事業 159千円

児童に健全で安全な遊びの場と体験事業を提供し、健康の増進と情操を豊かにする取組を行った。

主な事業等	R5	R6	R7
児童厚生員	3人	3人	3人
児童館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
体験教室（自然体験含）	10回	9回	8回
創作教室	2回	1回	4回
科学実験	1回	0回	1回
工作・木工教室	3回	2回	1回
お魚教室	1回	1回	1回
絵本の読み聞かせ	12回	12回	11回
職場訪問（職場体験教室）	3回	4回	2回
施設利用者数	7,574人	10,810人	9,529人

【成果】 地域との連携を深めながら遊びと体験を通じて、児童の健全育成に貢献した。



お魚教室

②児童館関係負担金事業 10千円

・鳥取県児童館連絡協議会負担金

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 人権教育費	32,811千円	32,397千円

①人権を学ぶ会事業 545千円

自治会単位で人権研修を開催。様々な人権問題や地域の課題について地域住民が一緒に考え認識を深めた。また、円滑な会運営を行うために推進協力員並びに地区推進員を対象に事前協議・総括・研修等を行った。

・人権を学ぶ会

項 目		R5	R6	R7
人権を学ぶ会(自治会対象)	実施回数	52回	58回	62回
	延参加者	818人	822人	901人
人権を学ぶ会(高齢者対象)	実施回数	1回	2回	2回
	延参加者	11人	28人	25人

・各種会議並びに研修会

項 目		R5	R6	R7
人権教育推進協力員会議	実施回数	3回	3回	3回
	延参加者	39人	37人	37人
人権教育地区推進員会議	実施回数	2回	2回	2回
	延参加者	147人	153人	167人

【成果】 身近に暮らす地域住民が人権問題等を共通認識することにより、一人では踏み出しにくい「人権尊重の行動」につなげることができた。

②ほくほクラブ事業 385千円

小・中学生の希望者を対象に、一人ひとりの興味・関心を起点に、人権を基盤とした探究的な学びを通じて、主体性・対話力・表現力を育む取組みを行った。

項 目		R5	R6	R7
小学生	実施回数	17回	19回	36回
	参加者	6人	6人	10人
中学生	実施回数	24回	22回	23回
	参加者	4人	4人	11人



体験活動(海岸清掃活動)

【成果】 令和6年度までの人権学習会事業から名称及び活動内容をリニューアルし、人権学習だけでなく、探求・体験活動やそのふりかえりを通じて、町を知ることや自分の考えを持ち表現する力、お互いの考えを大切にする気持ちを育むことができた。

③人権教育推進員設置事業 3,377千円

人権教育推進員（1人）を配置し、町民や町内事業所等に対して人権研修の計画作成支援や講師を努めた。

項 目		R5	R6	R7
人権教育事業所研修 （人権教育推進員）	実施回数	6回	7回	7回
	延参加者	135人	211人	238人
人権教育事業所研修 （事業所自主研修）	実施回数	3回	3回	2回
	延参加者	117人	129人	66人
人権教育職員研修 （北栄町役場）	実施回数	5回	5回	5回
	延参加者	262人	293人	257人

【成果】 各所における人権研修の実施をしやすくし、多くの人の研修参加を通して人権尊重のまちづくりを推進することができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 公民館費	156,999千円	152,168千円

①中央公民館管理事業 17,639千円

- ・ 公民館修繕工事 3,410 千円
- ・ LED照明設置工事 10,516 千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
開館日数	359日	359日	359日
利用者数	18,414人	20,364人	21,813人

【成果】 適切な点検、維持管理を行い、誰もが安心して気軽に集い学べる生涯学習の拠点施設として、学びの場を提供し、仲間づくり、学びの推進ができた。

②公民館運営事業 26,238千円

〔中央公民館運営〕

すべての町民が心豊かで健康的、文化的な生活を送るための生涯学習、文化活動の拠点として効果的に施設利用ができるよう学習環境を整備し、適正な運営を行った。

〔中央公民館大栄分館管理委託〕 16,761千円

大栄分館の管理運営をNP0法人まちづくりネットに委託した。

中央公民館大栄分館利用実績

年度	R5年度	R6年度	R7年度
開館日数	359日	359日	359日
利用者数※	21,892人 (21,361人)	23,601人 (25,307人)	17,698人 (18,106人)

※（ ）内は大栄こども学級利用者等を別掲

【成果】 民間活力の活用により、すべての町民を対象に健康的、文化的な生活を送るために必要な町民の学びと地域づくり・人づくりの推進を図ることができた。なお、大栄分館立替工事のため、12月より大栄分館事務所は図書館内の「ギャラリーゆらり」に移転し、公民館活動を継続した。

③公民館講座事業 1,009千円

ニーズが多様化する中、町民の生涯学習への意欲の向上を促すとともに、住民相互がつながりを深めながら仲間づくりの輪を広め、心の豊かさや健康的・文化的な生活の向上、教養の向上をめざし、公民館講座を行った。

〔シニアクラブ（高齢者教室）〕

おおむね60歳以上の高齢者を対象に、「まなび・よろこび・仲間とともに」を合言葉に、学習講座を5月～3月に開催し、生涯学習を推進した。

学習別会員数

年度	R5年度	R6年度	R7年度
総合学習	39人	45人	45人
パソコン	6人	7人	6人
ニュースポーツ	45人	43人	39人
歌 唱	20人	15人	19人
習 字	10人	10人	8人
フラダンス	7人	4人	3人
絵てがみ	10人	6人	7人
食を楽しむ	7人	8人	8人
絵 画	6人	4人	5人



シニアクラブ 開講式

学習別参加者

内 容		R5年度		R6年度		R7年度	
総合学習		8回	延べ164人	8回	延べ235人	8回	延べ257人
コース別学習		10回	延べ607人	10回	延べ673人	10回	延べ591人
全体学習	開講式・講演	1回	57人	1回	76人	1回	67人
	ニュースポーツ交流会	1回	30人	1回	51人	1回	39人
	野外学習	2回	47人	2回	34人	2回	49人
	閉講式・講演	1回	40人	1回	54人	1回	58人

〔青少年・成人対象講座〕

青少年や成人を対象に、地域課題の解決や多様な学習を通じた仲間づくりの機会として各種講座を実施し、参加者の輪を広げた。

内 容		R5年度		R6年度		R7年度	
青少年対象講座		17回	347人	16回	260人	13回	154人
成人対象講座		22回	314人	21回	258人	35回	490人
民芸実習館活用講座		16回	126人	14回	113人	14回	97人

【成果】 予定通りの講座を開催することができ、青少年から高齢者までの幅広い年代に対し、仲間とともにつどい、まなぶ環境づくりが推進できた。

④北栄文芸編集・発刊事業

993千円

町民などの幅広い年齢層において文芸に親しみ、文芸の芽を育む場として文芸誌を発刊するとともに、広く「文芸」に触れ合う場として公民館ロビーや自治会公民館、町内金融機関などに文芸誌を配置し町民に周知した。

〔発刊実績〕 (R7)

発刊回数	編集委員会	1回あたり発行部数
4回	5回	300部

※町制施行20周年記念号は450部発行

【成果】 随筆や川柳、短歌など小中高生も含めた町民に幅広く作品を募集し、文芸誌を発行。町内金融機関など町内の各所に配置することにより、北栄町内の各所で文芸に親しむ環境を整えることができた。

⑤展示・鑑賞・発表経費事業

1,976千円

〔第21回北栄町美術展〕

北栄町の文化・芸術活動の発展のため、美術展実行委員会を組織し、日本画、洋画、書道など13部門における文化・芸術活動者の創作活動の発表と鑑賞の機会を設け、町民の文化意識の高揚を図った。【開催日：令和7年11月3日(月・祝)～15日(土)】

出展状況

項目	R5年度	R6年度	R7年度
	出展点数	出展点数	出展点数
日本画	6点	5点	6点
洋画	17点	18点	15点
デザイン	2点	6点	5点
書道	30点	28点	33点
彫刻	0点	1点	0点
版画	8点	7点	8点
写真	18点	19点	18点
工芸	19点	21点	21点
ちぎり絵	9点	7点	8点
切り絵	7点	8点	8点
俳画	0点	1点	0点
絵手紙	9点	8点	8点
和紙あかり	10点	12点	6点
計	135点	141点	136点



美術展 講評

〔公民館まつり〕

公民館および自治会公民館等で活動するあらゆる個人・団体の成果発表の場として、文化団体協議会と共同開催し、高齢化に伴う開催の困難さの解消や、公民館まつりでの、体験コーナーの充実を図った。

開催日：作品展 令和7年6月28日（土）～7月6日（日）

芸能発表会 令和7年7月6日（日）

〔公民館まつり展示・発表状況〕

年度	R5年度	R6年度	R7年度
作品展	—	25部門318点	27部門319点
芸能発表会	—	34組107人	35組90人



芸能発表

〔ロビー展〕

町文化団体協議会加盟団体による主体的運営の定着を図るとともに、非加盟団体の展示活動や、町や中央公民館事業の発表展示を行い、町民に幅広く文化・芸術活動などの観賞機会及び情報の提供を行った。

【成果】 美術展では、文化団体との連携や文化教室参加者への啓発などにより、地域の文化・芸術活動者が出展し、日ごろの取組を発表する場となった。また、住民には、芸術・文化に触れ合う貴重な場となった。

公民館まつりでは、文化団体協議会と共催し、より充実したワークショップを行い、住民に文化や芸術に触れることができた。

ロビー展は、文化団体との連携により出展の充実を図り、多くの中央公民館来館者に成果を発表し、創作意欲の向上を図るとともに多くの来館者へ文化・芸術に触れる機会を提供することができた。

⑥中央公民館大栄分館建替事業 81,214千円

大栄分館の老朽化に伴い、令和5年度に地質調査、令和6年度に基本・実施・解体工事設計を実施、令和7年度は地盤変動影響調査や解体工事等を実施した。今後、令和8年度に建築工事、令和9年度に新大栄分館のオープンを予定している。

・地盤変動影響調査委託費 4,675 千円

・大栄分館解体工事 69,958 千円

【成果】 令和4年度のほくえい未来ラボからいただいた意見や提案を設計に反映させ「交流を育む未来につながる町の拠点」をコンセプトとして建築予定。

⑦成果還元活動事業 75千円

文化教室等が作品や技術など日頃の活動で得た成果について町民に発表（還元）し、地域住民の文化教養の向上につながる取組に対し補助した。

年度	R5年度	R6年度	R7年度
団体数	21団体	24団体	22団体
延回数	27回	28回	25回

【成果】 幅広く町民に生きがいと喜びを提供するなど地域に成果を還元することができた。また、仲間と集い・学び・ふれあいながら親睦を深め、健康の増進や幸せな人生の生きがいとなる学びの活動に寄与した。

⑧町文化団体協議会補助金事業 294千円

町民の文化的な生活や生涯学習の推進を図るため、多種多様な文化教室活動の自主的で主体的な活動を支援し、美術展や公民館まつりへの文化芸術作品の出品や芸能活動発表会等の事業運営をするための活動経費の一部を補助した。

【成果】 町民の生涯学習推進と文化・芸術活動の発展に寄与した。

⑨ほくえい未来ラボ事業 578千円

北栄町の住民参画の新しい仕組みとして、学びと研究の場「ほくえい未来ラボ」を開催した。令和7年度は「新たな公民館の活用」をテーマに、新たな公民館が交流を育む未来につながるまちの拠点となるために様々な提案していただいた。

参加者：21人(5チーム)

コーディネーター：鳥取大学工学部 長曾我部まどか准教授

全体会：第1回（5/31）、第2回（6/22）、中間発表（8/10）、最終発表（10/19）

講演：奈良県三宅町 森田浩司 町長

「三宅町交流まちづくりセンターMiiMoが描く未来」（7/13）

【成果】 自らの調査に加え、専門家による講義、外部有識者によるアドバイスなどの学びの場を提供することができ、最終発表では客観的なデータ等に基づいた納得性のある提案をいただくことができた。

また、行政課題の解決に向けた過程を通じて、人づくりに資する取組ともなった。



中間発表の様子

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	8 民芸実習館費	5,667千円	5,626千円

①民芸実習館事業 5,626千円

町民が行う陶芸や油絵などの文化的創作活動が、安心・安全、かつ充実したものとなるよう施設の管理運営に努めた。

- ・民芸実習館修繕工事 1,282 千円
- ・LED照明設置工事 3,520 千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
開館日数	209日	268日	282日
利用者数	1,929人	1,959人	1,735人

【成果】 陶芸教室や木竹教室、水墨画教室、木版画教室を実施し、文化教室への新規加入促進と施設の有効活用を図ることができた。また、施設の適切な管理を行い、絵画教室等自主的なサークル活動の拠点として安全に活動していただくことができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 図書館費	66,417千円	64,709千円

①図書館管理事業 9,760千円

- ・防火シャッター等修繕費 2,067 千円
- ・パソコン保守点検委託料 1,861 千円
- ・清掃委託料 1,219 千円
- ・コワーキングスペース設置工事請負費 3,020 千円
- ・LED化工事請負費 770 千円

【成果】 必要に応じて速やかに修繕等の環境整備を実施し、来館者が安心して利用できる環境を提供した。

②図書館運営事業 18,612千円

- ・備品購入費（繰越 e-sports） 1,339 千円
- ・光熱水費 5,308 千円
- ・分室司書補助業務委託料 1,343 千円
- ・新聞記事・紙面検索サービス使用料 297 千円
- ・図書購入費（書籍・視聴覚資料等） 5,250 千円
- ・公用車購入費 2,671 千円

年度	R5年度	R6年度	R7年度
利用登録者数	14,063人	14,472人	14,578人
来館者数	58,911人	73,183人	81,106人
実利用者数	1,804人	1,828人	1,755人
貸出冊数	84,256冊	85,845冊	81,051冊
蔵書冊数	136,895冊	137,619冊	138,331冊
資料購入数	3,601冊	3,738冊	3,897冊

※北条分室、雑誌・AV資料含む

項目	R5年度		R6年度		R7年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
おはなし会	36回	249人	46回	216人	53回	233人
あたまイキイキ音読教室	6回	45人	6回	29人	6回	26人
出前講座	13回	163人	13回	177人	9回	112人

『特集・展示コーナー』

<特集コーナー>

【郷土】コナン、水木しげる、夢の図書館プロジェクト「ひらけ、ごま！」

【一般】北栄町20周年記念、追悼長嶋茂雄、小泉八雲とセツ、豊臣秀長、やなせたかし
アートを楽しもう、平和について考える

【児童】こどもの日えほん、絵本屋さん大賞、ぼうさい・ぼうはんの本、村上しいこ

<パネル展>

原爆と人間、鳥取県教育の父遠藤薫、ハートフルサービス

『絵本・紙芝居などの読みきかせ』

図書館本館・分室、こども園、子育て支援センターで実施

【成果】 資料を幅広く計画的に収集し、テーマを決めた特集やパネル展など工夫することで、町民の多様なニーズに応えることができた。

コナン関連観光客の増加に伴い、図書館来館者も増加した。また、電源タップ等を増設したことにより、居場所としての図書館利用が増えた。

実利用者数の減少に伴い貸出冊数も減少した。

図書貸出につながる選書については課題が残った。

③図書館魅力化事業

60千円

<地域とつながる図書館>

「夢の図書館プロジェクト」メンバー（有志8人）希望プロジェクトとして、ブックリサイクル、フリーペーパー作成、ゆる〜い読書会を実現した。



ブックリサイクル



ゆる〜い読書会

【成果】 「夢の図書館プロジェクト」では、町民が主体となり魅力的な図書館づくりのための企画を実施し、地域の方との交流が生まれ、図書館の魅力を発信することができた。

④絵本でつながるまちづくり事業

887千円

○読み聞かせ入門講座

期日 8月2日

場所 中央公民館

講師 児童書を楽しむ会つくしんぼ 代表 山田節子

参加者 11人



読み聞かせ入門講座

○村上しいこさん読み聞かせワークショップ&講演会

期日 11月29日

場所 役場 北条支所

演題 「本は心の架け橋」

講師 童話作家 村上しいこ

参加者 44人



村上しいこさん ワークショップ&講演会

○ブックスタート（生後7か月児対象）

赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくりと心ふれあう時間を持つきっかけとなるよう、赤ちゃん一人ひとりに絵本を手渡した。

7か月健診の際、赤ちゃんと保護者に読み聞かせを行い、数種類の中から保護者と赤ちゃんが選んだ絵本1冊を贈った。

年度	R5年度	R6年度	R7年度
対象者	86組	76組	79組
配布数	83組	67組	79組

○マタニティ・ファーストブック(母子手帳交付者)

妊娠中の母親がおなかの赤ちゃんに絵本を読んで語りかけることで、母子ともに豊かな時間を過ごし、赤ちゃんの健やかな成長を育むことを目指し、大人向けの絵本1冊と、赤ちゃんと保護者が選んだ絵本1冊の計2冊を贈った。

年度	R5年度	R6年度	R7年度
対象者	73組	90組	67組
配布数	40組	50組	48組



【ブックスタート】
絵本をバッグに入れてプレゼント



【マタニティ・ファーストブック】

【成果】 ブックスタートやマタニティ・ファーストブックにより、実際に絵本を手にとって選ぶ体験やボランティア等による読み聞かせを通して、絵本の楽しさに触れ、絵本や読み聞かせへの関心を高めることができた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
国民健康保険事業特別会計	1,772,003千円	1,609,296千円

1 国民健康保険税の収納状況

(単位：千円)

区 分	R5年度		R6年度			R7年度		
	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	388,918	99.5%	378,832	375,485	99.1%	374,985	371,440	99.1%
滞納繰越分	1,084	71.9%	2,215	1,224	55.3%	4,165	2,568	61.7%
合計	390,002	99.4%	381,047	376,709	98.9%	379,150	374,008	98.6%

2 療養諸費に係る保険者負担分の給付状況

(単位：件・千円)

区 分	R5年度		R6年度		R7年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
療養給付	56,775	1,061,526	55,120	988,451	51,517	926,725
療養費	326	5,512	275	1,964	221	2,505
審査支払手数料	—	3,595	—	3,501	—	3,105
高額療養費	2,394	162,625	2,415	158,808	2,253	142,166
高額介護合算療養費	9	106	5	72	3	40

【成果】 被保険者が医療機関を受診した際の療養諸費に対して、必要な医療給付（保険者負担分7割～8割及び高額療養費等）を行うことにより、被保険者の社会保障及び保健の向上に寄与した。

3 出産育児一時金、葬祭費等事業の状況

(単位：件・千円)

区 分	R5年度		R6年度		R7年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
移送費	1	193	0	0	0	0
出産育児一時金	6	3,000	8	4,000	3	1,500
葬祭費	21	315	26	520	24	480

4 特定健康診査受診状況

	R5年度	R6年度	R7年度
特定健診受診率	44.1%	43.3%	42.6%

(※R7は速報値)

5 国民健康保険の加入状況（年間平均） 年報数値（各年月報4月～3月報告）

区 分	R5年度	R6年度	R7年度
世 帯 数	2,113世帯	2,042世帯	1,969世帯
被 保 険 者 数	3,558人	3,393人	3,221人
介護保険第2号被保険者数	1,031人	989人	970人

R5年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		69人	422人	3人	13人	0人	8人	515人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		61人	283人	4人	21人	226人	10人	605人

R6年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		46人	417人	8人	10人	0人	13人	494人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		57人	356人	4人	31人	223人	10人	681人

R7年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		86人	372人	4人	7人	0人	12人	481人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		64人	365人	3人	20人	236人	7人	695人

6 療養の給付等の内訳 年報数値（各年月報6月～5月報告：現物給付3月診療～2月診療）

区 分	R5年度		R6年度		R7年度	
	費用額 (千円)	1人当り (円)	費用額 (千円)	1人当り (円)	費用額 (千円)	1人当り (円)
入 院	605,886	170,288	560,942	165,323	524,902	162,962
入 院 外	441,278	124,024	428,422	126,266	386,370	119,953
歯 科	89,037	25,024	78,127	23,026	74,763	23,211
調 剤	269,506	75,746	240,534	70,891	236,029	73,278
食事療養	23,224	6,527	23,032	6,788	23,059	7,159
訪問看護	5,857	1,646	7,941	2,340	12,492	3,878
合 計	1,434,788	403,255	1,338,998	394,634	1,257,615	390,441

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
介護保険事業特別会計	1,821,474千円	1,659,004千円

決算は歳入総額17億6,517万7千円、歳出総額16億5,900万4千円、実質収支額は1億617万3千円であった。

介護保険は、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病等により、要介護状態となった方に対して居宅サービスや施設サービスを提供し、それに係る費用は、被保険者（40歳以上）が納める保険料と国・県・町からの負担金・補助金・繰入金等により運営している。

介護予防の更なる推進のため、「介護予防教室」、「こけないからだ講座」等の拡充及び「地域ケア会議」を実践、ケアプランのチェックを徹底し、自立支援のための適正なサービス提供となるよう努めた。

月2回、地域包括支援センター職員を中心に、介護保険室、歯科医師、薬剤師、リハビリ専門職、栄養士などの専門職を交え、担当ケアマネ、サービス事業所職員と要支援者等のサービス提供について協議した。また、この会議を基に地域課題の検討会を実施した。



地域ケア会議のようす

【成果】 利用者一人ひとりの生活機能向上に着目し、生活の質の向上に向けた支援体制の構築につながっている。また、社会福祉協議会と地域課題を共有し、地域との関わり・連携につながっている。

	R5年度	R6年度	R7年度
対象件数	56件	55件	50件

1 認定者・要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(1) 認定者の状況

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
R6年3月末	68人	111人	135人	180人	108人	110人	72人	784人
R7年3月末	74人	103人	158人	165人	117人	92人	74人	783人
R8年3月末	69人	102人	139人	190人	118人	104人	56人	778人
※死亡者	4人	5人	13人	14人	25人	41人	48人	150人

※令和7年度中に死亡した認定者数

(2) 要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(単位：人)

申請区分		審査結果									申請取下	合計
		申請件数	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	非該当		
①新規申請		169	32	22	26	28	11	18	14	10	8	169
更 新	支援1	29	14	8	4	0	1	0	0	2	0	29
	支援2	47	3	26	11	7	0	0	0	0	0	47
	介護1	61	1	0	27	27	3	3	0	0	0	61
	介護2	60	1	3	6	30	12	7	1	0	0	60
	介護3	48	0	1	1	7	22	13	3	0	1	48
	介護4	47	1	3	0	4	7	21	10	0	1	47
	介護5	24	0	0	0	1	1	5	17	0	0	24
②小計		316	20	41	49	76	46	49	31	2	2	316
変 更	支援1・2の者	44	0	7	9	7	7	4	3	0	2	39
	介護1～5の者	60	0	0	0	2	20	18	10	0	8	58
	③小計	104	0	7	9	9	27	22	13	0	10	97
合計 (①+②+③)		589	52	70	84	113	84	89	58	12	20	582

2 地域支援事業

53,045 千円

(1) 介護予防・生活支援サービス事業 38,976 千円

●訪問型サービス

事業名	延人数	開催回数	備 考
介護予防訪問介護相当サービス	344人		

●通所型サービス

事業名	延人数	開催回数	備 考
介護予防通所介護相当サービス	730人		
筋力アップ教室北条	330人	48回	通所型サービスA
筋力アップ教室大栄	299人	48回	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	197人	48回	通所型サービスA
リフレッシュ教室	349人	48回	通所型サービスA
はつらつ！お達者教室	253人	48回	通所型サービスA
食べて！うたって！笑わー会！	340人	48回	通所型サービスA

●介護予防ケアマネジメント

事業名	延人数	備 考
筋力アップ教室北条	10人	通所型サービスA
筋力アップ教室大栄	9人	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	5人	通所型サービスA
リフレッシュ教室	9人	通所型サービスA
はつらつ！お達者教室	7人	通所型サービスA
食べて！うたって！笑わー会！	9人	通所型サービスA

●介護予防サービス計画書作成

		R5年度	R6年度	R7年度
事業所委託	件 数	1,145 件	1,182 件	1,139 件
	委託料	5,151 千円	5,477 千円	5,336 千円
包括直営	件 数	709 件	763 件	799 件

(2) 一般介護予防事業

8,524 千円

●介護予防普及啓発事業

事業名	延人数	開催回数	備考
シニアファイト教室	324人	48回	
転倒予防教室	380人	24回	
生きがいデイサービス	673人	100回	
脳活クラブ	279人	48回	
認知症サポーター養成講座	208人	6回	
介護予防講座	200人	15回	

●地域リハビリテーション活動支援事業

事業名	件数	参加人数	備考
リハビリ専門職派遣事業(個別)	24回	24人	
リハビリ専門職派遣事業(通いの場)	34回	390人	

●オレンジガーデニングプロジェクト

認知症の啓発カラーであるオレンジ色の花を楽しみながら育てて、認知症について考えるプロジェクトを実施し、認知症の啓発を図った。

協力機関	機関数	備考
介護サービス事業所	8ヶ所	高齢者と園児が交流しながら種まきを実施した。
こども園	4ヶ所	
小中学校	4ヶ所	
その他	3ヶ所	オレンジカフェなう他

(3) 包括的支援事業・任意事業 5,394 千円

①在宅医療・介護連携推進事業 13 千円

2次医療圏である中部圏域1市4町、医師会、倉吉保健所協働にて、研修会の開催や情報共有支援、社会資源マップを作成し医療・介護関係機関の連携を図った。

	延参加者	開催回数	備考
地域づくりしゅいやの会	185人	2回	

	R5年度	R6年度	R7年度	備考
退院調整率	85.9%	89.5%	91.1%	
入院時連携シート提出率	84.6%	83.3%	80.4%	

②認知症総合支援事業 4,685 千円

認知症の人とその家族、地域の人、専門職など、どんな人でも気軽に集える場としてNPO法人まちづくりネットと共催し「オレンジカフェ」を開催し、相談等に対応した。

開催回数	実人数	延件数	備考
24	95	503	送迎あり、R5～北条地区でも開催

③任意事業 696 千円

主な事業名	延人数	開催回数	備考
在宅介護者慰労事業	22人	2回	
家族介護用品支給事業	43人		給付券使用枚数。実人数7人
認知症の人と家族のつどい	60人	12回	

●ほくえい見守り安心ネット

認知症高齢者等が行方不明になった時に地域ぐるみで早期発見につなげられるよう、安心安全なまちづくりの推進を行った。

	R5年度	R6年度	R7年度	備考
協力機関登録数	41箇所	40箇所	40箇所	
事前登録者	23人	20人	30人	
GPS利用助成者	0人	0人	0人	
ほくえい見守りシール		5人	4人	

3 介護保険給付費

区 分	種 別	延件数 (件)	給 付 額 (円)
居宅（介護予防）サービス	訪問介護	558	42,664,761
	訪問入浴介護	23	1,145,772
	訪問看護	684	25,839,601
	訪問リハビリテーション	399	12,239,534
	居宅療養管理指導	217	1,511,208
	通所介護	2,081	240,234,564
	通所リハビリテーション	1,870	140,926,294
	短期入所生活介護	158	20,859,218
	短期入所療養介護（介護老人保健施設）	279	18,571,359
	福祉用具貸与	3,664	47,527,727
	福祉用具購入費	57	1,822,907
	住宅改修費	50	3,135,749
	特定施設入居者生活介護	7	1,099,935
	居宅介護支援計画	5,208	63,975,950
	計		621,554,579
地域密着型（介護予防）サービス	地域密着型通所介護	1	263,295
	認知症対応型通所介護	0	0
	小規模多機能型居宅介護	199	30,053,196
	認知症対応型共同生活介護	868	228,833,828
	計		259,150,319

施設介護サービス	介護老人福祉施設	467	129,248,028
	介護老人保健施設	1,476	453,501,015
	介護医療院	30	10,936,863
	計		593,685,906
小計			1,474,390,804
特定入所者（介護予防）サービス等	特定入所者介護サービス費	食費 859	17,535,912
		居住費 868	7,321,362
	計		24,857,274
高額介護サービス等	高額介護サービス費	2,185	27,716,525
	高額医療合算サービス費	111	3,000,310
	計		30,716,835
諸費	審査支払手数料	18,106	1,648,256
介護給付費合計額			1,531,613,169

【成果】 介護予防教室や地域ケア会議等の取組により、事業計画内での給付費の決算となった。

4 介護保険料の収納状況

(単位：千円)

区 分	R5年度		R6年度		R7年度		
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分特別徴収	338,006	100.0	335,774	100.0	345,610	345,610	100.0
現年度分普通徴収	26,509	99.2	32,286	99.3	26,710	26,509	99.2
滞納繰越分	182	99.5	144	63.5	306	84	27.3
計	364,697	99.9	368,204	99.9	372,626	372,203	99.9

5 介護保険認定状況

65歳人口・高齢化率等における年度末の状況

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
65歳以上人口（外国人含む）	5,223 人	5,206 人	5,191 人
高齢化率（65歳以上÷総人口）	36.9 %	37.3 %	37.8 %
介護認定者数（要支援＋要介護）	784 人	783 人	778 人
認定者のうち、65歳以上	777 人	774 人	767 人
認定者のうち、40～64歳	7 人	9 人	11 人
認定率（65歳以上に限る）	14.9 %	14.9 %	14.8 %
介護給付費	1,488,150千円	1,502,743千円	1,531,613千円

※住所地特例被保険者含む

介護保険の資格取得者・喪失者の状況

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
取得者 （65歳到達・転入）	250人	227人	212人
喪失者 （死亡・転出）	217人	259人	218人
増 減	33人	△32人	△6人

居宅サービス利用者の状況
(各年度の3月サービス利用者数)

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
要支援1	34人	40人	40人
要支援2	79人	76人	76人
要介護1	100人	103人	100人
要介護2	123人	106人	127人
要介護3	41人	51人	46人
要介護4	45人	34人	30人
要介護5	15人	20人	13人
合 計	437人	430人	432人

地域密着型サービス利用者の状況
(各年度の3月サービス利用者数)

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
要支援1	3人	4人	1人
要支援2	1人	0人	2人
要介護1	15人	16人	17人
要介護2	29人	26人	22人
要介護3	26人	25人	24人
要介護4	16人	14人	11人
要介護5	8人	5人	9人
合 計	98人	90人	86人

施設サービス利用者の状況
(各年度の3月サービス利用者数)

年 度	R5年度	R6年度	R7年度
介護老人福祉施設	44人	35人	41人
介護老人保健施設	100人	107人	123人
介護医療院	-	3人	3人
合 計	144人	145人	167人



オレンジガーデニングプロジェクトの様子



ほくえい介護予防フェスタ2025の様子

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
栄財産区特別会計	973千円	719千円

栄財産区に栄財産区管理会を設置し、保有財産等の適切な維持管理を行った。
管理会の開催、保有財産等は以下のとおり。

1 栄財産区管理会の開催状況

招集日	出席委員	内 容
7月23日	6人	令和6年度決算審議
12月10日	7人	令和8年度当初予算協議

2 事業等の状況

- ・栗林の管理 草刈1回（9月26日）
- ・栗拾いイベント 開催日：令和7年9月26日～10月5日、申込者数：約120人

3 財政調整基金の状況 (単位：千円)

	R5年度	R6年度	R7年度
基金残高	65,983	65,983	66,492

4 財産等の状況

(1) 栄財産区所有地

地 目	面積 (㎡)
山 林	375,529
畑 地	55,938
雑種地	1,377
原 野	623
計	433,467

(前年度末に変動なし)



東高尾地内にある栗木

(2) 保安林指定

森林の所在地	面積 (㎡)
西高尾字谷奥1798	33,854
同 1788-1	72,560
同 1788-2	20,304
同 1801-1	29,694
東高尾字奥谷773-5	57,203
同 852-1	52,555
同 852-2	15,467
同 852-3	64,794
同 852-313	10,804
同 852-317	6,014
計	363,249

(前年度末に変動なし)

【成果】 栗拾いイベントにより財産区の周知を図ることができた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
大栄歴史文化学習館特別会計	186,078千円	170,425千円

「名探偵コナン」の原作者 青山剛昌氏の生まれ育った地である鳥取県北栄町において、漫画家・青山剛昌氏にスポットをあて、青山作品の世界を解き明かし、青山剛昌ファンをはじめ、ここを訪れる人々に青山剛昌氏の魅力や人となりを紹介している。

総入館者数 254,787 人 (うち有料入館者数 239,691 人)
 入場料収入 142,510,150 円
 有料入館者(数)の内訳

種別	大人	中高生	小学生	海外団体	合計
R5	132,908人	13,576人	20,426人	3,243人	170,153人
R6	172,137人	17,205人	27,648人	3,996人	220,986人
R7	187,365人	17,264人	28,136人	6,926人	239,691人
前年比	108.8%	100.3%	101.8%	173.3%	108.5%

誘客活動 令和7年度は、各種イベントのほか、鳥取ミステリーツアーの開催を記念した、特別原画やグッズ展示のほか、入館者数が減少する時期に北栄町合併20周年を記念した「3施設周遊スタンプラリー」の開催や特別ノベルティの配布を行うことによって、繁忙期以外の集客を図った。

併せて、高速道路サービスエリア(加西、宝塚北)での広告掲出、旅行雑誌等への広告掲載に加え、YouTubeやGoogle等のSNS広告を行うことで、県外への誘客も進めた。このほか、SNS発信にも注力し、X(旧Twitter)フォロワー数は14万人を超えた。また、館内アンケートを継続して行い、入館者の動向などの把握に取り組んだ。

1 イベントの実施

4月 コナン・新一誕生日メッセージ募集
 謎解きARラリー開館18周年記念編(3月から開催)
 館公式X(旧Twitter)フォロワー13万人突破記念キャンペーン
 GWイベント

5月 青山先生&怪盗キッド誕生日メッセージ募集
 劇場版「名探偵コナン 隻眼の残像」公開記念オリジナルカードプレゼント

6月 青山先生&怪盗キッド誕生日イベント
 すいか・ながいも健康マラソン入館料半額割引

7月 夏休み体験イベント、謎解きラリー原作YAIBA編
 青山剛昌ふるさと館総入館者200万人達成記念オリジナル缶バッジプレゼント
 暑中見舞いはがき販売
 セタイイベント
 名探偵イラストコンテスト作品募集

8月 名探偵コナンまつり開催記念イベント

9月 日本海新聞主催イベント「名探偵コナン 毛利小五郎の探索記」

10月 倉吉警察署イベント
 町民無料デー
 ハロウィンイベント(タペストリー設置)
 名探偵コナン30周年軌跡展

11月 青山剛昌作品キャラクターイラスト年賀状募集
 北栄町町制施行20周年記念4種オリジナルカードプレゼント
 北栄町町制施行20周年記念「3施設周遊スタンプラリー2026」
 秋のイベント(コナン君と撮影会)

12月 クリスマスイベント
 年賀状販売

1月 青山剛昌先生と話そうDAY2026
 お正月イベント(体験イベント・カレンダープレゼント)

2月 館公式X(旧Twitter)フォロワー14万人突破記念キャンペーン

3月 開館19周年記念イベント

2 館内展示の入れ替え、新設

通年	青山剛昌名探偵コナン特別原画展2025-2026 第1期～第6期
4月～6月	YAIBAアニメ化決定ビジュアルグッズ展示
4月～6月	劇場版「名探偵コナン100万ドルの五稜郭（みちしるべ）」原画展示
4月～6月	YAIBAアニメ化決定ビジュアル原画展示
5月～9月	ベルツリー急行殺人事件に関する原画展示
7月～11月	「ミステリーツアー」に関するグッズ展示
7月～11月	「ミステリートレイン」編の扉絵ラフの原画展示
12月～1月	年賀状2025年イラスト原画展示
1月～3月	名探偵コナンカフェ2022・名探偵コナン公式アプリ8周年記念イラスト原画展示
1月～5月	劇場版「名探偵コナン隻眼の残像（フラッシュバック）」グッズ展示

3 館内設備の整備

館内設置コナン通り案内看板2種貼替
Wi-Fi設備更新
AED更新
雨漏り修繕調査

【成果】

令和7年度は年間入館者数としては最多となる254,787人（有料入館は239,691人）を記録した。

- ・入館者200万人達成記念による限定缶バッジのプレゼントや名探偵コナン鳥取ミステリーツアー開催に関連した原画やグッズ展示などにより、満足度が向上し、リピーターの確保につながった。
- ・繁忙期の前売券販売により、入館待ち時間が短縮され、入館者の安全性確保や周辺観光の効率化につながった。
- ・繁忙期以外での特別展示やノベルティ配布、北栄町町制施行20周年関連イベント等により、9月・1月を除く全ての月で前年度の入館者数を上回る結果となった。
- ・Xに館の情報や青山先生の作品に関するものだけでなく、町の様々な魅力を伝える投稿を行った結果、多くの方の関心を集めることができ、フォロワー数を14万人に伸ばせた。
- ・入館者の動向把握のため館内アンケートを行い、6,578件の回答を集計、分析することで、誘客に反映できた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
後期高齢者医療事業特別会計	285,031千円	283,559千円

医療給付などの運営主体は後期高齢者医療広域連合が行い、町は保険料の徴収や資格の取得・喪失など、主に窓口業務を担当した。

1 後期高齢者医療保険料の収納状況

(単位：千円)

区 分	R5年度		R6年度			R7年度		
	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	165,097	99.9%	197,796	197,741	99.9%	215,075	214,706	99.8%
滞納繰越分	17	89.4%	650	603	92.7%	103	3	3.1%
合計	165,114	99.6%	198,446	198,344	99.9%	215,178	214,709	99.8%

2 被保険者数

区 分		令和6年 3月末現在	令和7年 3月末現在	令和8年 3月末現在
被保険者数	65歳 ～ 69歳※	13人	13人	8人
	70歳 ～ 74歳※	12人	14人	17人
	75歳 ～ 79歳	1,009人	1,104人	1,243人
	80歳 ～ 84歳	679人	705人	665人
	85歳 ～ 89歳	541人	510人	513人
	90歳 ～ 94歳	355人	346人	347人
	95歳 ～ 99歳	125人	116人	120人
	100歳 ～	21人	19人	23人
	計	2,755人	2,827人	2,936人

※65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた人

3 療養の給付等の内訳

区 分	R5年度		R6年度		R7年度	
	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)
入 院	1,339,472	486,197	1,678,965	593,903	1,667,925	568,094
入院外	640,256	232,398	645,838	228,453	695,251	236,802
歯 科	66,833	24,259	70,916	25,085	76,831	26,168
調 剤	403,163	146,339	387,710	137,145	405,814	138,219
食事療養	61,188	22,210	77,048	27,254	77,595	26,428
食事療養歯科	0	0	27	9	0	0
訪問看護	24,863	9,025	23,110	8,174	18,428	6,276
合 計	2,535,775	920,428	2,883,614	1,020,023	2,941,844	1,001,987

【成果】 被保険者が医療機関を受診した際の療養諸費に対して、必要な医療給付を行うことにより、被保険者の社会保障及び保健の向上に寄与した。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計（収益的支出）	246,751千円	217,545千円

水道事業の概要

年間配水量は、1,872,101m³で、前年度に比べ 1.5%の減少、年間給水量は、1,426,998m³で、前年度に比べ 0.2%の減少となった。

この結果、年間有収水量率は、76.2%で、前年度に比べ 1.0ポイント増加となった。

事項	R5年度	R6年度	R7年度
年度末給水人口（人）	14,159	13,937	13,782
年度末給水戸数（戸）	5,457	5,439	5,441
年度末給水栓数（栓）	5,980	5,982	5,985
年間配水量（m ³ ）	1,878,627	1,900,259	1,872,101
年間1カ月平均配水量（m ³ ）	156,552	158,355	156,008
年間給水量（m ³ ）	1,439,307	1,429,718	1,426,998
年間1カ月平均給水量（m ³ ）	119,942	119,143	118,917
年間有収水量率（%）	76.6	75.2	76.2

1. 収益的収入

(単位：円)

事項	R5年度		R6年度		R7年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	245,970,751	90.8%	246,794,396	91.4%	244,549,827	91.8%
営業外収益	24,984,990	9.2%	23,120,833	8.6%	21,982,047	8.2%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	270,955,741	100.0%	269,915,229	100.0%	266,531,874	100.0%

2. 収益的支出

(単位：円)

事項	R5年度		R6年度		R7年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	211,480,747	90.1%	188,800,105	88.6%	202,027,757	92.9%
営業外費用	23,331,596	9.9%	24,330,384	11.4%	15,443,804	7.1%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	72,998	0.0%
計	234,812,343	100.0%	213,130,489	100.0%	217,544,559	100.0%

【成果】 安全な水を安定して供給できるよう水道施設の適切な維持管理等を行った。
老朽管の改良工事を進め、配水管耐震化率の向上に寄与した。

●水道料金 収納状況

(単位：千円)

現年	R5年度	R6年度	R7年度
調定	241,163	240,244	240,139
収納	238,499	237,862	237,849
収納率	98.90%	99.01%	99.05%
未収	2,664	2,382	2,290

(単位：千円)

滞納繰越	R5年度	R6年度	R7年度
調定	3,611	3,394	2,806
収納	2,880	2,756	2,565
不納欠損	0	0	215
収納率	79.76%	81.20%	91.41%
未収	731	638	241

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計（資本的支出）	256,418千円	192,007千円

1. 資本的收入

(単位：円)

事項	R5年度		R6年度		R7年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
工事負担金	1,980,330	5.5%	1,977,230	4.7%	10,028,615	8.1%
企業債	34,000,000	94.5%	40,000,000	95.3%	113,600,000	91.9%
計	35,980,330	100.0%	41,977,230	100.0%	123,628,615	100.0%

2. 資本的支出

(単位：円)

事項	R5年度		R6年度		R7年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	48,349,958	45.7%	50,714,658	50.7%	137,575,060	71.7%
企業債償還金	57,510,858	54.3%	49,265,329	49.3%	54,431,895	28.3%
計	105,860,816	100.0%	99,979,987	100.0%	192,006,955	100.0%

(建設改良費内訳)

○配水施設等改良費

136,597千円

配水管改良工事等

・工事請負費

117,723千円

東亀谷配水管改良工事

配水管改良工事（弓原浜工区）

配水管改良工事（松神1工区）

配水管改良工事（松神2工区）

配水管新設工事（由良宿工区）

由良宿舗装本復旧工事

みどり団地（1工区）舗装本復旧工事

国坂東舗装復旧工事

配水管新設工事
（由良宿工区）

○営業設備費

978千円

・取替量水器購入

978千円

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
下水道事業会計（収益的支出）	911,419千円	836,563千円

下水道事業の概要

処理区域内人口は、13,577人で、前年度に比べ 220人の減少、水洗化率は、94.6%で、前年度に比べ1.3ポイントの上昇となった。

この結果、年間有収水量は1,280,196㎥で、前年度に比べ 約1.7%の増加となった。

事項	R5年度	R6年度	R7年度
行政区域内人口（人）	14,246	14,039	13,838
処理区域内人口（人）	13,782	13,797	13,577
水洗化人口（人）	12,781	12,876	12,838
普及率（%）	100	100	100
水洗化率（%）	92.7%	93.3%	94.6%
年間有収水量（㎥）	1,243,710	1,258,760	1,280,196
使用料単価（円／㎥）税抜	202.5	220.7	221.4

1. 収益的収入

（単位：円）

事項	R5年度		R6年度		R7年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	279,123,733	27.4%	307,147,077	29.6%	311,749,304	29.7%
営業外収益	739,193,671	72.6%	728,891,336	70.4%	737,695,024	70.3%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,018,317,404	100.0%	1,036,038,413	100.0%	1,049,444,328	100.0%

2. 収益的支出

（単位：円）

事項	R5年度		R6年度		R7年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	723,193,315	86.6%	730,683,484	87.5%	749,601,896	89.6%
営業外費用	111,819,206	13.4%	103,958,684	12.5%	86,875,238	10.4%
特別損失	0	0.0%	24,100	0.0%	85,500	0.0%
計	835,012,521	100.0%	834,666,268	100.0%	836,562,634	100.0%

【成果】 下水道施設の事故もなく、適切な維持管理等に努めることができた。公共用水域の水質保全の確保及び住民の生活環境の改善に寄与した。

●下水道使用料 収納状況（単位：千円）

現年	R5年度	R6年度	R7年度
調定	277,464	310,305	311,735
収納	274,744	307,480	308,916
収納率	99.02%	99.09%	99.10%
未収	2,719	2,825	2,819

（単位：千円）

滞納繰越	R5年度	R6年度	R7年度
調定	3,817	3,341	3,359
収納	3,125	2,785	3,192
不納欠損	5	70	22
収納率	81.87%	83.36%	95.03%
未収	692	556	167



ポンプ場高圧洗浄清掃

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
下水道事業会計（資本的支出）	1,075,211千円	952,051千円

1. 資本的収入 (単位：円)

事項	R5年度		R6年度		R7年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
企業債	55,700,000	12.8%	36,300,000	10.5%	117,200,000	22.8%
他会計出資金	321,912,000	74.2%	300,020,000	86.8%	277,800,000	53.9%
国庫補助金	54,920,000	12.6%	6,592,000	1.9%	117,722,900	22.9%
負担金等	1,946,760	0.4%	2,738,870	0.8%	2,366,620	0.4%
計	434,478,760	100.0%	345,650,870	100.0%	515,089,520	100.0%

2. 資本的支出 (単位：円)

事項	R5年度		R6年度		R7年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	127,626,558	14.6%	77,472,259	9.7%	245,628,633	25.8%
固定資産購入費	0	0.0%	308,000	0.0%	242,000	0.0%
企業債償還金	745,084,047	85.4%	722,757,140	90.3%	706,179,900	74.2%
計	872,710,605	100.0%	800,656,869	100.0%	952,050,533	100.0%

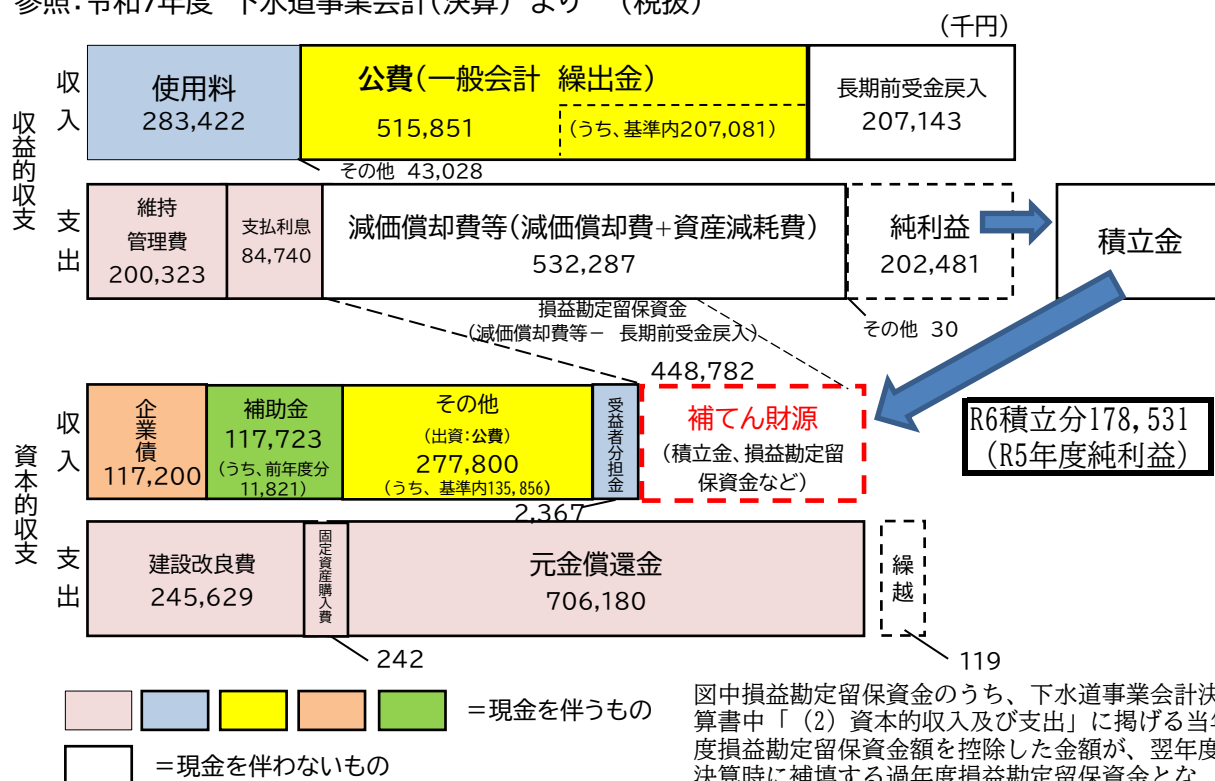
(建設改良費内訳)

- 管路建設改良費 64,228千円
- 処理場建設改良費 178,235千円
- 流域下水道建設費負担金 3,166千円



水処理コントロールセンターの更新

参照: 令和7年度 下水道事業会計(決算) より (税抜)



会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
風力発電事業会計（収益的支出）	277,593千円	247,882千円

平成17年11月の運転開始以来、約21年間にわたり町営で運営してきた風力発電事業は、令和7年度をもって町営事業を終了し、民間事業者への譲渡を決定した。

1,500kW／9基 総定格出力 13,500kW

1. 収益的収入 (単位：円)

事項	R5年度		R6年度		R7年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	456,045,805	92.6%	477,485,498	96.7%	381,978,105	96.6%
財務収益	2,551,448	0.5%	2,814,058	0.6%	5,484,165	1.4%
事業外収益	33,953,907	6.9%	13,204,022	2.7%	8,041,937	2.0%
計	492,551,160	100.0%	493,503,578	100.0%	395,504,207	100.0%

2. 収益的支出 (単位：円)

事項	R5年度		R6年度		R7年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	341,032,693	93.2%	281,466,958	91.9%	229,358,544	92.5%
事業外費用	24,946,900	6.8%	24,688,400	8.1%	18,523,800	7.5%
計	365,979,593	100.0%	306,155,358	100.0%	247,882,344	100.0%

3. 視察・見学者 15人 (3団体)

4. 年間発電量

売電実績 16,924,152kWh

(単位：kWh)

月	過去平均 売電電力量 (H17～R6) ①	年間推定 売電電力量 ②	年間売電 電力量（実績） ③	過去平均と の比較 ③/①	売電電力量 達成率 ③/②
R7.3	2,442,215	2,850,552	2,249,760	92.1%	78.9%
4	1,875,109	1,562,004	1,544,400	82.4%	98.9%
5	1,458,983	1,250,883	1,516,800	104.0%	121.3%
6	848,952	1,581,444	818,040	96.4%	51.7%
7	990,303	1,082,403	838,368	84.7%	77.5%
8	894,198	1,122,174	565,656	63.3%	50.4%
9	1,194,719	1,698,894	906,624	75.9%	53.4%
10	1,569,222	1,717,281	1,944,432	123.9%	113.2%
11	1,975,085	2,156,787	356,376	18.0%	16.5%
12	2,618,793	2,678,832	2,372,712	90.6%	88.6%
R8.1	2,439,072	3,805,380	2,072,472	85.0%	54.5%
2	2,344,882	2,425,950	1,738,512	74.1%	71.7%
年計	20,651,533	23,932,584	16,924,152	82.0%	70.7%

【成果】 風力発電施設の適正な管理を行ったことで、年間7,007tのCO₂を削減した。
また、純利益は147,621,863円となった。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
風力発電事業会計（資本的支出）	100,000千円	100,000千円

1. 資本的收入
なし

2. 資本的支出 (単位：円)

事項	R5年度		R6年度		R7年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
基金積立金	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%
計	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%

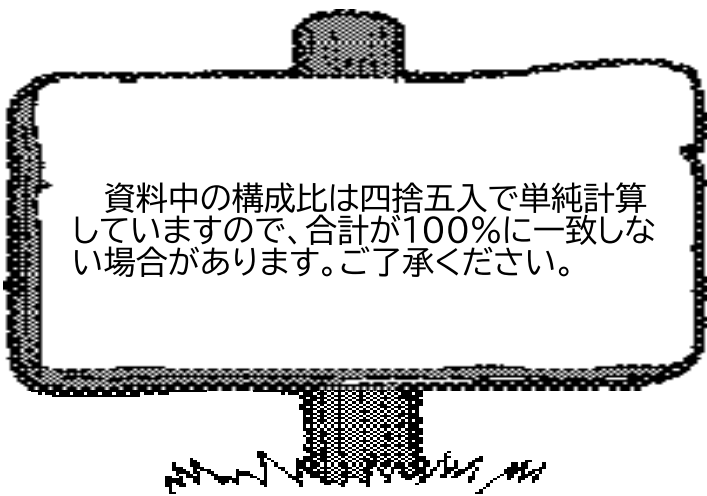
(内訳)

○基金積立 100,000千円

3. 基金 (単位：円)

R6年度末残高	新規積立	取り崩し	R7年度末現在高
1,182,654,735	100,000,000	0	1,282,654,735

資 料 編



資料中の構成比は四捨五入で単純計算
していますので、合計が100%に一致しな
い場合があります。ご了承ください。

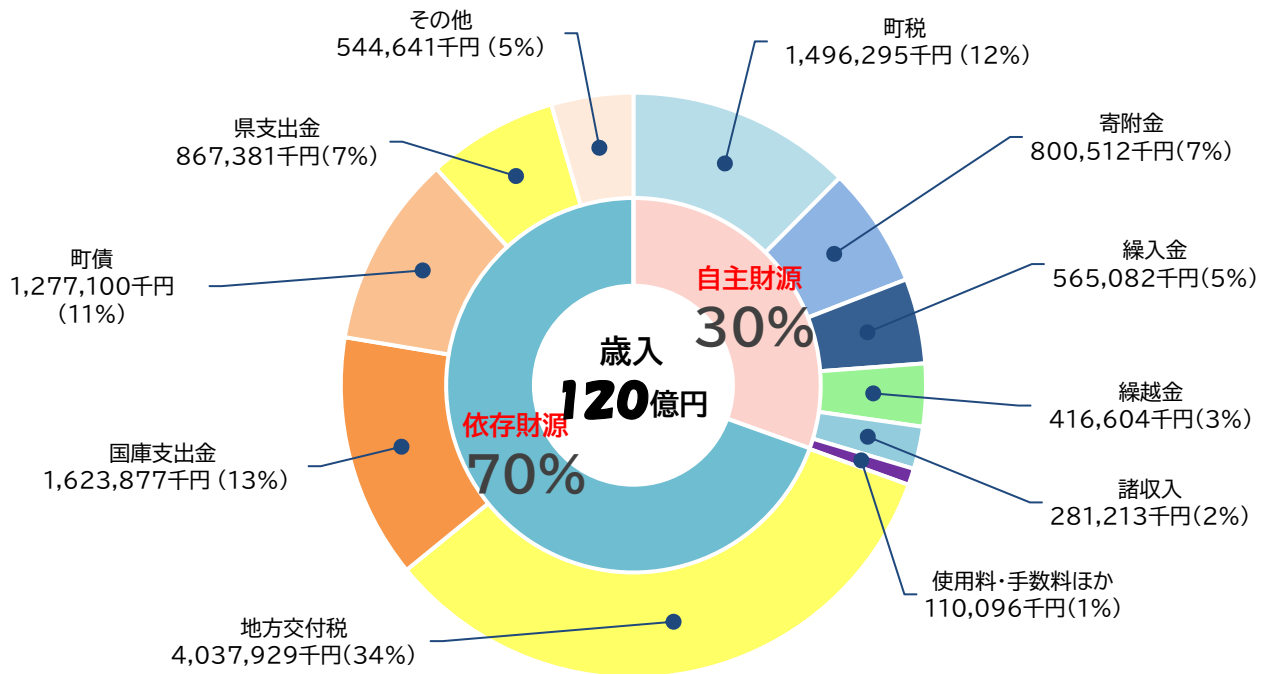
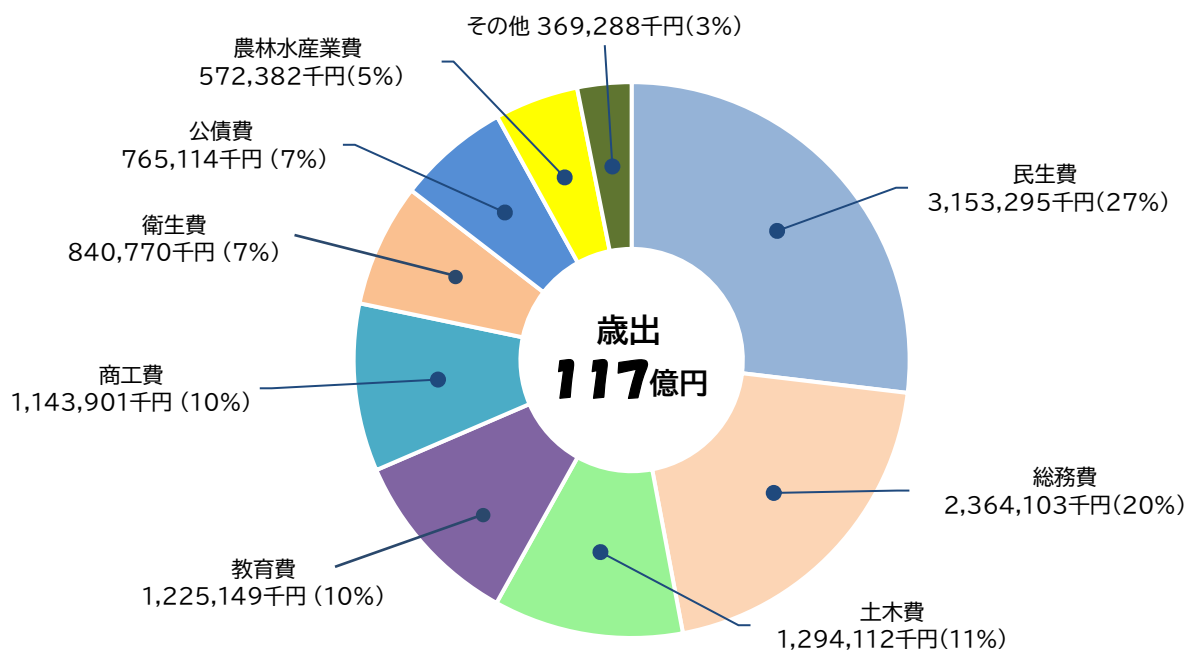
令和7年度各会計別決算状況

会 計 名	予算現額 (A)	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 (B-C)(D)	翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支額 (D-E) (F)	予算に対する決算額の比率		
					通次繰越	明許繰越	事故繰越		合計(E)	歳入(B/A)	歳出(C/A)
一般会計	12,581,806	12,020,730	11,728,114	292,616	689	62,906	0	63,595	229,021	95.5	93.2
国民健康保険事業特別会計	1,772,003	1,715,477	1,609,296	106,181	0	0	0	0	106,181	96.8	90.8
介護保険事業特別会計	1,821,474	1,765,177	1,659,004	106,173	0	0	0	0	106,173	96.9	91.1
米財産区特別会計	973	988	720	268	0	0	0	0	268	101.5	74.0
大栄歴史文化学習館特別会計	186,078	194,352	170,424	23,928	0	4,400	0	4,400	19,528	104.4	91.6
後期高齢者医療事業特別会計	285,031	283,881	283,558	323	0	0	0	0	323	99.6	99.5
合 計	16,647,365	15,980,605	15,451,116	529,489	689	67,306	0	67,995	461,494	96.0	92.8

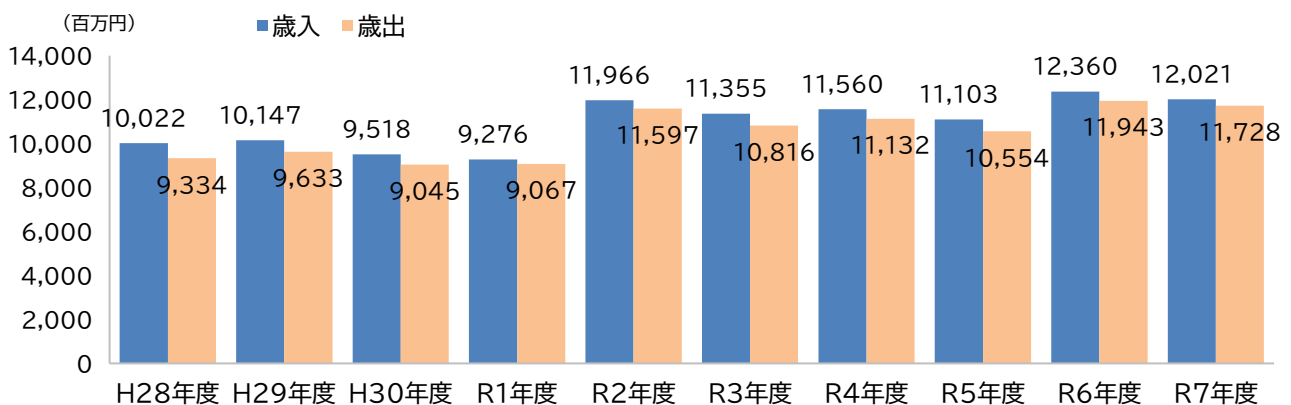
(単位:千円)

会 計 名	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 (B-C)(D)
水道事業会計	266,532	217,545	48,987
	123,629	192,007	△ 68,378
下水道事業会計	1,049,444	836,563	212,881
	515,090	952,051	△ 436,961
風力事業会計	395,504	247,882	147,622
	0	100,000	△ 100,000

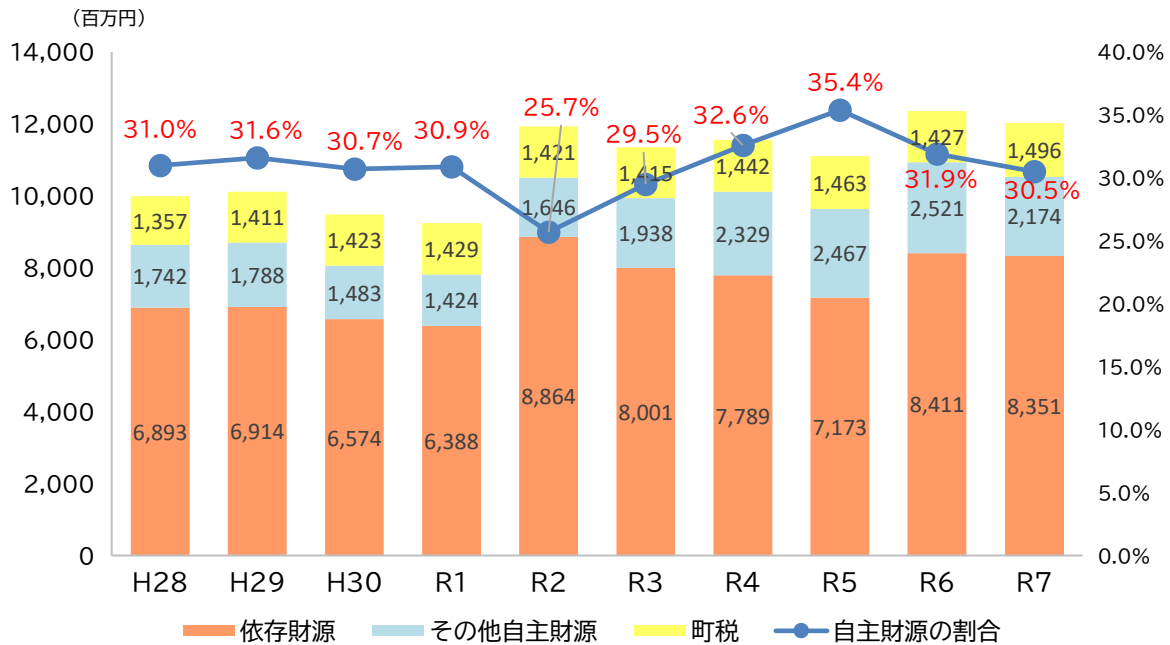
令和7年度決算(一般会計)



決算規模の推移(一般会計)



歳入決算額の推移（一般会計）



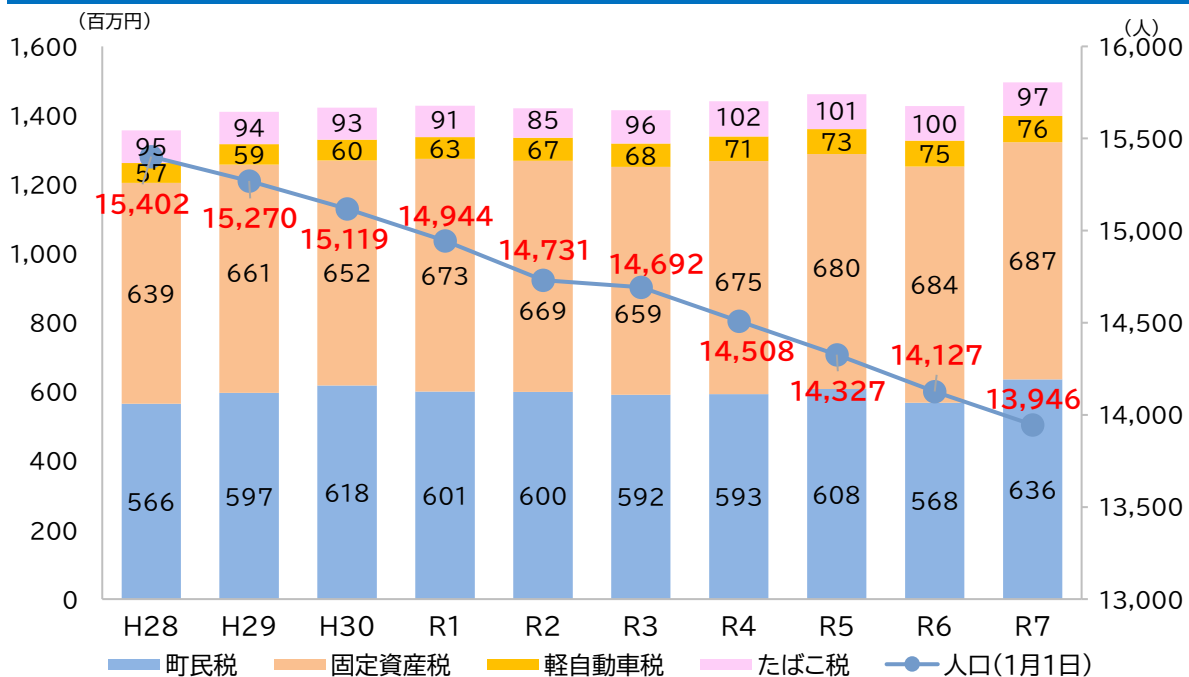
自主財源

町税や使用料、手数料など、地方自治体が自主的に集めることができる収入です。

依存財源

地方交付税や国庫支出金、借入金（町債）など、国や県から交付されたり割り当てられる収入です。

町税と人口の推移



普通会計決算状況(地方財政状況調査より)

①歳入決算額

(単位:千円、%)

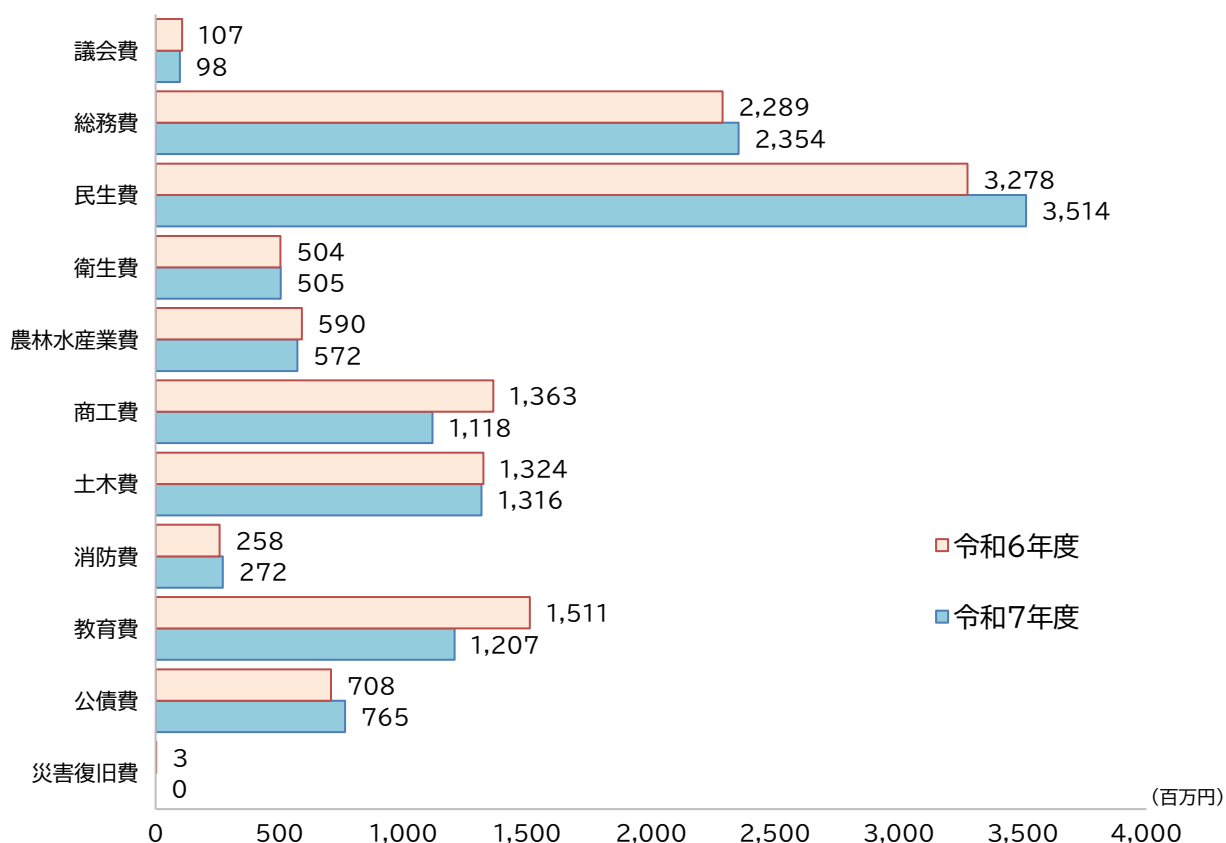
区分	令和7年度決算額		令和6年度決算額		比 較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 自主財源	3,663,628	30.5	3,939,811	31.9	△ 276,183	△ 7.0
町税	1,496,289	12.4	1,427,393	11.6	68,896	4.8
分担金及び負担金	13,800	0.1	12,405	0.1	1,395	11.2
使用料及び手数料	55,889	0.5	59,876	0.5	△ 3,987	△ 6.7
財産収入	48,589	0.4	82,096	0.7	△ 33,507	△ 40.8
寄附金	800,512	6.7	798,848	6.5	1,664	0.2
繰入金	560,265	4.6	550,528	4.5	9,737	1.8
繰越金	416,604	3.5	548,846	4.4	△ 132,242	△ 24.1
諸収入	271,680	2.3	459,819	3.7	△ 188,139	△ 40.9
2 依存財源	8,350,929	69.5	8,411,385	68.1	△ 60,456	△ 0.7
地方譲与税	93,507	0.8	92,483	0.7	1,024	1.1
利子割交付金	3,061	0.0	894	0.0	2,167	242.4
配当割交付金	12,128	0.1	12,984	0.2	△ 856	△ 6.6
株式等譲渡所得割交付金	18,624	0.2	17,003	0.1	1,621	9.5
法人事業税交付金	17,799	0.2	19,935	0.2	△ 2,136	△ 10.7
地方消費税交付金	374,474	3.1	346,763	2.8	27,711	8.0
自動車税環境性能割交付金	10,742	0.1	11,008	0.1	△ 266	△ 2.4
地方特例交付金等	12,628	0.1	72,453	0.6	△ 59,825	△ 82.6
地方交付税	4,037,929	33.6	3,939,615	31.9	98,314	2.5
交通安全対策特別交付金	1,678	0.0	1,720	0.0	△ 42	△ 2.4
国庫支出金	1,623,877	13.5	1,479,372	12.0	144,505	9.8
県支出金	867,382	7.2	781,355	6.3	86,027	11.0
町債	1,277,100	10.6	1,635,800	13.2	△ 358,700	△ 21.9
歳 入 合 計	12,014,557	100.0	12,351,196	100.0	△ 336,639	△ 2.7

※引き上げ分の地方消費税収(218,739千円)は、社会保障施策に要する経費の財源となります。

②歳出決算額(目的別)

(単位:千円、%)

目的別	令和7年度決算額		令和6年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 議会費	97,736	0.8	107,351	0.9	△ 9,615	△ 9.0
2 総務費	2,354,358	20.1	2,288,556	19.2	65,802	2.9
3 民生費	3,514,207	30.0	3,277,954	27.5	236,253	7.2
4 衛生費	505,308	4.3	504,209	4.2	1,099	0.2
5 農林水産業費	572,330	4.9	590,348	4.9	△ 18,018	△ 3.1
6 商工費	1,118,498	9.6	1,362,655	11.4	△ 244,157	△ 17.9
7 土木費	1,315,626	11.2	1,324,065	11.1	△ 8,439	△ 0.6
8 消防費	271,553	2.3	257,614	2.2	13,939	5.4
9 教育費	1,207,212	10.3	1,510,913	12.7	△ 303,701	△ 20.1
10 公債費	765,113	6.5	707,592	5.9	57,521	8.1
11 災害復旧費	0	0.0	3,335	0.0	△ 3,335	△ 100.0
歳出合計	11,721,941	100.0	11,934,592	100.0	△ 212,651	△ 1.8

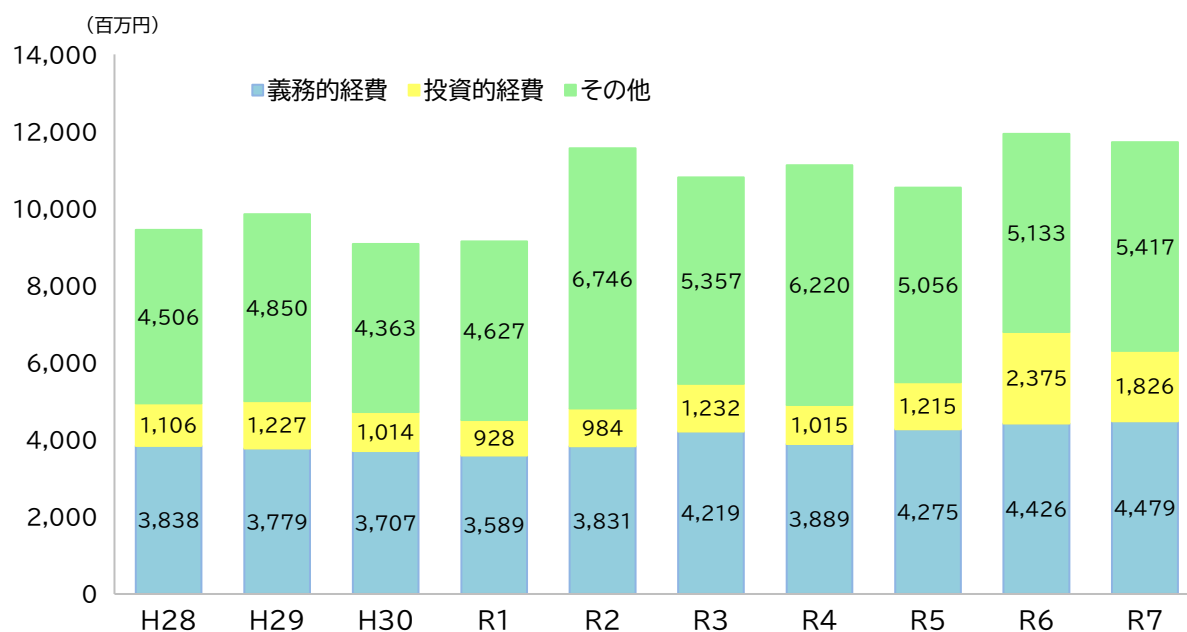


③歳出決算額(性質別)

(単位:千円、%)

性質別	令和7年度決算額		令和6年度決算額		比 較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 人件費	2,250,254	19.2	2,150,838	18.0	99,416	4.6
2 物件費	1,824,627	15.6	1,485,775	12.4	338,852	22.8
3 維持補修費	73,225	0.6	40,540	0.3	32,685	80.6
4 扶助費	1,463,252	12.5	1,567,655	13.1	△ 104,403	△ 6.7
5 補助費等	1,959,823	16.7	2,017,319	16.9	△ 57,496	△ 2.9
6 普通建設事業費	1,826,575	15.6	2,371,934	19.9	△ 545,359	△ 23.0
7 災害復旧費	0	0.0	3,335	0.0	△ 3,335	△ 100.0
8 公債費	765,113	6.5	707,592	5.9	57,521	8.1
9 積立金	577,336	4.9	627,046	5.3	△ 49,710	△ 7.9
10 投資及び出資金	278,100	2.4	300,020	2.5	△ 21,920	△ 7.3
11 貸付金	14,550	0.1	15,250	0.1	△ 700	△ 4.6
12 繰出金	689,086	5.9	647,288	5.4	41,798	6.5
歳出合計	11,721,941	100.0	11,934,592	100.0	△ 212,651	△ 1.8

※下水道事業繰出金(793,651千円)は、決算統計において補助費等(515,851千円)、投資及び出資金(277,800千円)として計上しています。

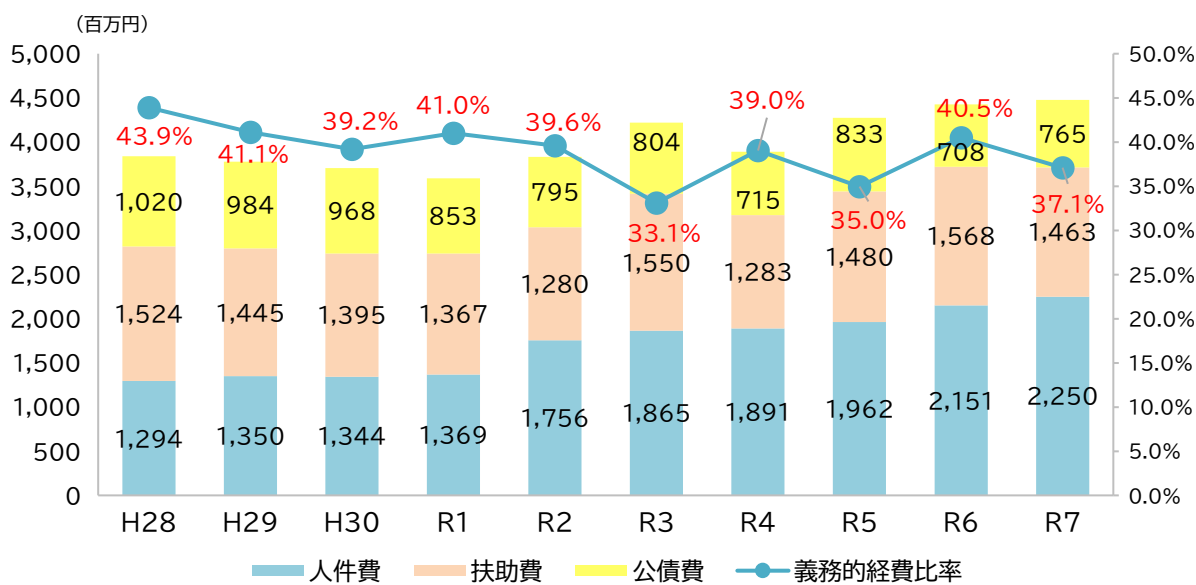


④義務的経費の推移

義務的経費

人件費、扶助費、公債費は毎年支出が義務付けられ、節減することが難しい経費です。

義務的経費の割合が高くなると、自由に使えるお金が少なくなります。そうすると、新たな事業やサービスなどが難しくなります。

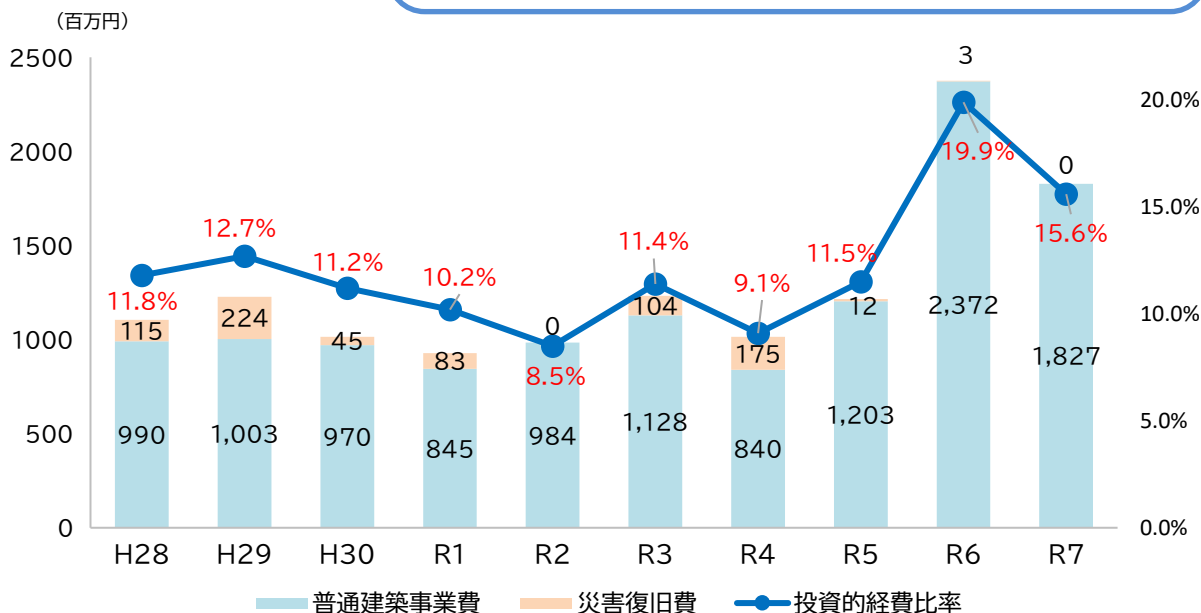


⑤投資的経費の推移

投資的経費

道路や施設など将来に残るものに支出される経費です。

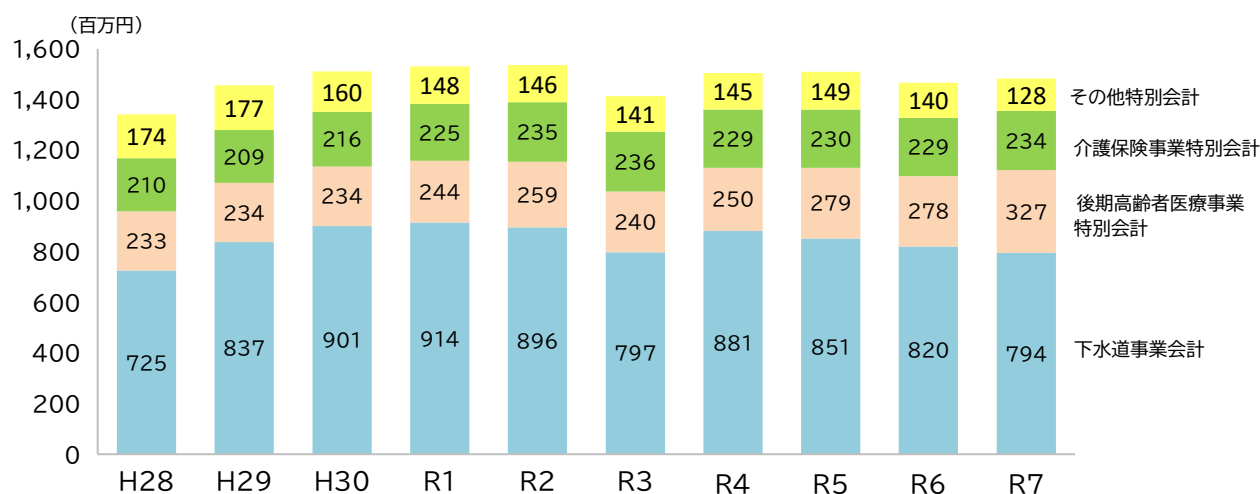
通常は、道路や公園、学校、公民館その他の公共用施設の増設や大規模修繕、大型備品の購入などに要する経費（普通建築事業費）です。



⑥繰出金の推移

(単位:千円)

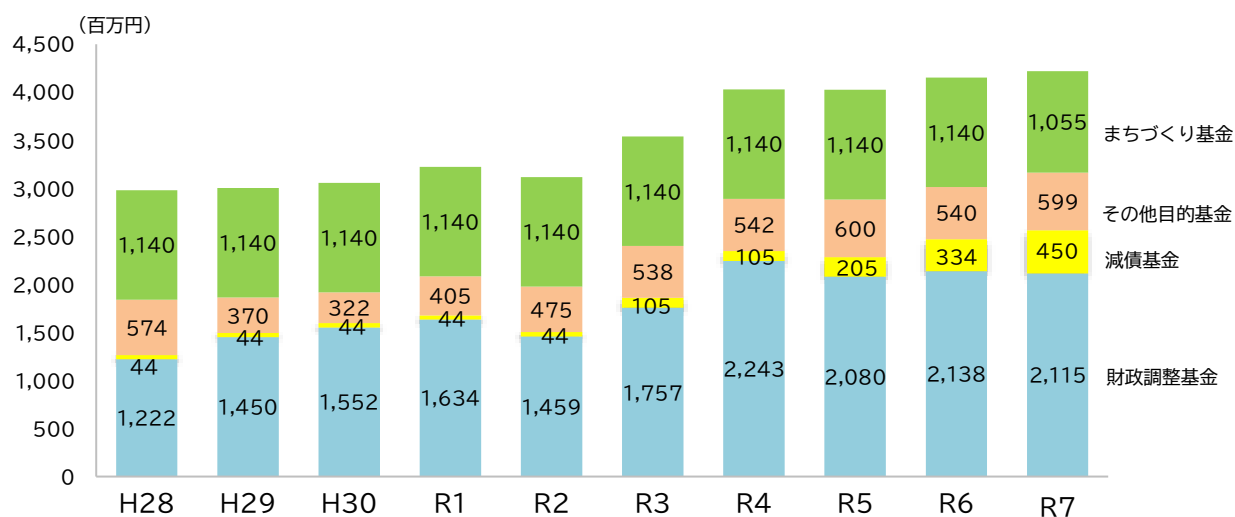
区 分	R3	R4	R5	R6	R7
下 水 道 事 業 会 計	796,638	881,274	850,715	819,797	793,651
後期高齢者医療事業特別会計	239,602	250,326	278,841	277,592	327,028
介護保険事業特別会計	235,630	229,038	229,833	229,437	234,241
国民健康保険事業特別会計	128,061	130,869	130,284	131,468	126,743
農業集落排水事業特別会計	11,916	9,437	11,590	8,791	
合併処理浄化槽事業特別会計	1,263	4,995	7,710		
大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0	0	1,074
合 計	1,413,110	1,505,939	1,508,973	1,467,085	1,482,737



⑦基金残高の推移

(単位:千円)

区 分	R3	R4	R5	R6	R7
財 政 調 整 基 金	1,756,617	2,243,386	2,080,139	2,137,737	2,115,233
減 債 基 金	104,680	104,684	204,688	333,799	449,684
そ の 他 目 的 基 金	537,876	542,341	600,201	540,009	599,110
ま ち づ く り 基 金	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,054,590
合 計	3,539,173	4,030,411	4,025,028	4,151,545	4,218,617

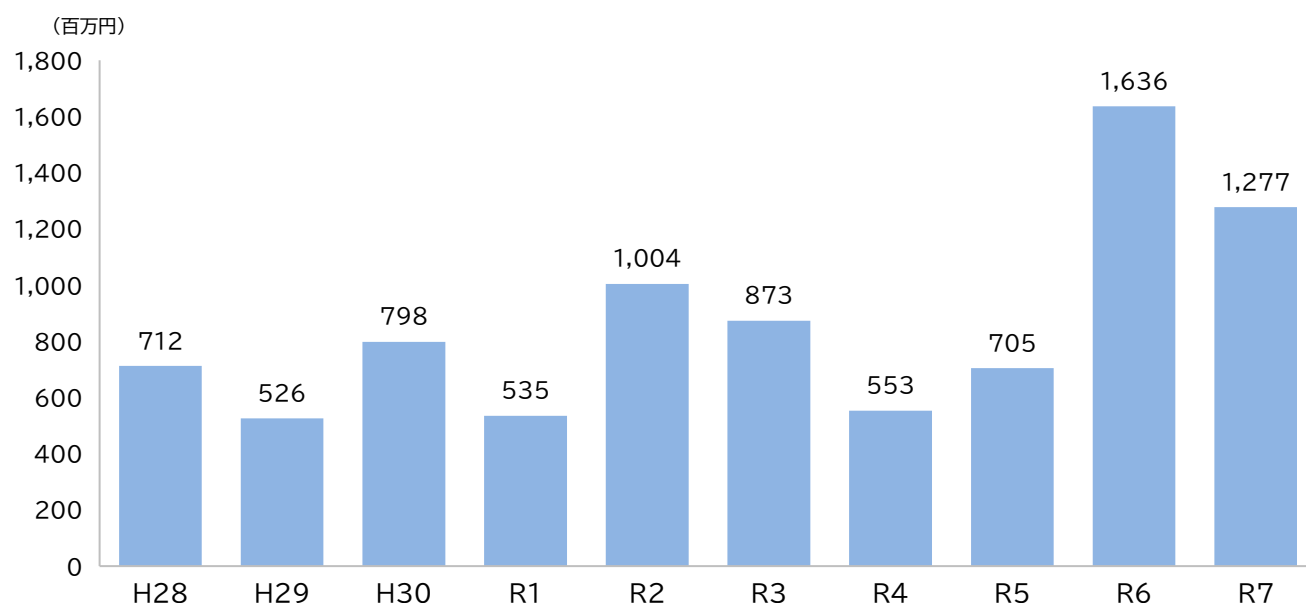


⑧地方債残高の内訳

(単位:千円)

区 分	令和6年度末 現在高	令和7年度 発行額	令和7年度 元金償還額	令和7年度末 現在高
一般会計債	8,183,289	1,277,100	713,913	8,746,476
1 普通債	6,277,644	1,277,100	409,621	7,145,123
2 災害復旧	115,448	0	20,171	95,277
3 その他	1,790,196	0	284,121	1,506,075
(1) 減収補てん債	11,664	0	1,943	9,721
(2) 臨時財政対策債	1,777,103	0	281,068	1,496,035
(3) 減税補てん債	1,429	0	1,110	319

⑨地方債年度別借入額の推移



公共施設の整備には一時的に多額のお金が必要になります。これをその年度の収入だけで賄うと、ほかのサービスが提供できなくなる可能性があります。また、整備した施設は現在の町民だけでなく、将来の町民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、町債（借金）を活用し、世代間で平等に費用を負担します。

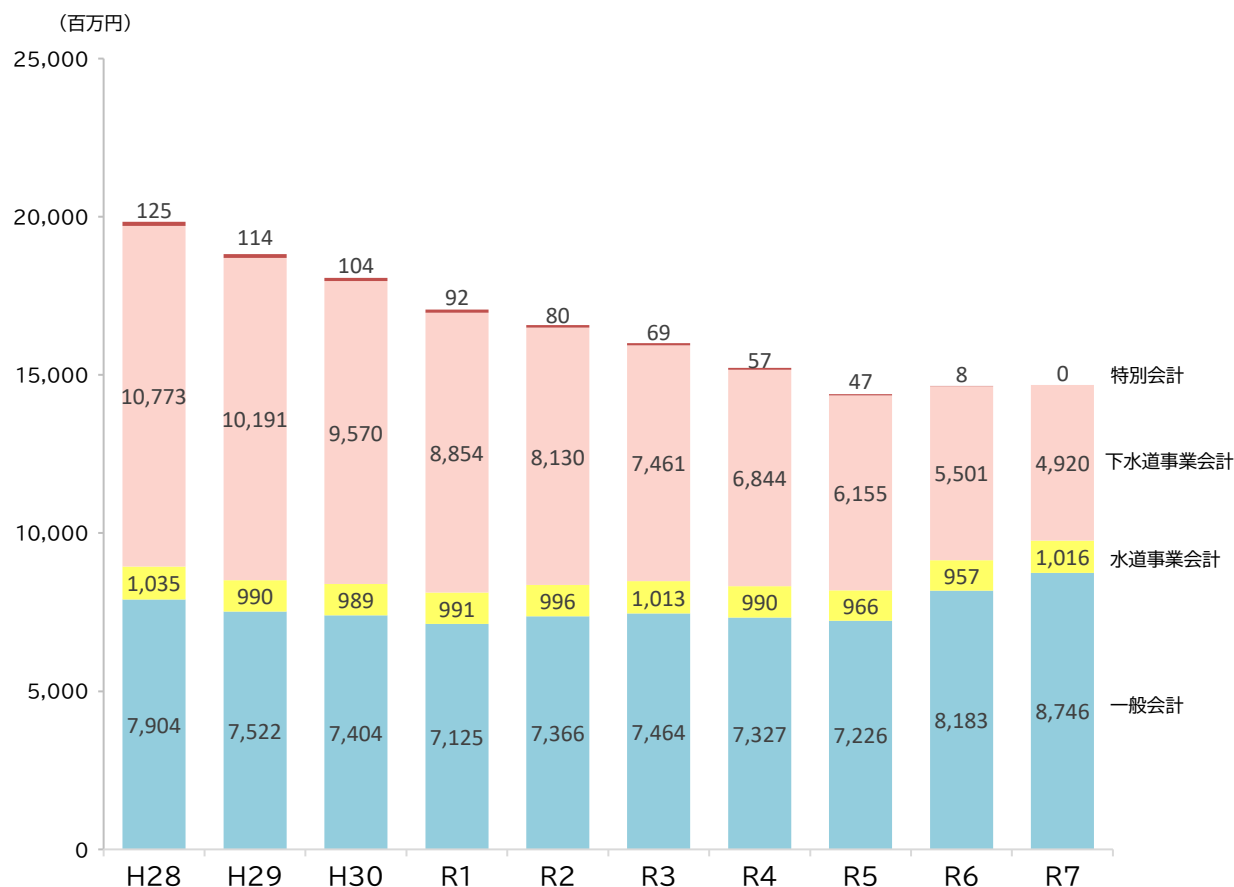
地方債残高の推移(各会計)

(単位:百万円)

会 計 名	R3	R4	R5	R6	R7
一 般 会 計	7,464	7,327	7,226	8,183	8,746
特 別 会 計	69	57	47	8	0
住宅新築資金等貸付事業特別会計	0	0	0	0	0
農業集落排水事業特別会計	33	23	15	8	
介護保険事業特別会計	0	0	0	0	0
合併処理浄化槽事業特別会計	36	34	32		
大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0	0	0
公 営 企 業 会 計	8,474	7,834	7,121	6,458	5,936
水 道 事 業 会 計	1,013	990	966	957	1,016
下 水 道 事 業 会 計	7,461	6,844	6,155	5,501	4,920
風 力 発 電 事 業 会 計	0	0	0	0	0
合 計	16,007	15,218	14,394	14,649	14,682

※ 一般会計及び特別会計は出納閉鎖の5月末時点。

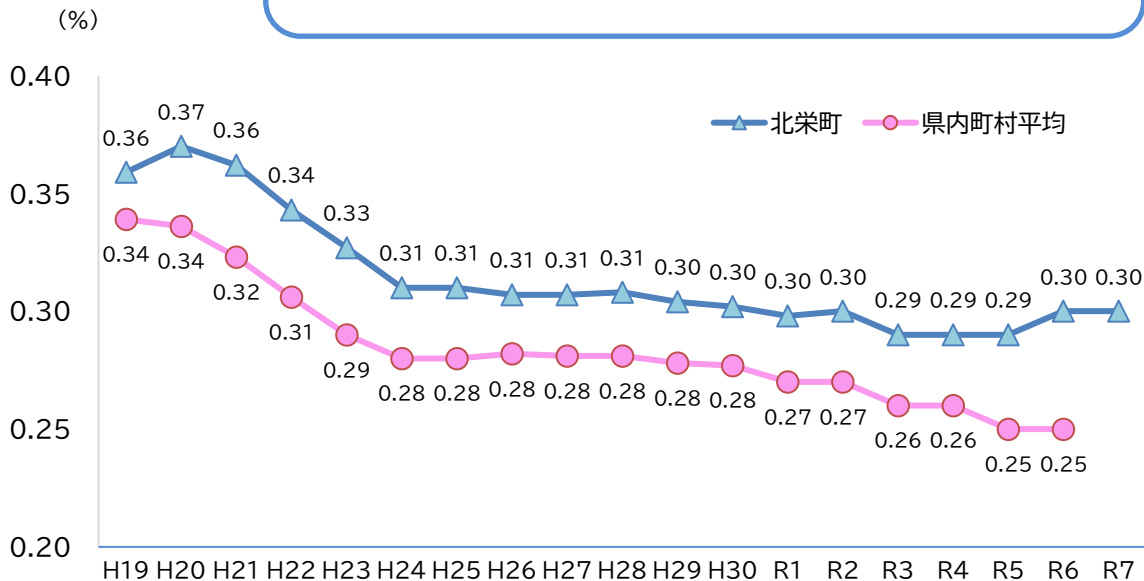
※ 公営企業会計は3月末時点。



財政力指数の推移

財政力指数

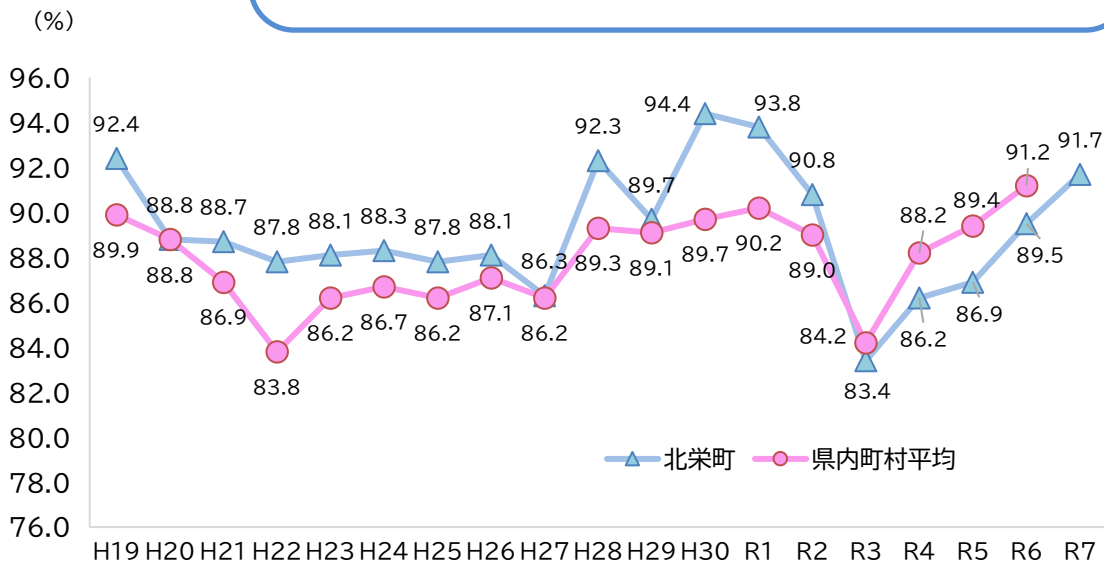
地方公共団体の財政力を示す指数。標準的な行政サービスを行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを示します。
★この数値が大きいほど財政力が強く、1未満の場合は国から普通交付税が交付されます。



経常収支比率の推移

経常収支比率

地方税、普通交付税のように使途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように義務的に支出される経費に充てた割合。
★財政構造の弾力性を示す指標で、この比率が低いほど弾力性が大きいことを示します。



健全化判断比率等の状況(令和7年度決算)について

1 概 要

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成 19 年 6 月 22 日公布）」に基づき算定するもので、地方公共団体の財政の健全度を表す「健全化判断比率（①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債費比率 ④将来負担比率）と公営企業の健全度を表す「資金不足比率」を公表します。

※毎年度、監査委員の審査に付した上で、議会に報告し、公表しなければならないとされています。

2 対象会計

北栄町	一般会計	一般会計等	一般会計	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
	特別会計		国民健康保険事業特別会計 後期高齢者医療事業特別会計 介護保険事業特別会計					
	うち 公営企業 会計	公営事業 会計	水道事業会計 下水道事業会計 風力発電事業会計 大栄歴史文化学習館特別会計					
(一部事務組合・広域連合) 鳥取中部ふるさと広域連合								
(地方公社・第三セクター等) 鳥取県町村総合事務組合 鳥取県後期高齢者医療広域連合								

※地方公社・第三セクター等…債務保証及び損失補償契約を締結していない団体は除外

3 令和7年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果

令和7年度決算に基づいて、健全化判断比率を算定したところ、いずれも国の示した早期健全化基準を大きく下回っており、「健全」な状況となっています。

指標		令和7年度	令和6年度	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	①実質赤字比率	—（赤字なし）	—（赤字なし）	14.58%※	20%
	②連結実質赤字比率	—（赤字なし）	—（赤字なし）	19.58%※	30%
	③実質公債費比率	8.9%	9.4%	25%	35%
	④将来負担比率	41.2%	40.0%	350%	
⑤資金収支比率		—（資金不足なし）	—（資金不足なし）	経営健全化基準 20%	

※実質収支または連結実質収支は黒字であるため、「—」表示となります。

①実質赤字比率

実質赤字比率とは、地方公共団体の一般会計等の赤字額を標準財政規模の額で除して赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額（実質収支額）}}{\text{標準財政規模}}$$

（単位：千円）

区 分	実質収支額			
	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
一般会計	229,021	320,383	△91,362	△28.5%
標準財政規模	5,727,740	5,620,854	106,886	1.9%
実質赤字比率（%）	—	—	—	—

※実質収支＝歳入総額－歳出総額－翌年度へ繰り越すべき財源

令和7年度の実質赤字比率は、一般会計の実質収支が黒字だったため、算定されませんでした。

②連結実質赤字比率

連結実質赤字比率とは、すべての会計の黒字や赤字を合算し、標準財政規模の額で除して地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額（実質収支額または資金不足額・剰余額）}}{\text{標準財政規模}}$$

（単位：千円）

区 分	実質収支額		
	令和7年度	令和6年度	増減率
一般会計	229,021	320,383	△28.5%
国民健康保険事業特別会計	106,181	105,533	0.6%
後期高齢者医療事業特別会計	323	660	△51.1%
介護保険事業特別会計	106,173	104,467	1.6%
水道事業会計	626,892	554,522	13.1%
下水道事業特別会計（特環）	587,350	484,723	21.2%
風力発電事業会計	491,503	471,091	4.3%
下水道事業特別会計（特排）	9,341	8,208	13.8%
農業集落排水事業特別会計	—	3,382	—
大栄歴史文化学習館特別会計	19,528	19,229	1.6%
計	2,176,312	2,063,990	
標準財政規模	5,727,740	5,620,854	1.9%
実質赤字比率（%）	—	—	—

令和7年度の連結実質赤字比率は、すべての会計において、実質収支は黒字で資金不足が生じた会計はなかったため、算定されませんでした。

③実質公債費比率

実質公債費比率とは、借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。この比率が高まると財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと収支が悪化し、赤字団体になる可能性が高まります。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{公債費及び公債費に準ずる額} - \text{特定財源} - \text{普通交付税算入額}}{\text{標準財政規模} - \text{元利償還金に係る交付税算入額}}$$

分子の計算

(単位：千円)

項 目	令和7年度	令和6年度	令和5年度	増減額
①公債費の元利償還金の額（繰上償還除く）	700,113	642,592	713,558	57,521
②積立不足額を考慮して算定した額	0	0	0	0
③満期一括償還の元金償還金	0	0	0	0
④公営企業の公債費に要する繰入金	641,267	676,049	715,261	△34,782
⑤一部事務組合等の公債費負担金等	19,922	28,603	29,930	△8,681
⑥公債費に準ずる債務負担行為	265	1,122	1,122	△857
⑦一時借入金利子	0	0	0	0
公債費等額（①～⑦の計）A	1,361,567	1,348,366	1,459,871	13,201
⑧特定財源 B	38,432	34,662	19,157	3,770
⑨普通交付税算入額 C	910,566	926,594	987,962	△16,028
分子 計（A－B－C）	412,569	387,110	452,752	25,459

分母の計算

項 目	令和7年度	令和6年度	令和5年度	増減額
⑩標準財政規模 D	5,727,740	5,620,854	5,560,518	106,886
⑪普通交付税算入額 E	910,566	926,594	987,962	△16,028
分母 計（D－E）	4,817,174	4,694,260	4,572,556	122,914

◆単年度比率

(令和4年度＝10.3%)

$$\text{令和5年度} = \frac{A \ 1,459,871 - B \ 19,157 - C \ 987,962}{D \ 5,560,518 - E \ 987,962} = \frac{452,752}{4,572,556} = 9.9\%$$

$$\text{令和6年度} = \frac{A \ 1,348,366 - B \ 34,662 - C \ 926,594}{D \ 5,620,854 - E \ 926,594} = \frac{387,110}{4,694,260} = 8.2\%$$

$$\text{令和7年度} = \frac{A \ 1,361,567 - B \ 38,432 - C \ 910,566}{D \ 5,727,740 - E \ 910,566} = \frac{412,569}{4,817,174} = 8.6\%$$

$$\text{令和7年度実質公債費比率（3カ年平均）} = \underline{8.9\%}$$

過去3か年の実質公債費比率は、令和5年度が9.9%、令和6年度が8.2%、令和7年度が8.6%で、単年度の比率では令和6年度と比較して0.4ポイント増となりましたが、3か年の平均は8.9%で昨年比0.5ポイント減となり、早期健全化基準の25.0%を大きく下回る状況となっています。

主な要因は、下水道事業債の完済に伴い「④公営企業の公債費に要する繰入金」が減少したものの「①公債費の元利償還金」が大きく増加したことで分子が増加したことのほか、標準財政規模が増加したことと交付税算入される地方債の償還が進んだことで「⑨⑩普通交付税の算入額」が減となったことにより分母が増加したことにより、全体としては微増となりました。

また、過去のピーク時である平成21年度の22.4%と比較すると、実質公債費比率は13.5ポイント減少し、県内町村平均（9.9%）以下の比率となっています。

今後は、青山剛昌ふるさと館や中央公民館大栄分館の建替等の大型事業による大きな地方債借入を予定しているため、しばらくは増加していくと見込んでいます。

④将来負担比率

将来負担比率とは、地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。この比率が高い場合は、標準財政規模に比べ将来負担額が大きいということであり、今後、将来負担比率が増大することにより、財政上の問題が生じる可能性が高くなります。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - \text{充当可能財源等}}{\text{標準財政規模} - \text{元利償還金に係る交付税算入額}}$$

分子の計算

(単位：千円)

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減額
①地方債の残高	8,746,476	8,183,289	563,187
②債務負担行為に基づく支出予定額	693	957	△264
③公営企業債等繰入見込額	4,039,764	4,595,904	△556,140
④組合等負担等見込額	259,441	218,900	40,541
⑤退職手当負担見込額	721,834	790,270	△68,436
⑥設立法人の負債額等負担見込額	0	0	0
⑦連結実質赤字額	0	0	0
⑧組合等実質赤字負担見込額	0	0	0
将来負担額（①～⑧の計）A	13,768,208	13,789,320	△21,112
⑨充当可能基金	3,310,870	3,102,986	207,884
⑩充当可能特定収入	267,002	298,018	△31,016
⑪基準財政需要額算入見込額	8,204,521	8,506,738	△302,217
充当可能財源等 B（⑨～⑪の計）	11,782,393	11,907,742	△125,349
分子 計（A－B）	1,985,815	1,881,578	104,237

分母の計算

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減額
⑫標準財政規模 C	5,727,740	5,620,854	106,886
⑬普通交付税算入額 D	910,566	926,594	△16,028
分母 計（C－D）	4,817,174	4,694,260	122,914

◆将来負担比率

$$\text{将来負担比率} = \frac{A \text{ 13,768,208} - B \text{ 11,782,393}}{C \text{ 5,727,740} - D \text{ 910,566}} = \frac{1,985,815}{4,817,174} = 41.2\%$$

令和 7 年度将来負担比率 = 41.2%

令和 7 年度決算では、令和 6 年度の 40.0%に対し 1.2 ポイント増の 41.2%となりました。

令和 6 年度と比較して微増となった主な要因については、将来負担額 A のうち「①一般会計債の地方債残高」が増加したものの、それ以上に下水道事業の地方債残高及び将来負担に

係る算入率の減などにより「③公営企業債等繰入金見込額」等の減少が大きく、将来負担額 A は減少したものの、充当可能財源等 B のうち「⑪基準財政需要額算入見込額」が下水道事業債の償還等が進んだことで減額となったことにより分子が増（+104,237 千円）となったことのほか、普通交付税額等の増による⑫標準財政規模の増及び交付税算入される地方債の償還が進んだことで⑬普通交付税算入額が減となり、分母も増（+122,914 千円）となったことで全体としては微増となりました。

また、将来負担比率は、過去のピーク時である平成 20 年度の 205.3% から徐々に減少してきていますが、県内町村平均（13.9%）と比較すると、依然として高い比率となっています。

今後は、青山剛昌ふるさと館や中央公民館大栄分館の建替等の大型事業による大きな地方債借入を予定しているため、しばらくは将来負担比率も増加していくと見込んでいます。

⑤資金不足比率の状況

資金不足比率とは、公営企業の資金不足額または剰余額を、公営企業の事業規模である料金収入等の規模と比較して指標化し、経営状況の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額または剰余額}}{\text{事業規模}}$$

（単位：千円）

区 分	令和 7 年度			令和 6 年度		
	資金不足額 または剰余額	事業規模	資金 不足 比率	資金不足額 または剰余額	事業規模	資金 不足 比率
水道事業会計	626,892	222,449	—	554,522	224,679	—
下水道事業会計（特環）	587,350	280,750	—	484,723	276,684	—
風力発電事業会計	491,503	347,253	—	471,091	434,078	—
下水道事業会計（特排）	9,341	2,686	—	8,208	2,708	—
農業集落排水事業特別会計	—	—	—	3,343	4,684	—
大栄歴史文化学習館特別会計	19,528	173,730	—	19,229	160,824	—

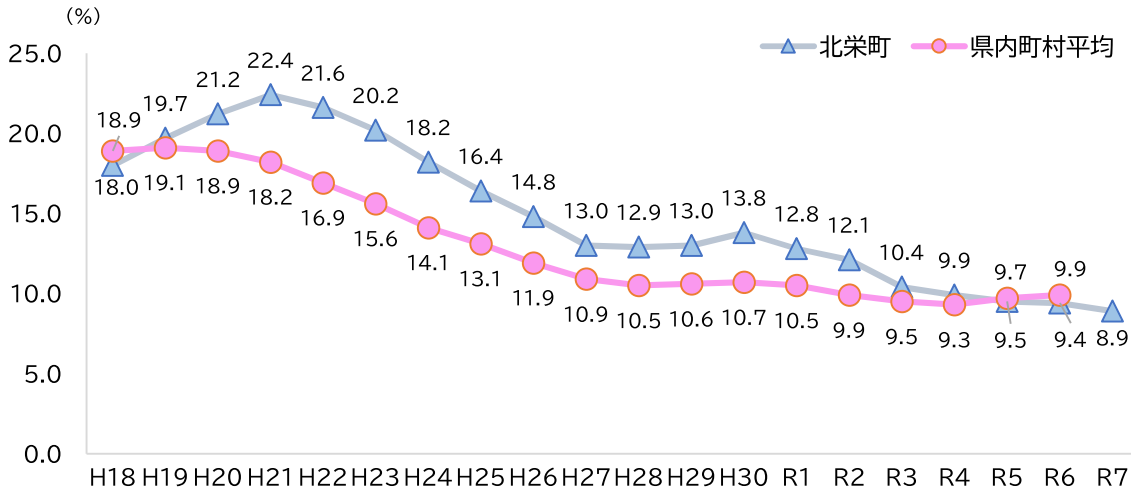
令和 7 年度の資金不足比率は、すべての会計において、資金不足はなかったため、算定されませんでした。

実質公債費比率の推移

実質公債費比率

公債費や公債費に準じた経費を町の収入(標準財政規模)と比較することにより、財政の硬直化をします。

★家計に例えると、ローンやクレジットカードの支払いなどのその年の返済額が年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いことを示します。

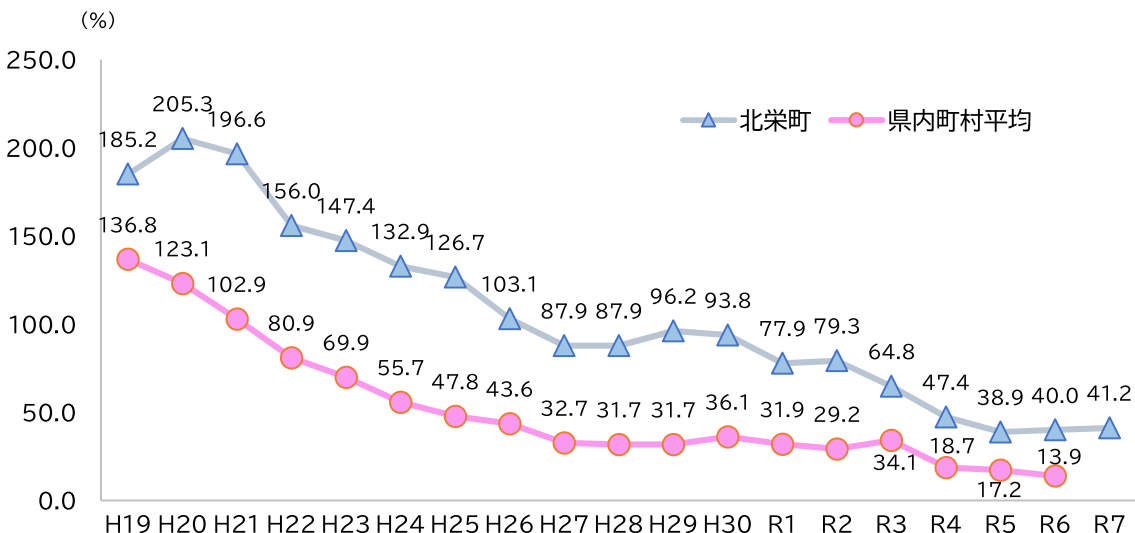


将来負担比率の推移

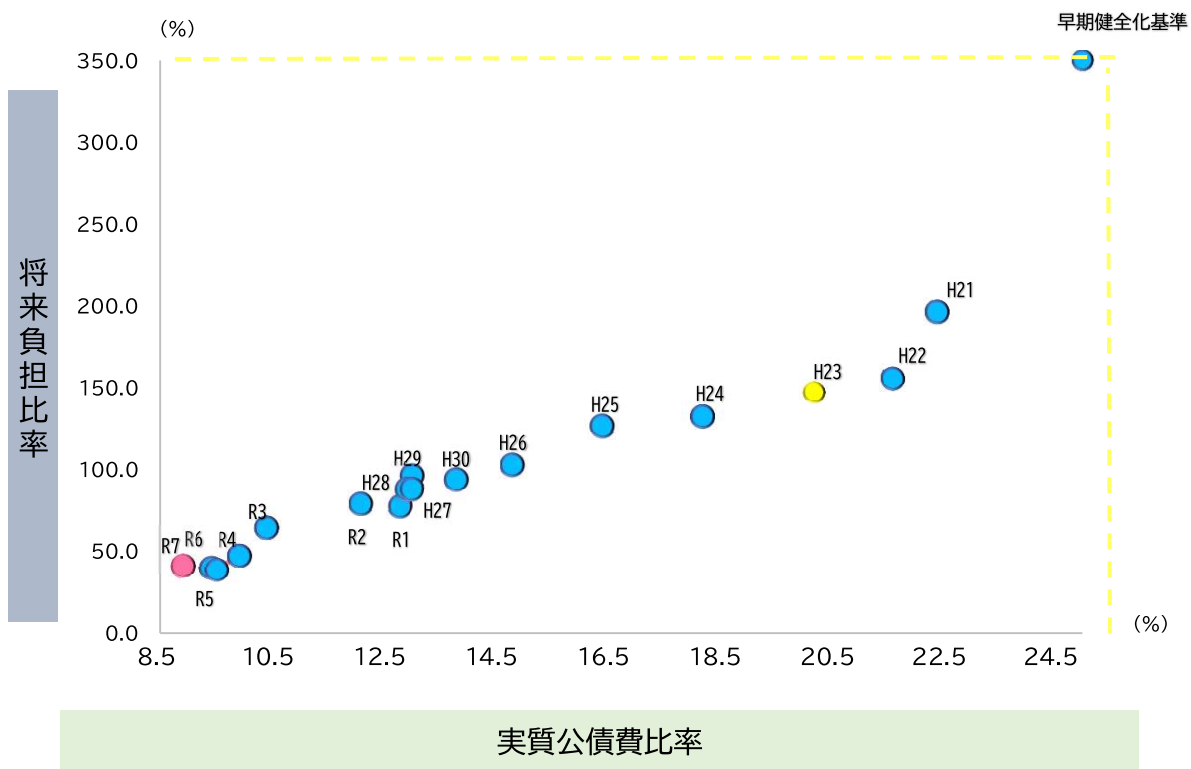
将来負担比率

地方債の現在高など、将来実質的に負担すべき債務を町の収入(標準財政規模)と比較することにより、将来負担の程度を把握するものです。

★家計に例えると、ローンやクレジットカードの支払い残高などが、年収の3.5倍(350%)以上になると、経済的苦境に陥る状態にあることを示します。



実質公債費比率と将来負担比率における状況



町民1人当たりの地方債残高・積立金の推移(一般会計)

